









DIAVEL V4

ドゥカティスタの皆様

弊社に対するご信頼の元、新しい Diavel V4 をご購入いただいた皆様に**心より感謝いたします**。

Ducatiにすばやく慣れ、そのすべての機能をご利用いただけるために、本オーナーズマニュアルを注意深くお 読みになることをお勧めします。本マニュアルでは、安全性、車両のお手入れ方法、専門的なサービスによる 適切なメンテナンスにより車両の価値を高く保つ方法について、多くの役立つヒントと情報を提供しています。

また、本オーナーズマニュアルはデジタル形式でもご利用いただけ、Ducatiウェブサイトの専用エリアと、コンピュータと電話の両方から参照できる MyDucati アプリで、常に更新されています。



このようにして、常に**最新版のマニュアル**をご利用いただけ、バイクと Ducati ワールドに関する**情報やよく** ある質問もご覧いただくことができます。

本オーナーズマニュアルの内容に関する皆様のご意見・ご提案は、OwnerManual@ducati.com までご連絡ください。

本取扱説明書はモーターサイクルを構成する一部であり、使用期間中はモーターサイクルと併せて保管して ください。所有者が変更される場合は、本取扱説明書も併せて新しい所有者に譲渡してください。ドゥカテ ィモーターサイクルの品質と安全性は、デザイン、装備、アクセサリーの開発に伴い絶えず進化しています。 本取扱説明書には印刷の時点での最新情報が記載されていますが、Ducatiモーターホールディング社は本書 内容を予告なしにいつでも変更する権利を有します。そのため、お客様がお持ちのモーターサイクルは本書に 記載する参照図と異なる場合があります。

▲ 重要

▲ Ducatiのウェブサイトでは、お客様のモーターサイクルの機能や特長に関する最新情報をお届けしております。ウェブサイトから、専用の「よくある質問 (FAQ)」とチュートリアルをご確認ください。 本マニュアルに掲載されている情報は、印刷時点で最新のものです。Ducati モーターサイクルの品質基準および安全基準は日々更新されています。Ducati ウェブサイトから、モーターサイクルの最新版オーナーズマニュアルに記載されている機能や特徴をご確認ください。

本マニュアルの全部または一部を複製、配布することは禁じられています。すべての権利は Ducati モーター ホールディング社に帰属しており、理由を明記したうえで(書面による)許可の申請をしなければなりません。 車両の修理に関するお問い合わせや、その他のご質問等につきましては、ドゥカティ正規アシスタンスセン ターにご連絡ください。

ご不明な点等ございましたら、下記メールアドレスまでお気軽にお問い合わせください。 contact_us@ducati.com 役に立つアドバイス等、弊社アドバイザーが対応いたします。

▲ 重要

【▲】詳細については、ウェブサイト www.ducati.com のサービスとメンテナンスセクションで「お問い合わ せ」をクリックして、Ducati サポートまでお問い合わせください。 役に立つアドバイス等、弊社アドバイザーが対応いたします。 楽しいライディングを!

	目次	服装	30
メ有載時の運転 34 車両への有載に関する注意 34 車両への有載に関する注意 34 車両識別番号 36 エンジン識別番号 37 ソフトウェアのアップデート 9 ソフトウェアのアップデート 9 シフォテインメント 10 インフォテインメント 10 インフォテインメント 10 パッテリー売電の維持 48 Phone 18 Music 23 一般情報 26 取扱説明書内で使用される頭字語および略語 26 アイメーの義務 27 マイダーの義務 27 マイダーの義務 28		女王のための、ヘトノノノノイス	22
取入預載時の復載に関する注意 34 車両への預載に関する注意 34 危険物・警告 34 車両識別番号 36 エンジン識別番号 37 ソフトウェアのアップデート 9 ソフトウェアのアップデート 9 インフォテインメント 10 インフォテインメント 10 インフォテインメント 10 パッテリー方電の維持 46 サイドスタンド 10 Bluetooth デバイスのペアリングと操作 11 Phone 18 Music 23 一般情報 26 取扱説明書内で使用される頭字語および略語 26 耳本ンド類の配置 54 スイッチ類 27 ライダーの義務 28 マンド類の配置 54 スイッチ類 55 ライドコントロール 58		※行め補格	21
エンジン識別番号		取入領戦時の建設に加えて注意。	21
ルマトウェアのアップデート 9 ソフトウェアのアップデート 9 シフトウェアのアップデート 9 シマトウェアのアップデート 9 シマトウェアのアップデート 9 シマトウェアのアップデート 9 シマトウェアのアップデート 10 インフォテインメント 10 インフォテインメント 10 パンフォテインメント 10 リロシートの取り外しおよび取り付け 40 パッテリー充電の維持 46 サイドスタンド 48 USB コネクター 50 フロントフォークアジャスター 50 フロントフォークアジャスター 51 リアショックアブソーバーアジャスター 52 一般情報 26 取扱説明書内で使用される頭字語および略語 26 再金 27 マイダーの義務 28 マイダーの義務 28 マイダーの義務 28 マイダーの人参称 28		半川、の損戦にほりるたる)4)/
単回識が留号 30 エンジン識別番号 37 ソフトウェアのアップデート 9 ソフトウェアのアップデート 9 インフォテインメント 10 インフォテインメント 10 インフォテインメント 10 リロ・クロマリングと操作 10 Bluetooth デバイスのペアリングと操作 11 Phone 18 Music 13 一般情報 26 取扱説明書内で使用される頭字語および略語 26 取扱説明書内で使用されている警告シンボル 26 アイダーの義務 27 デイダーの義務 28 デイダーの義務 28		·尼陕彻 - 首口)4)2
ソフトウェアのアップデート		■ 単門諏別留方)0)7
ソフトウェアのアップデート 9 ソフトウェアのアップデート 9 インフォテインメント 9 インフォテインメント 10 インフォテインメント 10 パンフォテインメント 10 Bluetooth デバイスのペアリングと操作 10 Music 23 一般情報 26 取扱説明書内で使用される頭字語および略語 26 取扱説明書内で使用されている警告シンボル 26 アイダーの義務 27 アイダーの義務 28 マイダーの義務 28		エノンノ諏別番亏	57
ソフトウェアのアップデート 9 主要構成部品/装備 38 インフォテインメント 10 事両上の配置 38 インフォテインメント 10 シートの取り外しおよび取り付け 40 インフォテインメント 10 バッテリー充電の維持 46 Bluetooth デバイスのペアリングと操作 11 ケイドスタンド 48 Music 23 フロントフォークアジャスター 50 一般情報 26 取扱説明書内で使用される頭字語および略語 26 取扱説明書内で使用されている警告シンボル 26 運転時に必要なコマンド 54 コマンド類の配置 54 スイッチ類 54 スイッチ類 28 ライトコントロール 58	ソフトウェアのアップデート		
インフォテインメント 10 インフォテインメント 10 インフォテインメント 10 Bluetooth デバイスのペアリングと操作 10 Music 18 Music 18 Music 12 中般情報 26 取扱説明書内で使用される頭字語および略語 26 和金 27 ライダーの義務 28 マインフォーの教務 28 マインフォークアジャスター 54 コマンド類の配置 54 スイッチ類 55 ライダーの義務 28	ソフトウェアのアップデート9	主要構成部品/装備3	8
インフォテインメント 10 燃料フィラープラグ		車両上の配置3	38
インフォテインメント 10 シートの取り外しおよび取り付け 40 インフォテインメント 10 シートの取り外しおよび取り付け 40 Bluetooth デバイスのペアリングと操作 11 ゲッテリー充電の維持 46 Phone 18 USB コネクター 50 Music 23 フロントフォークアジャスター 51 リアショックアプソーパーアジャスター 52 一般情報 26 取扱説明書内で使用される頭字語および略語 26 再途 27 ライダーの義務 28 マイダーの義務 28 マイッチ類 54 フィッチ類 54 フィッチ類 54 フィッチ類 54 フィッチ類 54 ライトコントロール 58	インフェニノンメント 10	燃料フィラープラグ3	39
インフォテイツメット 10 バッテリー充電の維持 46 Bluetooth デバイスのペアリングと操作 11 ゲイドスタンド 48 Phone 18 USB コネクター 50 Music 23 フロントフォークアジャスター 51 リアショックアブソーバーアジャスター 52 一般情報 26 取扱説明書内で使用される頭字語および略語 26 耳金 27 フイダーの義務 28 マイダーの義務 28 マイダーの美務 28 マイシーグ類 54 フイシーワール 58		シートの取り外しおよび取り付け	1 0
Bluetooth デバイスのペアリングを操作		バッテリー充電の維持	1 6
Phone 18 Music 23 Wisic 23 USB コネクター 50 フロントフォークアジャスター 51 リアショックアブソーバーアジャスター 52 一般情報 26 取扱説明書内で使用される頭字語および略語 26 本マニュアルで使用されている警告シンボル 26 月途 27 ライダーの義務 28 マイダーの義務 28 マイッチ類 55 ライトコントロール 58	Bluetooth テハイスのヘアリンクと操作1	サイドスタンド4	18
Music	Phone	USB コネクター5	50
リアショックアプソーバーアジャスター	Music23	フロントフォークアジャスター	51
ー般情報		リアショックアブソーバーアジャスター5	52
取扱説明書内で使用される頭字語および略語26 本マニュアルで使用されている警告シンボル26 用途	一般情報		-
本マニュアルで使用されている警告シンボル26 用途	取扱説明書内で使用される頭字語および略語26	運転時に必要なコマンド 5	4
用途	本マニュアルで使用されている警告シンボル26	21222112223111211111111111111111111111	:4
ライダーの義務	用途	コ、ノースション。回道	5
	ライダーの義務28	スイノノス (11) スインス (11) スインス (11) スインス (11) スインス (11) スインス (11) ステレンス (11) ステレン	, ς ς
フイダーの教育	ライダーの教育29	Hands Free $\sqrt{2}$ $\overline{-}$ $\sqrt{2}$;2

キー	警告灯
PIN Code による車両の解除84	画面上
クラッチレバー	Riding
スロットルグリップ86	エンジ
フロントブレーキレバー87	インタ
リアブレーキペダル88	クルー
ギアチェンジペダル89	Lap
ギアチェンジペダルとリアブレーキペダルの調整 90	Turn b

運転の方法	91
車両の使用開始時期の慣らし運転	
走行前の点検事項	92
ABS 装置	94
エンジンの始動/停止	95
車両の発進	100
ブレーキ操作	101
車両の停止	103
パーキング	104
燃料の補給	106
付属アクセサリー	108

インストルメントパネル(ダッシュボ	
-[5] 1	09
インストルメントパネル	109

警告灯1	10
画面上の主な要素1	14
Riding Mode1	17
エンジン回転数表示1	20
インタラクティブメニューと情報表示1	22
クルーズコントロール1	27
Lap1	34
Turn by turn (装備している場合)1	37
ヒーテッドグリップ (装備している場合)1	46
Setting menu1	49
Setting menu – Service 1	51
Setting menu – Riding Mode 1	55
Setting menu – Riding Mode – Power 1	57
Setting menu – Riding Mode – DTC 1	58
Setting menu – Riding Mode – ABS 1	64
Setting menu – Riding Mode – DWC 1	70
Setting menu – Riding Mode – DQS 1	76
Setting menu – Riding Mode – Default 1	79
Setting menu – Info display 1	82
Setting menu – Fuel indicator (燃料計) 1	85
Setting menu – DRL 1	87
Setting menu – Display setup 1	89
Setting menu – PIN Code 1	94
Setting menu – Date and time (日付と時間) 1	99
Setting menu – Lap 2	:06

Setting menu – Tyre calibration (タイヤキャリ	
フレーション)	210
Setting menu – Tyre pressure (タイヤ空気圧)	
(装備している場合)	217
Setting menu – Turn indicators (ターンインジ	
ケーター)	219
Setting menu – Language	221
Setting menu – Unità	223
Setting menu – Info	.230
Ducati Link アプリの接続	232
ドゥカティパワーローンチ (DPL)	232
T クカナイハナ ロ ノナ (DF C) 教生主二	242
百口衣小	242
エフー衣示	24/
主た整備作業とメンテナンス	249
ユーラントレベルの占接なとびは女	240
クニッチノブト オフル ドレベルのよ分	247
クラッナ/ノレーキノルートレヘルの点検	201
ノレーキハットの摩耗点検	254
ハッテリーの允電	255
トランスミッションチェーン張力の点検	259
チェーンの潤滑	261
ヘッドライトの光軸調整	266
リアビューミラーの調整	268
タイヤ	269

J	車両の清掃	
	長期間の保管	
)	重要注意事項	
217	車両の運搬	

	070
 メンテナン人フロクラム	.2/8
 メンテナンスプログラム:ディーラーでおこな	
 うメンテナンス	278
 メンテナンスプログラム:お客様がおこなうメ	
 ンテナンス	282

テクニカル仕様	
重量	
<u>ーー</u> サイズ	
補給	
エンジン	
性能データ	
スパークプラグ	
燃料供給	
ブレーキ	
トランスミッション	
フレーム	
ホイール	
タイヤ	

サスペンション	
エキゾーストシステム	
カラーバリエーション	
エレクトリカルシステム	

オープンソースソフトウェア	300
オープンソースソフトウェアに関する情報	300

Eι	リ適合宣言書	<u></u>
EU	適合宣言書	

ソフトウェアのアップデート

ソフトウェアのアップデート

ー部の車両構成部品には、ソフトウェアによって管理 されるもの、またはソフトウェアの使用が想定されて いるものがあります。このようなソフトウェアはアッ プデートの対象であり、アップデートを必要とする場 合があります。

- 車両の安全性を保証するために必要なアップデー トは Ducati から通知され、Ducati 正規サービス ネットワークにてインストールが実施されます。
- 車両の適合性を維持するために必要なアップデートの情報はDucatiウェブサイトに公開され、車両購入日から2年間、または保証期間中(車両に有効な場合)、Ducati正規サービスネットワークにてインストールが実施されます。
- ソフトウェアの更なるアップデートや新バージョンについては、本オーナーズマニュアルに記載されている車両の定期点検プログラムに則った点検作業を実施するDucati正規サービスネットワークにてインストールが実施されます。

Ducati ウェブサイトのアップデートに関するセクショ ンを定期的にご覧になり、My Ducati アプリをインス トールして、利用可能なアップデートに関する情報を 確認するようにしてください。



▲▲ 車両の法的な適合性および保証(有効な場合)を 維持するために、お客様は、利用可能なアップデート を、当該アップデートの重要性も考慮して、可能な限 り速やかに、いずれの場合も合理的な期間内にインス トールするものとします。

合理的な期間内にアップデートがインストールされな かった場合、アップデートがインストールされなかっ たことに起因する適合性または安全性の欠如につい て、Ducatiは一切の責任を負いません。

インフォテインメント

インフォテインメント

車両に搭載されているインフォテインメントシステム では、スマートフォン、ライダーインターコム、パッ センジャーインターコム、衛星ナビゲーターなどの Bluetooth デバイスを介して接続し、電話の発着信の 管理や、スマートフォンでの音楽再生が可能です。

- Bluetooth デバイスのペアリングと操作に関しては、ページ 11 を参照してください。
- 着信の応答とコンタクトの管理に関しては、ページ18を参照してください。
- ・ 音楽プレーヤーの操作に関しては、ページ 23 を 参照してください。



▲ Ducati は、特に人気のある最新スマートフォン の多くのモデルについてテストを行っていますが、ス マートフォンメーカーが採用する OS や技術の選択は、 Ducati の管理下にあるものではありません。そのた め、すべての市販のスマートフォンおよびそのソフト ウェア、ファームウェアでの動作を保証するものでは ありません。対応するスマートフォンやOSの確認は、 Ducati ウェブサイトをご覧ください。

Bluetooth デバイスのペアリングと操作

この機能では、ペアリング済みのBluetooth デバイスの管理およびデバイスのペアリングが可能です。

- インタラクティブメニュー (ページ122を参照)からボタン (1)とボタン (2)を使用して「Setting menu (設定メニュー)」を選択し、「ENTER」(3)を押します。
- 「Bluetooth」を選択し、「ENTER」(3)を押しま す。



「Pairing (ペアリング)」と「Paired devices (ペアリン グ済みデバイス)」が表示されます。

- 「Pairing」では、新しい Bluetooth デバイスをペ アリングします。
- 「Paired devices」では、ペアリング済みデバイスの表示と削除を行います。

ボタン(1)とボタン(2)を使用してスクロールし、希望 する項目を選択することができます。「ENTER」(3)を 押して決定します。



Pairing

新しい Bluetooth デバイスをペアリングします。

- インタラクティブメニューからボタン (1) とボタン (2) を使用して、「Setting menu (設定メニュー)」を選択し、「ENTER」 (3) を押します。
- 「Bluetooth」を選択し、「ENTER」(3)を押します。
- 「Pairing (ペアリング)」を選択し、「ENTER」(3) を押します。

ペアリング可能なスマートフォン、ライダーヘッドセット、パッセンジャーヘッドセット、衛星ナビゲーターの4つのデバイスタイプが表示されます(図3)。 ボタン(1)および(2)を使用して、ペアリングするデバ イスタイプを選択します。「ENTER」(3)を押して決定 し、デバイス検索を開始します。

インストルメントパネルが周囲の Bluetooth デバイス 検索を開始します。「Wait… (お待ちください)」の文 字が表示され、検出されたデバイスが表示されます。 検索が終了すると、検出された全デバイスがリスト表 示されます (図 4)。

ボタン (1) とボタン (2) で希望のデバイスを選択し、 「ENTER」ボタン (3) を押します。

Bluetooth デバイス側の検証待ちの間は、画面の右側 に「Pairing… (ペアリング中)」と表示されます。スマ



ートフォンとのペアリングする場合は、インストルメ ントパネルとスマートフォンの画面にペアリングコー ドと確認要求が表示されます。ペアリングを続行する には両方のデバイストでコードを承認します。

コードを確認すると、デバイスのペアリングが正常に 完了した場合は、右側に「Paired (ペアリングされま した)」と数秒間表示されてから、前のメニュー画面に 戻ります。「Pairing error (ペアリングエラー)」と表示 された場合は、もう一度ペアリング手順を実行できま す。

₹参考

1台、パッセンジャーヘッドセット1台、衛星ナビゲ -ター1台をペアリングできます。

新規に1台のスマートフォン、ヘッドセット、ナビゲ ーターのいずれかをペアリングするには、先にペアリ ング済みのデバイスを削除する必要があります (「Paired devices」をご覧ください)。

Paired devices

この機能では、ペアリング済みの Bluetooth デバイスの表示と削除を行います。

● 参考 最大スマートフォン2台、ライダーヘッドセット 1台、パッセンジャーヘッドセット1台、衛星ナビゲ ーター1台をペアリングできます。

- インタラクティブメニューからボタン (1) とボタン (2) を使用して、「Setting menu (設定メニュー)」を選択し、「ENTER」 (3) を押します。
- 「Bluetooth」を選択し、「ENTER」(3)を押しま す。
- 「Paired devices (ペアリング済みデバイス)」を選択し、「ENTER」(3)を押します。

ペアリング済みデバイスのリストが表示されますので (図 5)、ボタン(1)とボタン(2)を使用して目的のデバ イスを選択し、「ENTER」(3)を押します。 右側に「Delete? (消去しますか)」と表示され(図 6) 「ENTER」(3)を押して選択したデバイスをリストから 消去します。その後、「Wait… (お待ちください)」と 数秒間表示されてから、ペアリング済みデバイスのリ ストが更新されます。





ペアリングされているデバイスがない場合は、 「No device」と表示されます。

▲ 警告

Bluetooth スマートフォンおよびヘッドセットの 製造メーカーは、デバイスの寿命期間中に標準プロト コルに変更を加えることがあります(スマートフォン、 ヘッドセット)。

▲ 警告

▲ Ducatiはこれらの変更に関与していませんので、 こうした変更が Bluetooth スマートフォンおよびヘッ ドセット(音楽共有、マルチメディア再生など)の各種 機能やいくつかのタイプのスマートフォン(Bluetooth 対応プロファイルによる)に影響を与える可能性があ ります。このためドゥカティ社は、以下についてのマ ルチメディア再生を保証していません。

- 市販されているヘッドセットとスマートフォンの 全機種
- 2) 規定の Bluetooth プロファイルをサポートしてい ないスマートフォン



▲ Ducati は、特に人気のある最新スマートフォン の多くのモデルについてテストを行っていますが、ス マートフォンメーカーが採用する OS や技術の選択は、 Ducati の管理下にあるものではありません。そのた め、すべての市販のスマートフォンおよびそのソフト ウェア、ファームウェアでの動作を保証するものでは ありません。対応するスマートフォンや OS の確認は、 Ducati ウェブサイトをご覧ください。

スマートフォン本体が以下のプロフィールをサポート していることを確認します。

- MAP プロフィール: SMS および MMS 受信通知を 正しく表示する。
- PBAP プロフィール:スマートフォンの電話帳デ ータを正しく表示する。

ペアリング済み Bluetooth デバイスのアイコン

ペアリングが完了すると、Bluetooth デバイスは次の ように表示されます。

- 1) 接続スマートフォンと充電レベル
- 2) 接続スマートフォンの電波強度
- 3) 接続ライダーインターコム
- 4) 接続パッセンジャーインターコム
- 5) 接続ライダーインターコムとペアリング済みパッ センジャーインターコム
- ペアリング済みライダーインターコムと接続パッ センジャーインターコム
- 7) 接続ライダーインターコムと接続パッセンジャー インターコム
- 8) 接続ナビゲーター

接続されているデバイスは水色のアイコンで表示され ます。一方、接続されていないペアリング済みデバイ スはグレーのアイコンで表示されます。



Phone

この機能はインタラクティブメニュー内に表示され (ページ 122 を参照)、直前7件の不在着信、発信、着 信の通話履歴を表示します。スマートフォンが Bluetooth 接続されている場合にのみ利用できます。

Bluetoothのペアリング手順については、「Bluetooth デバイスのペアリングと操作」(ページ11)の章を参照 してください。

- ボタン (1) を長押しして、インタラクティブメニ ユー (A) を選択します。
- ボタン (1) とボタン (2) で「Phone (電話)」を選択し、「ENTER」(3) を押します。

▲ 警告

▲ Ducati は、特に人気のある最新スマートフォン の多くのモデルについてテストを行っていますが、ス マートフォンメーカーが採用する OS や技術の選択は、 Ducati の管理下にあるものではありません。そのた め、すべての市販のスマートフォンおよびそのソフト ウェア、ファームウェアでの動作を保証するものでは ありません。対応するスマートフォンやOSの確認は、 Ducati ウェブサイトをご覧ください。





ウィンドウが表示され(C)、直前7件の通話(発信、着 信、不在着信)の履歴が表示され、また「Back」の項 目が表示されます。履歴中に同じ電話番号や連絡先が 存在する場合は、1度だけ表示されます。

ボタン(1)とボタン(2)を使用して、通話一覧をスク ロールすることができます。「ENTER」ボタン(3)を押 すと、履歴内の選択した電話番号や連絡先に通話を発 信できます。

ウィンドウを閉じて前の表示に戻るには、ボタン (1) を長押しするか、「Back (戻る)」を選択して「ENTER」 ボタン (3) を押します。



通話中

通話中は、通話相手の名前または電話番号と、「End call (通話終了)」の項目がウィンドウで表示されます (D)。「ENTER」ボタン (3) を押して通話を終了します。 通話中は上向き矢印 (E) が表示され、ボタン (1) を長押 しすると、通話中の画面からメイン画面の別のメニュ ーに切り替えることができることを示します。また、 電話アイコン (F) が青色で表示され、通話中であるこ とを示します。

通話中の画面 (D) に戻るには、インタラクティブメニ ューの「Phone (電話)」(B、図8)を選択し、「ENTER」 (3) ボタンを押してください。





▲通話中は、音楽プレイヤーは一時停止されます。

着信

着信が入ると、発信者の名前または電話番号と、 「Accpet (応答)」と「Decline (拒否)」の項目がウィン ドウに表示されます (G)。

この場合、「ENTER」ボタン (3) を短く押して「Accept (応答)」または「Decline (拒否)」を選択し、「ENTER」 ボタン (3) を長押しして選択を決定します。

Call back (リダイヤル)

通話終了時や着信拒否後は、名前または電話番号と 「Call back (リダイヤル)」の項目がオレンジ色のウィ ンドウで5秒間表示されます (H)。「ENTER」(3)を押 すと、通話が発信されます。



受信メッセージと不在着信

接続スマートフォンでメッセージを受信した場合や不 在着信があった場合は、それぞれマーク(I)、(J)が60 秒間ディスプレイに表示されます。マークは最初の3 秒間点滅します。



受信メッセージや不在着信の相手先番号は表示 されません。



Music

この機能はインタラクティブメニュー内に表示され (ページ122参照)、音楽プレーヤーの起動、停止、操 作を行います。スマートフォンが Bluetooth 接続され ている場合にのみ利用できます。

Bluetoothのペアリング手順については、「Bluetooth デバイスのペアリングと操作 (ページ11)の章を参照 してください。

- ボタン(1)を長押しして、インタラクティブメニ • ュー(A)を選択します。
- ボタン(1)とボタン(2)で「Music」を選択し(B)、 「ENTER」(3)を押します。



Bluetooth 接続されているスマートフォンで音楽 が再生されます。ライダーとパッセンジャーのインタ ーコムをインストルメントパネルに接続している場合 は、インターコムから音楽が流れます。







の多くのモデルについてテストを行っていますが、ス マートフォンメーカーが採用する OS や技術の選択は、 Ducatiの管理下にあるものではありません。そのた め、すべての市販のスマートフォンおよびそのソフト ウェア、ファームウェアでの動作を保証するものでは ありません。対応するスマートフォンやOSの確認は、 Ducati ウェブサイトをご覧ください。

プレーヤーウィンドウが表示され (C)、音楽プレーヤ ーの操作類と現在再生中の曲が表示されます。この機 能に入ったときに曲が再生中でない場合は、再生コマ ンドがアクティブになっているウィンドウ (D) が、そ うでない場合は一時停止コマンドがアクティブになっ ているウィンドウ (E) がプレーヤーウィンドウに表示 されます。

- ボタン(1)とボタン(2)を短く押すと、音量を増減 することができます。
- 「ENTER」ボタン (3) を短く押すと、以下の操作類 をスクロールして選択することができます。選択 した操作を決定するには「ENTER」ボタン (3) を 長押しします。
 - IK前の曲へ移動
 - ▶ 再生 / Ⅱ 一時停止
 - ■ 停止
 - >) 次の曲へ移動

曲の再生中は上向き矢印(F)が表示され、ボタン(1)を 長押しすると、曲を再生したまま音楽プレーヤーの画 面からメイン画面の別のメニューに切り替えることが できることを示します。

停止コマンド ■を選択して「ENTER」ボタン(3)を長押しすると、曲の再生を停止して音楽プレーヤーウィンドウを閉じます。





取扱説明書内で使用される頭字語および略 語

ABS	アンチロックブレーキシステム
BBS	ブラックボックスシステム
DPL	ドゥカティパワーローンチ
DQS	ドゥカティクイックシフト
DRL	デイタイムランニングライト
DTC	ドゥカティトラクションコントロー
	1V
DWC	ドゥカティウィリーコントロール
EBC	エンジンブレーキコントロール
ECU	エンジンコントロールユニット
IMU	慣性計測ユニット
IMU TPMS	慣性計測ユニット タイヤ空気圧監視システム

本マニュアルで使用されている警告シンボ ル

お客様または他の人に負わせる可能性のある危険について、以下のような異なる形式で記載されています。

- モーターサイクルの安全性に関するラベル
- 注意シンボル、および警告または重要シンボルの うちの一つで表わされる安全性に関するメッセージ

▲ 車両や車両構成部品に損傷を与える可能性があります。



重要

作業上の追加注意事項。

文中の「右」、「左」の表記は、車両の進行方向に向かっての左右を意味します。

用途

本モーターサイクルはアスファルト舗装、または平ら で整備された路面状態の道路においてのみ使用してく ださい。未舗装道路やオフロードでは本モーターサイ クルを使用することはできません。

▲ 警告

▲▲ オフロード走行に使用すると車両のコントロー ルを失い、車両の損傷、身体の傷害または死亡事故に いたるおそれがあります。

▲ 警告

▲▲ 本モーターサイクルでのトレーラーのけん引や サイドカーの取り付けは行わないでください。車両の コントロールを失い、事故を招くおそれがあります。 本モーターサイクルにはライダーが搭乗し、パッセン ジャーを一人乗せることができます。

▲ 警告

▲ ライダー、パッセンジャー、荷物、オプション パーツを含む車両総重量が 455 kg / 1003 lb を超えな いようにしてください。



▲▲ ぬかるみや乾燥したほこりっぽい環境など過酷 な状況でモーターサイクルを使用すると、トランスミ ッション、ブレーキシステム、エアフィルター等の部 品の摩耗を早める可能性があります。エアフィルター が汚れていると、エンジンが損傷するおそれがありま す。そのため規定されている定期点検の間隔より早 く、定期点検や摩耗しやすい部品の交換が必要な場合 があります。

ライダーの義務

運転者は運転免許証を受けていなければなりません。

▲ 警告

▲▲ 無免許運転は違法です。こうした行為は法律で 罰せられます。モーターサイクルを運転する前に、運 転免許証を携帯していることを必ず確認してくださ い。経験の浅い運転者や運転免許証を有しない人に運 転をさせないようにしてください。

アルコールまたは薬物の影響を受けている状態で運転 しないでください。

▲ 警告

▲▲ アルコールや薬物の影響が残っている状態で運転するのは違法です。 こうした行為は法律で罰せられます。

医師から副作用についての説明を受けずに、運転前に 薬を服用しないようにしてください。

▲ 警告

薬によっては眠気やその他の症状を引き起こす ことがあります。運転者が思うようにモーターサイク ルを操縦できず、制御不能に陥り事故を招くおそれが あります。

一部の国では保険への加入が義務付けられています。



【土】現地の法律をご確認ください。保険に加入し、 保険証明書はモーターサイクルの他の書類と一緒に大 切に保管してください。

運転者および同乗者の安全を守るため、一部の国では 基準適合ヘルメットの着用が法律で義務付けられてい ます。

ん警告

【1】現地の法律をご確認ください。ヘルメットを着 用せずに運転すると罰則が科せられることがあります。

警告 事故が起こったときヘルメットを着用していないと、重大な傷害を受ける危険性が高くなり、最悪の場合死に至ることがあります。

警告 ヘルメットが安全規格に適合していること、十 分な視野が取れていること、頭に合ったサイズである こと、ご使用になる国の基準適合マークが貼付されて ることを確認してください。道路交通法は各国で異な ります。モーターサイクルを運転する前に現地の法律 を確認し、必ずそれに従ってください。

ライダーの教育

多くの事故は経験不足のために起こります。運転、操 作、ブレーキは他の車両とは違う方法で行わなければ なりません。

A 警告 ライダーの経験不足や車両の不適切な使用は、 コントロールを失い、死亡事故や重大な損傷の原因に なるおそれがあります。

服装

モーターサイクルを運転する際に着用する装備は安全 を確保する上で大変重要な役割を果たします。モータ ーサイクルは自動車のように乗員を衝撃から守ること はできません。

適切な装備とは、ヘルメット、日を保護するもの、グ ローブ、ブーツ、バックプロテクター、長袖ジャケッ ト、ロングパンツからなります。

- ヘルメットは「ライダーの義務」に記載されてい る要件を満たしていたければなりません。シール ドが付いていないモデルの場合は、適切なゴーグ ルを着用してください。
- グローブは革製もしくは摩擦に強い素材を用いた もので、5本指のもの、また指にはナックルプロ テクターと補強を備えた規格適合品を着用してく ださい。
- 運転する際のブーツやシューズは、アンチスリッ プソールとアンクルプロテクターを装備している ものを着用してください。
- バックプロテクターは、メーカーの仕様に応じ て、ライダーの体格に合ったサイズの規格適合品 を着用してください。
- ジャケットとパンツ、もしくはプロテクトスーツ については、革製のものか摩擦に強い素材を用い たもので、視認性を高めるカラーインサートが付

いている規格適合品を着用してください。規格適 合プロテクターを備えた製品を選ぶようにしてく ださい。

重要

ゆったりとした衣類やアクセサリーの着用は避けてく ださい。



■重要 パッヤンジャーも安全のため、適切な服を着用 してください。

安全のための"ベストプラクティス"

モーターサイクルの使用前後および使用中には、人の 安全を確保し、モーターサイクルを最善の状態に維持 するために大切な、簡単にできる作業は必ず実行して ください。

重要

慣らし運転期間中は、本冊子の "使用規定" の章 に記載されている指示に従ってください。

この条件が遵守されなかった結果としてのエンジンの 指傷や寿命の短縮については、Ducati モーターホール ディング社はいかなる責任も自うものではありませ h_{\circ}

運転する上で必要なコマンド類について十分な 知識がない状態で運転を行わないでください。

エンジンを始動する前に、本冊子が定める点検を必ず 実施してください (ページ 92 を参照)。

これらの点検を怠ると、車両に損傷を与え、ラ イダーやパッセンジャーに重大な傷害を招くおそれが あります。



エンジンの始動は必ず換気の良い適切な場所で 行ってください。閉めきった場所では絶対にエンジン を始動しないでください。

排出ガスは有毒です。短時間で意識を失ったり、さら には死に至る危険性があります。

走行中は適切な姿勢を保ち、パッセンジャーも同様に 正しい姿勢で乗車していることを確認してください。

▲ 重要 ▲ ライダーはハンドルから絶対に手を離さないで ください。

走行中、ライダーおよびパッセンジャーは必ず 足をペダルに乗せてください。

重要 パッセンジャーはシート下のフレームの所定の ハンドルバーを常に両手で握ってください。



私有地や駐車場からの出口、または高速道路の 入口などでの交差点では十分に注意してください。

▲ 重要

▲ 相手から良く見えるように心がけ、前方車両の 死角に入って走行することは避けてください。

▲ 重要

▲▲ 右左折や走行車線を変更する際は、常に十分な 余裕を持ってターンインジケーターで意思表示を行っ てください。

▲ 重要

モーターサイクルはサイドスタンドを使用して、他の邪魔にならないように駐車してください。路面の悪い場所や柔らかい場所には駐車しないでください。モーターサイクルが転倒する危険があります。

▲ 重要

▲▲ タイヤは定期的に点検し、特に側面に傷やヒビ がないか、突起、広範囲のシミ、内部の損傷を表すよ うな箇所がないかチェックしてください。損傷が著し い場合はタイヤを交換してください。 トレッドに入り込んだ石や異物は取り除いてくださ

ドレットに入り込んだ石や其物は取り味いてくたるい。



エンジン停止後でもエンジン、エキゾーストパイプ、サイレンサーは高温な状態が続きます。身体が触れないよう十分注意し、車両を木材や木の葉などの可燃物のそばに駐車しないようにしてください。 エンジンとエキゾーストシステムが高温の間は、カバーシートが破損するおそれがありますので、バイクをカバーしないでください。

燃料の補給

燃料の補給は屋外で、エンジンが停止している状態で 行います。

給油中は絶対に喫煙せず、火気を近付けないでくださ い。

エンジンおよびエキゾーストパイプに燃料がかからな いように注意してください。

給油の際は燃料タンクを完全に満タンにしないでくだ さい。燃料レベルは燃料タンクの給油口より低くなけ ればなりません。

給油中は燃料の蒸気をできるだけ吸いこまないように し、目、皮膚、服に触れないようにしてください。

∧ 警告

Cの車両にはエタノール含量が10%以下の燃料 (E10)のみ使用することができます。

エタノール含量が 10% 以上のガソリンを使用することは禁じられています。こうした燃料を使用するとエンジンや車両の部品に重大な損傷をきたす恐れがあります。エタノール含量が 10% 以上のガソリンを使用した場合は保証の対象外になります。



▲▲ 燃料の蒸気を長時間吸い込み気分が悪くなった 場合には、屋外にとどまり、医師に相談してくださ い。目に入った場合は大量の水で洗い流し、皮膚に触 れた場合は速やかに水と石鹸で洗ってください。



【13】 燃料は非常に引火しやすいため、間違って衣服に付着した場合には着替えてください。

最大積載時の運転

このバイクは最大積載時でも長距離を安全に走行でき るように設計されています。

車両の重量配分は、安全基準を維持するため、また悪 路走行や急な進路変更時のトラブルを避けるためにと ても重要です。

∧ 警告

▲ 最大許容重量を超えないようにしてください。 また以下に記載されている車両への積載に関する注意 事項をよくお読みください。

車両への積載に関する注意

▲ 重要

▲▲ 積み荷は車両の中心に近く、できる限り低い位 置に配置してください。

∧ 重要

▲▲ 車両が不安定になりますので、ステアリングへ ッドやフロントマッドガード部に体積や重量のかさむ ものを固定しないでください。

▲ 重要

【・】、バッグなどの荷物は車体にしっかり固定してください。確実に固定されていないと、運転が不安定になる危険があります。



∧ 警告

【 タイヤの空気圧が適正であり、コンディション が良好であることを確認してください。

ページ 269 の"タイヤ"の段落を参照してください。

危険物 - 警告

使用済みエンジンオイル

警告 使用済みエンジンオイルが長期間わたり繰り返 し表皮に触れると、上皮がんの原因になる場合があり ます。日常的に使用済みエンジンオイルを使用する場 合、作業後すぐに水と石鹸で手を十分に洗ってください。お子様の手の届かないところに保管してください。

ブレーキダスト

ブレーキシステムの清掃に圧縮空気を噴射したり、乾 いたブラシは絶対に使用しないでください。

ブレーキフルード

▲ 警告

▲▲ 車両のプラスチック、ゴム製部品、塗装された 部品にブレーキフルードがかかると、部品が破損する 原因になる場合があります。作業をおこなう場合は、 毎回システムのメンテナンスを実施する前にきれいな 布をこれらの部品の上にかけてください。お子様の手 の届かないところに保管してください。

▲ 警告

ブレーキフルードは腐食性があります。万一目に入ったり肌に触れたりした場合は、流水でしっかりと洗い流してください。

クーラント

エンジンクーラントに含まれるエチレングリコールは 特定の条件下において可燃性があり、その炎は肉眼で は見えません。エチレングリコールが発火した場合、 その炎が肉眼では見えないため重大な火傷につながる おそれがあります。

▲ 警告

エンジンクーラントがエキゾーストシステムやエンジン部品にかからないようにしてください。

これらの部品はクーラントが発火するのに十分な熱を 持っている場合があります。そのため、見えない炎で 火傷を負うおそれがあります。クーラント (エチレン グリコール) は皮膚刺激を起こすことがあります。また飲み込むと有害です。お子様の手の届かないところに保管してください。エンジンが熱いときは、ラジエ ーターキャップを外さないでください。クーラントは加圧された状態にあり、火傷を引き起こす原因となる ことがあります。

クーリングファンは自動的に起動しますので、手や衣 類を近づけないでください。

バッテリー


車両識別番号

フレームに刻印された識別番号を見るには、フロント ホイールを左に切ります。車両識別番号、図に示すよ うにステアリングチューブに刻印されています。



 ◆
 参考
 これらの番号は車両モデルを識別するもので、 部品を注文する際にも必要です。



エンジン識別番号

エンジン識別番号は、図に示すように、エンジンの左側にあります。

〇参考

これらの番号は車両モデルを識別するもので、 部品を注文する際にも必要です。



主要構成部品 / 装備

車両上の配置

1) フィラープラグ
 2) シートロック
 3) サイドスタンド
 4) リアビューミラー
 5) フロントフォークアジャスター
 6) リアショックアブソーバーアジャスター
 7) 触媒コンバーター
 8) エキゾーストサイレンサー
 9) USB ソケット



燃料フィラープラグ

開け方

保護力バー(1)を起こし、アクティブキーまたはパッ シブキーをロックに差し込みます。キーを時計回りに 1/4 回転させ、ロックを解除します。 プラグ(2)を起こします。

閉じ方

差し込んだキーでプラグ(2)を閉じ、プラグを押しま す。キーを抜き取り、保護カバー(1)を閉じます。

● 参考 キーが挿入された状態でのみキャップを閉める ことが可能です。

警告

燃料補給後は、必ずキャップが確実に閉じてい ることを確認してください。



図 24

シートの取り外しおよび取り付け パッセンジャーシートの取り外し

右パッセンジャーフットペグを下げてロック(1)を操作すると、パッセンジャーシート(2)を前方に引いて持ち上げながら取り外すことができます。



パッセンジャーシートの取り付け

リアタブ(A)をテール内の所定の位置(B)に挿入し、パ ッセンジャーシート (2)を車両に配置します。

ピン (C) をラッチ (D) の穴に挿入し、パッセンジャー シート (2) を下に押し付けます。

シートを少し上に引き、正しくロックがかかったこと を確認します。



パッセンジャーシートカバーの取り外し/取り 付け

シングルシート仕様では、パッセンジャーシートにカ バーを取り付けます。

パッセンジャーシートを使用するには、前述のように 車両からカバーを取り外す必要があります。下側スク リュー(E)を取り外し、パッセンジャーシートカバー (3)を抜き取ってください。

パッセンジャーシートカバー(3)を取り付けるには、 取り外し作業と逆の手順を実施してください。

前述のように、パッセンジャーシートの取り付けを進めます。



パッセンジャーハンドルの取り出し/挿入

前述のように、パッセンジャーシートを取り外しま す。

テールにある円形ハンドル(F)を持ち上げ、最後まで 引き出します。円形ハンドル(F)を放し、パッセンジ ャーハンドル(4)が正しい位置に固定されていること を確認します。

パッセンジャーハンドル(4)をテール内の所定の位置 に挿入するには、前述の作業と逆の手順を実施しま す。

前述のように、パッセンジャーシートの取り付けを進めます。



ライダーシートの取り外し

前述のように、パッセンジャーシートを取り外しま す。

ライダーシート (5) を取り外します。それには、まず ライダーシートの後部を持ち上げて、ピン (G) を耐震 ラバー (H) から外し、次にシートを車両後方に引いて、 前部の溝 (I) をシートピンのキャップ (L) から抜き取り ます。



ライダーシートの取り付け

前部の溝 (I)をシートピンのキャップ (L) に差し込み、 次にピン (G)を耐震ラバー (H) に奥まで挿入してライ ダーシート (5)を取り付けます。

前述のように、パッセンジャーシートの取り付けを進めます。



バッテリー充電の維持

∧ 警告

▲▲ 本車両のエレクトリカルシステムは、エンジン 停止状態での消費電力を非常に低く抑えるよう設計さ れています。ただし、バッテリーは自然に放電してお り、放電量は使用していない期間や環境条件によって 変化します。

本車両のライダーシート下にはコネクター (A) (診断ソ ケット) が装備されています。このコネクターには専 用バッテリーチャージャー (B) を接続することができ ます。専用バッテリーチャージャーは当社の販売店に てお求めいただけます。

使用するには、「シートの取り外しおよび取り付け」 の記載に従ってライダーシートを取り外す必要があり ます。

タブを押してコネクター (A)の底部からキャップ(1)を 抜き取り、コネクターをバッテリーチャージャー (B) に接続します。

▲ 重要

▲ 所定のメンテナーを介してバッテリー電力の最 低値が維持されないと、修理が不可能なバッテリーの 劣化を招くサルフェーション現象が生じます。







▲車両を長期間使用しない場合は(およそ 30 日以上)、ドゥカティ純正バッテリーメンテナー(バッテリーメンテナーキット部品番号:69924601A(各国)またはバッテリーメンテナーキット部品番号:69924601AX(日本、中国、オーストラリアのみ)をご使用いただくことをお勧めします。ドゥカティ純正バッテリーメンテナーは内蔵エレクトロニクスが電圧をモニターし、最大1.5A/hの充電が可能です。メンテナーを車両後部に設けられた診断ソケットに接続します。



Ducati が認可していないバッテリーメンテナー を使用すると、車両のエレクトリカルシステムに損傷 を与えるおそれがあります。上記の理由でバッテリー が損傷した場合には、不適切なメンテナンスとみなし 保証の対象にはなりません。

▲ 警告

バッテリーのショートやオーバーヒートの原因となりますので、絶対に他の車両のバッテリーと並列に接続しないでください。

サイドスタンド

▲ 重要

▲▲ 短時間停車する場合に限り、サイドスタンドを 使用して車両を支えます。サイドスタンドを使用する 前に、地面に十分な固さがあり平らであるかを確かめ てください。

柔らかい地面、砂利、日光で柔らかくなったアスファ ルト等に駐車すると、車両転倒の原因となります。傾 斜面に停車する場合は、必ずリアホイールを斜面下側 にして駐車してください。

サイドスタンドを使用するには、ハンドルバーを両手 で掴み、車体を支えながら、スタンドのフック(1)を 足でいっぱいに押します。次に、スタンドがしっかり と地面に着くまで、車体を徐々に傾けます。

サイドスタンドを元の位置 (水平位置) に戻すには、 車両を右側に傾けながら、足でスタンドのアーム (1) を持ち上げます。

サイドスタンドのジョイント部の円滑な動作を維持す るには、汚れをきれいに取り除いた後、摩擦が起きる 部分すべてにグリース SHELL Alvania R3 を塗布しま す。



▲

▲

▲

▲

▲

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

● いでください。

 ◆
 参考 定期的にスタンド(内側と外側2つのスプリング の状態)と安全センサー(2)の作動を点検することをお 勧めします。

● 参考 サイドスタンドを下ろし、ギアがニュートラル の状態でエンジンを始動することができます。ギアが 入った状態で始動する時は、クラッチレバーを引いた 状態で行ってください (この時サイドスタンドは上が っていなければなりません)。

USB コネクター

車両には、USB 5V 接続が装備されています。USB コ ネクター (1) は最大 1 A の電流をサポートします。 USB 接続 (1) はインストルメントパネル左側に設けら れています。ゴム製のキャップ (2) で保護されており、 キャップを下げて開けると利用できます。

▲ 重要

L このUSB コネクターはスマートフォン充電用です。

入重要

▲▲ Key-ON 状態でエンジンを停止している時は、車 両のバッテリーが上がるおそれがありますので、長時 間装置を USB コネクターに接続したままにしないで ください。





フロントフォークアジャスター

車両のフォークは、リバウンドダンピング(リターン)、 コンプレッションダンピング、およびスプリングプリ ロードの調整が可能です。

両レッグのスプリングプリロードは調整できますが、 コンプレッションダンピングは左レッグ、リバウンド ダンピングは右レッグの調整が可能です。 調整はアジャスターを使用して行います。

- 1) リバウンドダンピングの変更
- 2) スプリングプリロードの変更
- 3) コンプレッションダンピングの変更

車両をサイドスタンドで支え、安定した場所に駐車します。マイナスドライバーで右フォークレッグの先端にあるアジャスター(1)を回転させ、リバウンドダンピングを調整します。マイナスドライバーで左フォークレッグの先端にあるアジャスター(3)を回転させ、コンプレッションダンピングを調整します。アジャスター(1)および(3)を回すと、カチッと音がします。それぞれがダンピングの1クリックに相当します。

アジャスターをいっぱいに締め込むと「0」位置になり、ダンピングが最強にセットされます。この位置から反時計回りに回すとカチッと音がします。それぞれが"1"、"2"、・・・の位置に相当します。

標準設定は以下の通りです。



- コンプレッション:最大(すべて閉じた位置)から -2回転
- リバウンド:最大 (すべて閉じた位置) から-2回 転
- スプリングプリロード:最小(すべて緩めた位置) から +5 回転

リアショックアブソーバーアジャスター

▲ 警告

L リアショックアブソーバーの調整は、Ducati正 規ディーラーまたはサービスセンターで実施してくだ さい。

リアショックアブソーバーは荷重に合わせてバランス を調整できるようアジャスターを装備しています。モ ノショックアブソーバー下部にあるアジャスター(1) はリバウンドダンピングを調整します。アジャスター (1)を時計回りに回すとリバウンドダンピングが強く なり、反時計回りに回すと弱くなります。ショックア ブソーバーのリザーバータンクにあるアジャスター(2) は、コンプレッションダンピングを調整します。アジ ャスター(2)を時計回りに回すとコンプレッションダ ンピングが強くなり、反時計回りに回すと弱くなりま す。ショックアブソーバート部の2個のリングナット (3) はスプリングプリロードを調整します。スプリン グプリロードを変更するには、上部固定リングナット を緩めます。下部リングナットを締める、または緩め ることでプリロードの強弱を調整します。プリロード リングナットのねじピッチは 1.5 mm (0.05 in) です。



すべて閉じた位置からの標準設定(時計回り):

リバウンド:アジャスター(1)を-1.25回転緩めます(すべて閉じた位置から)

(ライディング条件、ユーザーの能力およびニーズ)を 考慮した調整に相当します。

- コンプレッション:アジャスター(2)を-2回転緩 めます(すべて閉じた位置から)
- スプリングプリロード:13 mm (0.51 in)

へ 警告

プリロードアジャスターを回すにはピンレンチを使用します。作動中にリングナットのすき間にレンチのソケット部分が急に落ちた場合に車両の他の部品に手を強くぶつけてケガをしないよう十分注意してください。

▲ 警告

ショックアブソーバーには高圧のガスが充填されています。未経験者による分解作業は重大な損傷の原因となる恐れがあります。

パッセンジャーと荷物を載せる場合は、リアショック アブソーバーのスプリングプリロードを調整してくだ さい。これによりハンドリングを向上させ、車両が地 面に接触するのを防ぎます。この場合、リバウンドダ ンピングの再調整が必要になることがあります。 販売されている車両の調整(前の章に記載されている 標準調整)は、ストリートでの競技使用において最高 のパフォーマンスを得られるよう、すべての使用条件

運転時に必要なコマンド

コマンド類の配置

▲ 警告 この章では車両を運転する上で必要なすべての コマンド機能と配置を詳しく説明しています。コマン ドを使用する前によくお読みください。

1) ハンドルバーのインストルメントパネル 2) Hands free システム 3) 左側スイッチ 4) クラッチレバー 5) リアブレーキペダル 6) 右側スイッチ 7) スロットルグリップ 8) フロントブレーキレバー 9) ギアチェンジペダル



スイッチ類



1	۵	コントロールボタン UP
2	♥	コントロールボタン DOWN
3	MODE ENTER O	ライディングモード変更と「ENTER」機能ボタン
4	+ RES	クルーズコントロール RES/+
5	SET	クルーズコントロール SET/-
6	ON OFF	クルーズコントロール ON/OFF
7		ハザードランプ (赤色)
8	令令 OFF	3 ポジション、ターンインジケーター: ポジション (8a)、左ターンインジケーター 中央、OFF ポジション (8b)、右ターンインジケーター
9	þ	警告ホーン
10	≣D≣D≣D	 ライトセレクター: ハイビーム、上に押す ロービーム、中央位置 フラッシュライトと「ラップ Start/Stop」機能、下に押す
11	:::D	DRL
12	DPL	ドゥカティパワーローンチ (DPL)

13		Hands Free システムの Key-ON と Key-OFF / 電子式ステアリングロックの挿入
14	(٤)	エンジンの始動
15	\bigotimes	エンジンの停止、下に押す (赤色)

ライトコントロール ロービーム/ハイビームライト

ボタン(1)を使用して、ロービームとハイビームの切 替えを行います。

- ポジション (A) ハイビームライト
- ポジション(B)ロービームライト

ボタン (1) をポジション (C) に押すと、ライトがフラ ッシュ (ハイビーム点滅) します。

インストルメントパネルを起動してからエンジンをかけない場合でも、各ライトやフラッシュライトを作動 させることはできます。

ただし、ロービーム/ハイビームライトを手動で起動 してから 60 秒以内にエンジンを始動しないと、ライ トは消灯します。

車両のバッテリー充電状態を維持するため、エンジン 始動時にヘッドライトが自動的に消灯します。エンジ ンが始動した時点で再び点灯します。

DRL の「Auto」モード – DRL 搭載バージョン のみ

DRLを「Auto」モードに設定すると(ページ 187 参照)、検出された外光の明るさに基づいて、インストルメントが DRLを以下のように自動管理します。



- 十分な外光が検出されると(昼間)、DRLを点灯してロービームライトを消灯します。
- 十分な外光が検出できない場合(夜間)は、ロービ ームライトを点灯して DRLを消灯します。

DRLが「Auto」モードで点灯しているときは、該当す るランプ(7、図94)が点灯します。ボタン(2、図42) を押すと、DRLが消灯します。もう一度ボタン (2、図42)を押すと、DRLが「Manual」管理モードで 再び点灯します。

この場合、次回のインストルメントパネル起動時に、 DRL は再び「Auto」モードに設定されます。

58

▲▲ 外光の弱い状況下、特に霧や曇りの時にDRLを 「Auto」モードで使用すると、非常に危険な場合があ ります。このような場合には、ロービームライトを手 動で点灯するようにしてください。

DRL の「Manual」モード – DRL 搭載バージョ ンのみ

DRLを「Manual」モードに設定すると(ページ187参 照)、ボタン(2、図42)を押してDRLを消灯・点灯する 必要があります。

へ 警告

▲▲ 外光の特に弱い状況下(暗闇)でDRLを使用する と、運転中の視界を損なう危険があるだけでなく、対 向車のドライバーにとって眩しく不快に感じさせるこ とがあります。

各 各 各 各 各 各 各 日中に DRL を使用することで、 ロービームライ トよりも優れた れた たる

ターンインジケーター

インストルメントパネルはターンインジケーターの自 動リターンを行います。

左ターンインジケーターを起動するにはボタン (3) を ポジション (D) に押します。右ターンインジケーター を起動するにはボタンをポジション (E) に押します。 ターンインジケーターを解除するには、ボタン (3) を 中央位置に戻します。

自動解除:

車両速度、リーンアングル、車両の動的制御の分析から右左折の動作の終了を感知して、ターンインジケーターが自動的に消灯します。

自動解除機能は、インジケーターボタンを操作することにより、車両速度が20km/h(12.4mph)を超えると作動します。

ターンインジケーターは、車両がかなりの長距離を走 行している間作動したままになっている場合にも、自 動的に消灯します。ターンインジケーターボタンが操 作された時の車両速度に応じて、200~2,000 メート ル(656~6,562 フィート)までの範囲で変化します。 ターンインジケーターの作動中、ターンインジケータ ーを作動させようとしてターンインジケーターボタン を再び押すと、自動解除機能は再度初期化されます。



ターンインジケーター操作を自動モードまたは手動モ ードに設定する方法は、ページ 219を参照してくださ い。

警告 自動解除システムは、ライダーがターンインジケ ーターをより快適に操作できるように助ける、ライダ ー支援システムです。こうしたシステムは、ほとんど の運転において動作するように開発されていますが、 ライダー自身がターンインジケーターの動作に注意を 払わなくてよくなる機能ではありません(必要に応じ て手動で作動/停止)。

60

ハザードランプ

ハザードランプは、車両が起動している状態(Key-ON) でのみ、赤色ボタン(4、図 43)を押して作動または解 除が可能です。

ハザードランプ作動中に車両をオフにした場合、ハザ ードランプは2時間作動を続けます。バッテリーを保 護するため、ハザードランプは2時間後に自動的に消 灯します。

○^{参考}

Yサードランプが作動しているときに Key-ONを 行うと、ハザードランプは作動を続けます。



● 参考 ハザードランプは、通常のターンインジケータ 一機能より優先されます。



速度 55 km/h 以上で走行中に急ブレーキをかけると、 テールライトが高速で点滅して後続車に警告します。 減速度が既定のしきい値を下回ると、点滅は自動的に 止まります。

Hands Free システム

Hands Free システムは、以下で構成されています。

1) Hands Free ブロック 2) アンテナ 3) アクティブキー 4) パッシブキー



重要 Hands Free システムの正常な機能に影響を与え る状況。

以下に記載する状況においては、リモコンが適切に機 能しない場合があります。

- テレビ塔、ラジオ局、発電所、ガソリンスタンド など強い電波を発する場所が近くにある時。
- 携帯ラジオや携帯電話などワイヤレス通信機器を 持ち運んでいる時。
- 複数のワイヤレスキーが近くにある時。
- ワイヤレスキーに触れるか金属製の物におおわれた時。
- 電波を発するワイヤレスキーが近くで使用された時。
- パソコンなどの電気機器の近くにワイヤレスキー が置かれている時。

(図 45) は Hands Free ブロック (1) の位置を示し、 (図 46) は左側テールガード (6) 下のアンテナ (2) の位置 を示します。





Hands Free システムの起動「Key-ON」と停止 「Key-OFF」

Key-ON は Hands Free と全ての電子機器を起動しま す。

Key-ON するにはハンドルバー右側スイッチのボタン (7)、もしくはHands Free ブロック(1)の緊急ボタンを 使用します。

Key-OFF は Hands Free と全ての電子機器を停止し、 エンジンを確実に停止します。

Key-OFF するにはハンドルバー右側スイッチのボタン (7)、もしくは Hands Free ブロックのボタン(1)を使用 します。



ロックのボタン(1)はON/OFF どちらにでも使用する ことができます。例えば、どちらかでONにしてもう 片方で OFF にすることができ、その反対も可能です。





2本のキー (3) もしくは (4) のいずれかがあるとき、または PIN CODE を入力して Key-ON することができます (参照、ページ 84)。

Key-OFF はキー (3) または (4) がなくても可能です。 Key-OFF するには、走行速度がゼロのときにハンドル バーのボタン (7、図 47) か Hands Free ブロックのボ タン (1) を押します。走行速度がゼロでないときの Key-OFF は、Hands Free ブロックのボタン (1) でのみ 可能です。





▲ 警告 パッシブキー(4)の作動範囲は半径数センチ(イ ンチ)です。キー(4)を左側テールガード(9)の図に示 すアンテナ(2)の近くに置いてください。

▲ 重要 アクティブキーは電池が切れるとパッシブキー のように作動します。作動範囲がアンテナ(2)から半 径数センチ(インチ)と短くなります。インストルメン トパネルはバッテリーの消耗状態を通知します。アク ティブキーの電池が切れた場合でも、パッシブキーモ ードで使用することが可能です。



パッシブキーまたは電池の切れたアクティブキ ーによる Key-ON のリカバリーモード

電池の切れたアクティブキー (3) またはパッシブキー (4) の作動範囲は半径数センチ (インチ) です。そのた め、Hands Free アンテナ (2) にいずれかのキーを近づ ける必要があります。そのためには、「シートの取り 外しおよび取り付け」の記載に従ってライダーシート を取り外す必要があります ページ 40。



ライダーシートを外し、アクティブキーまたはパッシ ブキーを Hands Free アンテナ (2) にセットします。

警告 パッシブモードで Key-ON した場合は、15秒以 内にエンジンを起動してください。この時間内にエン ジンが起動されないと、Hands Free キー(2)からキー が離れたために自動的に Key-OFF してしまう可能性が あります。



キー(3)の金属部分(A)は、フィラープラグを開ける ときと、シートおよびバッグのロックに使用します。 キー(3)の金属部分(A)は、ボタン(B)を押すと柄の内 側に隠れます。

○参考

▶ 車両が Key-ON 状態にありエンジンが停止してい るときにアクティブキー(3)の存在を15秒間検知でき ないと、車両はユーザーが何もしなくても自動的に停 止します。



アクティブキーとハンドルバーのボタンによる Key-ON/Key-OFF

Key-ON するには、アクティブキー (3、図 55) がある ときにハンドルバーのボタン (7) を押します。

◆
 参考
 アクティブキー (3) の作動範囲は半径約 1.5 m
 (4.92 ft) です。キーをその圏内に置いてください。

Key-OFF するには、ハンドルバーのボタン (7)を押します。車速がゼロであればキー (3、図55) がなくてもKey-OFF が可能です。



アクティブキーと Hands Free ブロックのボタン による Key-ON/Key-OFF

Key-ON するには、アクティブキー (3、図 55) がある ときに Hands Free ブロックのボタン (1) を押します。

◆
 ★考
 アクティブキー (3) の作動範囲は半径約 1.5 m
 (4.92 ft) です。キーをその圏内に置いてください。

Key-OFF するには Hands Free ブロックのボタン (1)を 押します。キー (3、図 55) がなくても Key-OFF が可能 です。


パッシブキーとハンドルバーのボタンによる Key-ON/Key-OFF

Key-ON するには、パッシブキー (4) があるときにハ ンドルバーのボタン (7) を押します。

▲ 警告

▲ パッシブキー (4) の作動範囲は半径数センチ (インチ) です。キー (4) を左側テールガード (9) の図に示すアンテナ (2) の近くに置いてください。

Key-OFF するには、ハンドルバーのボタン (7)を押し ます。走行速度がゼロであればパッシブキー (4) がな くても Key-OFF が可能です。





パッシブキーと Hands Free ブロックのボタンに よる Key-ON/Key-OFF

Key-ON するには、パッシブキー (4) があるときに Hands Free ブロックのボタン (1) を押します。

∧ 警告

▲ パーシブキー (4) の作動範囲は半径数センチ (インチ) です。キー (4) を左側テールガード (9) の図に示すアンテナ (2) の近くに置いてください。

Key-OFF するには Hands Free ブロックのボタン (1)を 押します。キー (4) がなくても Key-OFF が可能です。





PIN CODE (イモビライザー解除) による Key-ON/ Key-OFF

キー (3) および (4) がないときに Key-ON するには、 Hands Free ブロックのボタン (1) を押し、PIN CODE を入力します (参照、ページ 84)。

Key-OFF するにはハンドルバーのボタン (7、図 47)を 押します。

Key-OFF した後、次の Key-ON 時にキーがない場合は PIN CODE を入力します。PIN CODE は車両受取り後に ユーザーが入力します。PIN CODE を入力しないとこ の機能は有効になりません。Hands Free ボタン(1)を 押すと、インストルメントパネルに4桁の PIN CODE を入力することができます。PIN CODE の入力は120 秒以内に完了してください。それを過ぎると自動的に Key-OFF します。





車両解除のための PIN CODE 入力機能

Hands Free システムに不具合が生じた場合、この機能を使用して車両を一時的に起動します。

通常の始動ボタンで車両を起動できない場合は、"緊急"Hands Free ボタン(1、図62)を押してこの機能を 作動させます。

ボタンを押すと、インストルメントパネルに PIN CODE 入力ページが表示されます (参照、ページ 84)。

+-

車両には、以下のキーが付属します。

- アクティブキー1本(1)
- パッシブキー1本(2)

これらのキーは、Hands Free システムにおいて複数の 方法で Key-ON するためのコードを備えています。

アクティブキー (1) は通常時に使用します。キーについているボタン (A) を押すとキーの金属部分 (B) が外に出ます。

金属部分をボディ内部に押し入れて戻します。





アクティブキー内部には、バッテリー (3) が内蔵され ています。インストルメントパネル起動時に、キーと バッテリーマークの下に "low level" のメッセージが表 示される場合はバッテリーを交換する必要がありま す。

○参考

この場合はできるだけ早くバッテリーを交換してください。

バッテリー残量がある程度の限度を下回ると、このキ ーはパッシブキーモードでのみ作動します。この場 合、インストルメントパネルには一切のメッセージが 表示されません。







A 警告 キー (アクティブキーまたはパッシブキー)をフ ィラープラグのロックやシートロックに差したまま走 行しないでください。途中でキーが抜けて思わぬ事故 につながるおそれがあります。また、強い衝撃はキー の機械部分や内部回路に損傷を与える可能性がありま す。

過酷な気象条件下でキーを挿入したまま走行すること も、キー内部の回路に損傷を与える可能性がありま す。

洗車中にキーを車両の上に放置しないでください。防 水対応はしておりませんので、損傷するおそれがあり ます。

バッテリーの交換

Y 警告 マーク(A)は、キーの電池を取り外す際は充分に 注意することを示しています。

■警告

電池の誤った取り外しを行うと爆発の危険があ ります。交換用の電池には、必ず同じ種類の電池もし くは同等品を使用してください。

▲ 警告 インストルメントパネル上や直射日光の下など、 高温になる場所にキーを置かないでください。

■警告

このマーク(B)は、装置に付属する取扱説明書内 に使用・メンテナンスに関する重要な指示があること を示します。





図に示すように、ボディ裏側のプラスチックカバー(1) を前方に押し、上に持ち上げて取り外します。

プラスチックカバーを外し、バッテリー(3)の溝(2)の サイズに合った適切なコインを使用して、バッテリー を時計回りに回転させて取り外します(バッテリー上 に「OPEN」で示されているように)。 電池(3)を取り出して、新しい電池と交換します。

▲ 警告

▲▲】電池を飲み込まないでください。化学熱傷のお それがあります。

この製品にはボタン型電池が含まれています。ボタン 型電池を飲み込むと、内臓に重い熱傷を引き起こし、 2時間で死に至るおそれがあります。

万が一ボタン型電池を誤飲したと思われる時や体内に 入ったと思われる時は、直ちに医師の診断を受けてく ださい。



図 70

新しいバッテリー(3)を溝(2)を上に向けて所定の位置 に挿入します。

溝(2)のサイズに合った適切なコインを使用して、バ ッテリー(3)を反時計回りに回転させて固定します(バ ッテリー上に「CLOSE」で示されているように)。



介 重要 指定バッテリーのみ、使用してください。



裏側のプラスチックカバー(1)を図のように軽く押し ながら取り付けます。 タブ(D)を取り付け位置に収めます。 カバーがしっかりと閉じられ、キーが確実に閉じてい ることを確認します。



イモビライザーシステム

盗難防止機能を高めるため、車両にはエンジンをブロ ックする電子システム(イモビライザー)が装備されて おり、インストルメントパネルを消す度に自動的に起 動します。

各キーボディには電子装置が内蔵されています。この 電子装置は車両の起動時にヘッドライトフェアリング に組み込まれた特殊アンテナから送られる信号を変調 します。この信号はパスワードの役割を果たし、起動 のたびに変更されます。CPUがその"パスワード" に よってキーを認識した時にのみエンジンが始動しま す。

キーの複製

追加のキーが必要な場合は、Ducatiアシスタンスネッ トワークにご連絡ください。その際、お手持ちのすべ てのキーをお持ちいただく必要があります。 Ducatiアシスタンスネットワークでは新しいキーとお 手持ちのキーすべての登録を行います。 Ducatiアシスタンスネットワークではお客様に車両の 所有者確認をさせていただく場合があります。 登録作業中に提示されなかったキーの暗号はメモリー から削除されます。これは、紛失したキーでエンジン を始動できなくするためです。

PIN Code による車両の解除

キー認識システムの不具合、またはキーの不具合の場合、車両ブロックの一時解除のため PIN CODE の入力 ができるようになります。

「Setting menu (設定メニュー)」 (ページ 194 参照)の 「PIN code」機能から PIN Code を有効にしている場合 は、インストルメントパネルに「PIN code」の文字と 4 桁の PIN Code 入力スペースが表示されます。

コードの入力:

- 数字の上にある数字は、ボタン(1)、(2)を使用して数字を0~9の間で変更できることを示しています。
- 「ENTER」(3)を押して決定し、次の桁に移動します。
- 同じ方法で4桁すべてを入力します。

4 桁目を入力してから「ENTER」ボタン (3) を押すと、 以下のようになります。

- PIN Code の検証中に問題が発生した場合は、インストルメントパネルに「Time out」が2秒間表示され、その後メイン画面に戻ります。
- PIN Code が正しくない場合、インストルメント パネルは「Wrong」を2秒間表示します。その 後、前の画面に戻り、もう一度コードを入力する ことができます。



 PIN Code が正しい場合は、インストルメントパネルは「Correct」を2秒間表示し、その後メイン 画面に戻ります。

重要 車両を起動するために上記のプロセスを踏まな ければならない時は、早めに Ducati 正規サービスセ ンターにご連絡ください。

クラッチレバー

レバー(1)でクラッチの接続を操作します。この機種 にはアジャスター(2)がついており、レバーとグリッ プとの間隔の調整が可能です。レバーとハンドグリッ プの距離を調整するには、希望するクリック数だけア ジャスター(2)を回します。アジャスター(2)を時計回 りに回すと、レバーはグリップから離れます。アジャ スター(2)を反時計回りに回すと、レバーはスロット ルグリップに近づきます。レバー(1)を操作すると、 エンジンの回転がトランスミッションおよび駆動輪に 伝わらなくなります。クラッチの適切な操作は、スム ーズなライディング、特に発進時に重要です。

▲ 警告

クラッチおよびブレーキレバーの調整は停車時に行ってください。

▲ 重要

クラッチレバーを正しく操作することで、トランスミッションの損傷を避け、エンジンの寿命を延ばすことができます。



◎参考

▶ サイドスタンドを下ろし、ギアがニュートラルの状態でエンジンを始動することができます。ギアが入った状態で始動する時は、クラッチレバーを引いた状態で行ってください(この場合は、ギアを入れる前にサイドスタンドを上げてください)。

スロットルグリップ ハンドルバー右側のスロットルグリップ(1)は、スロットルボディのバルブ開閉を制御します。グリップを 離すと、自動的に元の位置(アイドリング状態)に戻り ます。



フロントブレーキレバー

レバー(1)をスロットルグリップの方向へ引くと、フ ロントブレーキがかかります。このレバーは油圧で作 動するため、軽く握るだけで作動します。 コントロールレバー(1)には調整用つまみ(2)が付い ており、レバーとグリップとの間隔を調整できます。 レバーとハンドグリップの距離を調整するには、希望 するクリック数だけアジャスター(2)を回します。ア ジャスター(2)を時計回りに回すと、レバーはスロッ トルグリップから離れます。アジャスター(2)を反時 計回りに回すと、レバーはスロットルグリップに近づ きます。



リアブレーキペダル

リアブレーキをかけるには、ペダル (1) を足で下に押 してください。 制御システムは油圧式です。



ギアチェンジペダル

ギアチェンジペダルは中央のニュートラルポジション Nに自動的に戻ります。ニュートラルポジションであ ることはインストルメントパネルのランプNで表示さ れます。

ペダルは次のように動かせます。

- 下へ=シフトダウンおよび1速へのチェンジは、 ペダルを下に押します。この時、インストルメン トパネルのランプNが消えます。
- 上へ=ペダルを上へ上げることで、2速から順次 3速、4速、5速、6速へとチェンジします。

一回の操作が一速分のチェンジに相当します。



ギアチェンジペダルとリアブレーキペダル の調整



● 参考 車両に対するギアチェンジペダルの位置を変更 することができます。この調整を行う場合は、ディー ラーまたはドゥカティ正規サービスセンターにお問い 合わせください。



連転の力法	去
-------	---

車両の使用開始時期の慣らし運転

慣らし運転期間中は、下表の規定の回転数を超えない でください。

最初の使用期間中は、最高いな	高エンジン回転数を超えな こと
1,000 km (621 mi) まで	7,000 rpm

車両の慣らし運転期間中の注意事項:

- 最初の数時間は、表に示された規定回転数の範囲 内で、エンジンが温まっている状態で、エンジン 負荷と回転数を色々変えて走行することをお勧め します。
- エンジンが「疲労」しないように、エンジンに 「過負荷」がかかる前に必ずギアを下げてください。
- 特に上り坂では、長時間エンジンを高回転に保ち 続けないでください。ギアを上げると、燃料消費 量と騒音を低減できます。
- 低速・高速を問わず、一定の速度で長時間運転することは避けてください。

- 特にエンジンが冷えているときは、スロットルを 全開にしないでください。
- フルスロットルでの発進や急加速は避けてください。
- 丁寧に慎重にブレーキ操作を行い、急なブレーキングや長い間ブレーキングを避けて下さい。
- 定期的にチェーンを点検し、必要に応じて潤滑してください。

▲ 重要

▲ 初めて車両をご使用になる前に、リアビューミ ラーにラベルが付いていないことを確認してくださ い。ラベルが付いている場合ははがしてからご使用く ださい。

走行前の点検事項

▲ 警告

▲ 注行前にこれらの点検を怠ると、車両に損傷を 与え、ライダーやパッセンジャーを危険に晒すおそれ ・ があります。

走行前に以下の点検を実施してください。

- タンク内の燃料量
 タンク内の燃料の残量を確認します。必要であれば給油してください(「燃料の補給」を参照)。
- エンジンオイル量 点検窓からオイルパン内のレベルを点検します。
 必要であれば補充してください(「エンジンオイル レベルの点検」を参照)。
- ブレーキおよびクラッチフルード量 各フルードタンクのフルードレベルを点検してく ださい (「ブレーキ/クラッチフルードレベルの点 検」を参照)。
- クーラント量 リザーバータンク内のクーラントレベルを点検し ます。必要であれば補充してください(「クーラン トレベルの点検および補充」を参照)。
- タイヤコンディション タイヤ空気圧と摩耗度を点検します(「チューブレ スタイヤ」を参照)。

- コマンド機能 ブレーキ、クラッチ、スロットルグリップ、ギア チェンジレバーまたはペダルを作動させて機能を 確認します。
 - ランプ類、インジケーター ランプ、インジケーター、警告ホーンが正しく機 能するかを確認します。電球が切れている場合に は交換してください (「ヘッドライト電球の交換」 を参照)。
- ロック類 フィラープラグのロックを点検します(「燃料フィ ラープラグ」を参照)。
 - サイドスタンド サイドスタンドがスムーズに作動し、適切な位置 にあるかを確認します (「サイドスタンド」を参 照)。

ABS ランプ

Key-ON後もABS ランプ(9、図94)は点灯し続けます。 走行速度が5 km/h (3.12 mph)を越えた時点でランプ が消灯し、ABSシステムが正常に作動していることを 示します。

▲ 警告

▲ 異常が見つかった場合は車両の使用を中止し、 Ducati正規ディーラーまたはサービスセンターにご連 絡ください。

ABS 装置

ABS 装置

フロントフォニックホイール(1)とリアフォニックホイール(2)が汚れていないことを確認します。

∧ 警告

活れなどが付着して読み取り窓が詰まっていると、システムが正常に機能しないおそれがあります。

▲ 警告

▲ ウィリー走行を長く続けると、ABSシステムが停止してしまうおそれがあります。







∧ 警告

エンジンを始動する前に、運転に必要なコマン ド類の取り扱いに十分慣れておいてください。

∧ 警告

▲▲ 屋内では絶対にエンジンをかけないでください。 排出ガスは有毒です。短時間で意識を失ったり、さら には死に至る危険性があります。

アクティブキーまたはパッシブキーがあることを確認 します。ハンドル右側の赤色スイッチ(1)を上に動か して車両を"Key-ON" (Hands Free システムとすべての 電子デバイスの起動)し、ボタン **①** (2)を押します。 インストルメントパネルは初期化と車載システムの点 検を開始し、順番にすべての警告ランプを数秒間点灯 します。



ギアインジケーター (3) を確認し、ギアがニュートラル (N) に入っている、またはクラッチレバーを引いてる状態であり、エンジンの始動が可能であることを確認してください。

インストルメントパネルの油圧を示す赤色警告灯(4) いかが点灯することを確認します。

▲重要

▲ オイル圧警告ランプはエンジンを始動してから 数秒後に消えなければなりません。



Key-ON してもエンジンを始動していない状態で15秒 間アクティブキーが感知できないと (参照、ページ 62)、システムは自動的に Key-OFF します。

▲ 警告

▲ サイドスタンドが完全に上げられて(水平)いない 場合は、安全センサーが作動してエンジンを始動する ことはできません。

の参考

▶ サイドスタンドを下ろし、ギアがニュートラルの状態でエンジンを始動させることができます。または、ギアが入った状態で始動する時は、クラッチレバーを引いたままの状態で始動させてください(この時サイドスタンドは上がっていなければなりません)。

ボタン(5) ③ が見えるように、赤色スイッチ(1)を上に 動かします。ボタン(5) ④ を押してエンジンを始動し ます。

▲ 重要

エンジン冷間時は回転数を上げすぎないでください。潤滑が必要なすべての部分にオイルを行き渡らせるために、エンジンが温まるまで待ってください。





停車して長時間エンジンをかけたままにしていると、冷却が十分に行えないためにオーバーヒートによる損傷につながるおそれがあります。停車した状態で、不必要にエンジンをかけ続けないでください。エンジンの始動後は、速やかに発進してください。

オイル圧警告灯の赤色ランプ 🍲 (4、 図 85) はエンジン始動後数秒で消灯します。

エンジンの停止

赤色スイッチ(1)を下に押して & (エンジン停止)に合わせ、エンジンを停止します。 Hands Free システムとすべての車載電子デバイスの起動については、「Hands Free システム」(ページ62)の章も参照してください。



A Hands Free システムの正常な機能に影響を与え る状況。

以下に記載する状況においては、リモコンが適切に機 能しない場合があります。

- テレビ塔、ラジオ局、発電所、ガソリンスタンド など強い電波を発する場所が近くにある時。
- 携帯ラジオや携帯電話などワイヤレス通信機器を 持ち運んでいる時。
- 複数のワイヤレスキーが近くにある時。
- ワイヤレスキーに触れるか金属製の物におおわれた時。
- 電波を発するワイヤレスキーが近くで使用された時。
- パソコンなどの電気機器の近くにワイヤレスキー が置かれている時。

(図 88) はアンテナ (6) の位置を示し、(図 89) は Hands Free ブロック (7) の位置を示します。





車両の発進

- サイドスタンドを水平位置まで上げます。正しい 位置に戻ると、インストルメントパネルの警告灯 が消えます。
- 2) クラッチレバーを引いてクラッチを切ります。
- ギアチェンジペダルをつま先でしっかりと押し下 げてギアを1速に入れます。
- スロットルグリップを回してエンジンの回転数を 上げ、同時にクラッチレバーを徐々につなぐと車 両は発進し始めます。
- 5) クラッチレバーを完全に放し、エンジンの回転数 を上げます。
- 6) シフトアップするには、スロットルを戻してエンジン回転を落とします。クラッチを切り、ギアチェンジペダルを上げ、クラッチをつなぎます。シフトダウンは次のように行います。スロットルグリップを放し、クラッチレバーを引いてから、ギアを同調させやすくするためにエンジンを軽くふかしてシフトダウンし、クラッチレバーを放します。

これらの操作は適切に素早く行ってください。上り坂 を走行する際には、車速が落ちてきたら直ちにシフト ダウンし、車両への異常なストレスやエンジンのノッ キングを避けてください。



▲ 急な加速操作は、オーバーフローやトランスミ ッション機構のスナッチングを招くおそれがあります ので避けてください。走行中にクラッチレバーを引い た状態が続くと、摩擦機構の過熱や異常な摩耗を引き 起こすおそれがありますので避けてください。



▲ ウィリー走行を長く続けると、ABSシステムが停止してしまうおそれがあります。

ブレーキ操作

時間に余裕を持って減速し、シフトダウンしてエンジ ンブレーキを使用し、両方のブレーキを操作してブレ ーキをかけます。車両が停止する前にクラッチを握 り、エンジンが急に切れないようにします。

ABS システム

困難な条件下でのブレーキ操作は、非常に慎重に行わ なければなりません。ブレーキ操作は二輪車の運転で 最も難しく危険な瞬間です。ブレーキ操作中に転んだ り事故を起こす可能性が統計的に最も高くなっていま す。フロントホイールがロックされると、グリップに よるバランス力を失うため車両のコントロールを失い ます。

アンチロックブレーキシステム (ABS) は、緊急時や悪路、悪天候下での走行時にブレーキ性能を最も効果的に発揮させるために開発されたものです。

ABSは電子制御油圧システムです。ホイール上のセン サーから送られた信号をコントロールユニットが分析 し、いずれかのホイールがロックしそうであることを 検知すると、ブレーキ回路内の油圧を制御します。こ の場合には、ブレーキ回路内の油圧を低下させること でホイールを回転させ続け、路面とのグリップを最適 に維持します。 続いて、コントロールユニットはブレーキ回路内の油 圧を戻してブレーキをかけます。問題が完全に解消さ れるまで、このサイクルを繰り返します。

ブレーキング時 ABS が作動状態に入ると、ブレーキ レバーとブレーキペダルに軽く振動する抵抗が感じら れます。フロントブレーキシステムとリアブレーキシ ステムの制御は別々に行われます。

本車両が搭載するABSシステムは、車両を倒した状態 においてもABS機能が作動する「コーナリング」機能 も備えます。この機能は、車両の傾斜角度に応じてフ ロントブレーキとリアブレーキに作用します。車両と 路面状況により決定される物理的限界の範囲内で、車 輪のロックおよびスリップを防止することを目的とし ています。



12つあるブレーキコマンドの片方だけを使用する と、車両のブレーキ性能が低下します。

過度の力をかける急激なブレーキ操作はしないでくだ さい。後輪が浮き上がり(リフトアップ)、車両のコン トロールを失うおそれがあります。

雨天時や滑りやすい路面の走行時はブレーキカが著し く低下します。このようなコンディションでは恒重に 優しくブレーキ操作をしてください。急ブレーキを掛 けると車両のコントロールを失う危険があります。 長く急な下り坂を走行する際にはシフトダウンしてエ ンジンブレーキを使用し、ブレーキは短く断続的に使 用するようにしてください。ブレーキを長時間連続し て使用すると、ブレーキパッドの過熱やベーパーロッ ク(ブレーキフルードの過熱)を招き、ブレーキ性能の 著しい低下の原因となります。

規定空気圧に満たないタイヤ、もしくは規定空気圧を 超えるタイヤでの走行はブレーキ性能を低下させるだ けでなく、正確な運転とカーブでの安定性を指ないま す。



速度 55 km/h 以上で走行中に急ブレーキをかけると、 テールライトが高速で点滅して後続車に警告します。 減速度が既定のしきい値を下回ると、点滅は自動的に 止まります。

車両の停止

スロットルグリップを緩めると、車両は徐々にスピー ドを落とし始めます。シフトダウンしながら1速まで 落とし、最後にニュートラルに入れます。

ブレーキをかけると、車両を完全に停止することがで きます。

赤色スイッチ(1)を下に動かし、エンジンを停止します。

ボタン (2) を押して車両を Key-OFF します。



パーキング

停止させた車両をスタンドで支えて駐車します。ハンドルを左か右にいっぱいに切ります。 エンジンを切ってから20秒間、インストルメントパネルにステアリングロックを作動させ、パーキングランプを点灯させる方法が表示されます。

ステアリングロックの作動

ステアリングロックを作動させるには、画面(図91)が 表示されている間に、ハンドルバーをいっぱいまで回 し、ボタン **1**(1)を長押しします。

ステアリングロックが正常にかかると、インストルメントパネルにステアリングロックが作動したことの確認が表示されます。

点灯しない場合は、Ducati正規サービスセンターにご 連絡ください。

パーキングランプの点灯

パーキングランプを点灯させる場合は、画面(図91)が 表示されている間に、左ターンインジケーターの位置 にボタン (2) を長押しします。

パーキングランプが正常に点灯すると、インストルメントパネルにパーキングランプが点灯したことの確認が表示されます。



点灯しない場合は、Ducati正規サービスセンターにご 連絡ください。

燃料の補給

給油の際、燃料の入れすぎに注意してください。燃料 レベルはフィラープラグが収まる給油口より低くなけ ればなりません。

警告

極端な場合には、キャップを開ける時にタンク内の圧 力によって燃料が噴き出る可能性があります。

キャップを開ける時は十分注意して、ゆっくりと開けるようにしてください。

キャップを開けている時にシューという音が聞こえた ら、音が聞こえなくなるのを待ってからキャップを完 全に開けてください。

このノイズは燃料タンク内の圧力が外に逃げている時 に鳴る音です。音がしなくなったということは、残っ ていた圧力が完全に外へ逃げたことを意味します。 上記のような状況は、特に暑い気候の時に起こりやす くなります。

∧ 警告

▲ オクタン価が 95 以上の鉛含有量の低い燃料を使用してください。



(E10)のみ使用することができます。

エタノール含量が10%以上のガソリンを使用するこ とは禁じられています。こうした燃料を使用するとエ ンジンや車両の部品に重大な損傷をきたす恐れがあり ます。エタノール含量が10%以上のガソリンを使用 した場合は保証の対象外になります。
付属アクセサリー

付属アクセサリーは、ライダーシート下に収納されて います。

ボックスにアクセスするには、ページ 40 を参照して ください。

車両の付属品:

1) 六角レンチ (4 mm)(0.16 in)

インストルメントパネル (ダッ シュボード)

インストルメントパネル

本車両には、カラー TFT ディスプレイを備えるインス トルメントパネルが搭載されています。

インストルメントパネルには、安全運転に必要なすべての情報が表示され、車両の設定やパラメーターをカスタマイズすることができます。



下表には、表示モード内の警告灯を一覧で示します。

番号	説明	色
1	右ターンインジケーター	緑色
2	燃料リザーブ	オレンジ色
3	油圧低下	赤色
	企 重要 エンジンオイルランプが点灯し続ける場合は、エンジンが破損するおそ れがありますので車両を使用しないでください。	
4	 DAVC 診断 点滅:DTC/DWC は起動しているが、性能が制限されている 点灯:不具合のため、DTC または DWC は解除されているか作動していない 	オレンジ色
5	一般的なエラー	オレンジ色 (ディスプレ イ)
6	Service (定期点検)	オレンジ色 (ディスプレ イ)
7	DRL – DRL が「Auto」モードで点灯 (ページ 187 参照) (中国、カナダバージョンには装備されていません)	緑色 (ディスプレイ)
8	警告灯 (ページ 242 参照)	オレンジ色 /赤色 (ディスプレイ)

番号	説明	色
9	 ABS システムの不具合 点滅:ABS は自己診断中あるいは起動しているが、性能が制限されている 点灯:ABS コントロールユニット不具合のため、ABS が解除されているか 作動していない 	オレンジ色
10	サイドスタンド警告灯 参考 サイドスタンドが下がっているときは、燃料レベルインジケーターは更新 されません。 サイドスタンドが戻った状態(水平位置)にあるときは、燃料レベルインジケー ターの初回更新は数秒後になります。	赤色 (ディスプレイ)
11	ハイビームライト点灯	青色
12	 MIL エンジンマネジメントエラーが発生すると警告灯が点灯します。急な加速や追い越し運転は避け、Ducati正規サービスセンターまでゆっくりと走行し、故障の修理をご依頼ください。 警告灯が点滅するときは、排出ガスに重大なエラーが発生しているため、触媒コンバーターを損傷するおそれがあることを通知しています。可能であればDucati正規サービスセンターまで車両の運搬を依頼し、サービスセンターに故障の修理をご依頼ください。いずれの場合も、急な加速や追い越し運転は避けてゆっくりと走行してください。 	オレンジ色
13	左ターンインジケーター	緑色

番号	説明	色
14	DTC 介入	オレンジ色
15	クルーズコントロール起動 (ページ 242 参照)	緑色 (ディスプレイ)
16	ニュートラルギア	緑色 (ディスプレイ)
17	レブリミッター / イモビライザー ● レブリミッター (ページ 242 参照): ランプ点滅、リミッター介入。	赤色
	● 参考 エンジンコントロールユニットの各キャリブレーションでリミッター値の 設定が異なる場合があります。	
	● イモビライザー:ランプ点滅、車両 Key-OFF 状態	

警告灯の配置は、Turn by turn 画面 (該当する場合) でも同じです (ページ 137 参照)。

▲重要

▲ ディスプレイに "TRANSPORT MODE"の文字が表示されている場合は、直ちにドゥカティ正規ディーラーにご連絡ください。正規ディーラーにてこの項目を削除し、バイクの完全な機能の保証を受けてください。 起動時、インストルメントパネルに Ducati のロゴが表示され、LED ランプのチェックを順番に実行します。 チェック終了時、インストルメントパネルには Key-OFF 前に使用していた設定モードのスクリーンが表示されます。

点検中に車両速度が5 km/h (3 mph)を超えると、インストルメントパネルは以下の点検を中断します。

- ディスプレイの点検。更新情報をスタンダードスクリーンに表示します。
- 警告灯の点検。その時点で実際に起動しているもののみ点灯します。

画面上の主な要素

メイン画面には、運転に必要なすべての情報と項目が 表示されます。

表示単位の変更については、ページ223参照してください。

また、画面テーマを「Light」と「Dark」のモードに 設定することができます (ページ 189 参照)。

下表には、利用できる項目を一覧で示します。



番号	説明
1	インタラクティブメニュー (ページ 122 参照)
2	情報表示 (ページ 122 参照)
3	速度 速度は 5% 増加した速度値と設定単位 (km/h または mph) で表示されます。
4	燃料レベル 棒グラフまたは航続可能距離 (キロメートルまたはマイル) の 2 通りの表示が可能です。 「Setting menu (設定メニュー)」内の「Fuel indicator (燃料計)」機能から設定することができます (ペ ージ 185 参照)。
	● 参考 車両がリザーブ状態のときに、燃料インジケーターが「Level」に設定されていると、インジケ ーターは残りの航続距離(キロまたはマイル)を自動的に表示します。リザーブ状態でなくなると、燃料 インジケーターは、以前に設定された表示に戻ります。
	● 参考 サイドスタンドが下がっているときは、燃料レベルインジケーターは更新されません。 サイドスタンドが戻った状態(水平位置)にあるときは、燃料レベルインジケーターの初回更新は数秒後 になります。
5	使用中のライディングモード (ページ 117 参照)
6	時計 12 時間制と 24 時間制を選択できます。「Setting menu (設定メニュー)」内の「Date and Time (日付と 時間)」機能から設定することができます (ページ 199 参照)。

番号	説明
7	ギア
8	パラメーターウィンドウ 使用中のライディングモードで設定されている DTC、ABS、DWC、DQS パラメーター値を表示します。 走行速度が 5 km/h (3 mph) を上回ると、ウィンドウは表示されなくなります。
9	エンジンクーラント温度 (°C または °F) エンジン温度の表示範囲は +40 °C~+150 °C (+104 °F~+302 °F) です。 エンジン温度が +40 °C (+104 °F) を下回っている場合は、「Low」と表示され、エンジン温度が +150 °C (+302 °F) を超える「High」が赤色で点滅表示されます。
	警告 過熱状態の時は、冷却システムがエンジン温度を下げることができるように、できるだけ低速で 走行してください。低速で走行できない交通状況の時は、停車してエンジンを切ってください。 エンジンが過熱した状態で車両を使用し続けると、深刻な損傷を引き起こすおそれがあります。 エンジンが通常の温度に戻ってから、インストルメントパネルの警告灯を確認しながら走行してくだ さい。
10	エンジン回転計 (ページ 120 参照)
11	外気温 (°Cまたは°F)
	● 参考 エンジンの熱が停車中の車両の温度表示に影響を与える場合があります。
12	Bluetooth 接続端末 (ページ 11 参照)
13	App Ducati Link アプリ接続済み (ページ 232 参照)

Riding Mode

4通りのライディングモード:SPORT、TOURING、 URBAN、WET。

使用しているライディングモード名が使用しているギア(A)の表示の上に表示されます。

ライディングモード名とタコメーターは、それぞれの ライディングモードの色で表示されます。

各ライディングモードに関連するパラメーターは、 Power、DTC、ABS、DWC、DQS です。 それぞれのライディングモードのパラメーターは、 「Setting menu (設定メニュー)」内の「Riding Mode (ライディングモード)」機能から変更することができ ます (ページ 149)。



ライディングモードの変更

- 「MODE/ENTER」ボタン (3) を長押しします。
- 専用画面が表示されます。ボタン(1)とボタン(2) を使用して選択可能なライディングモードをスク ロールし、各パラメーターと設定値を表示するこ とができます。
- 「MODE/ENTER」ボタン (3) を押して決定します。

変更を行わずにライディングモードの変更を終了する には、「Exit」を選択して「MODE/ENTER」ボタン (3) を押します。

新しいライディングモードが決定されると、インスト ルメントパネルは以下の検証を行います。

- 走行速度 5 Km/h (3 mph) 以下でスロットルグリ ップが開いている場合は、「Close throttle (スロッ トルを閉じてください)」の文字が表示されます。 スロットルグリップが閉じられたときにのみ、新 しいライディングモードが保存され、メイン画面 に戻ります。
- 走行速度 5 Km/h (3 mph) 以下でスロットルグリ ップは閉じていても、ブレーキがかけられている 場合は、「Release brakes (ブレーキを放してくだ さい)」の文字が表示されます。ブレーキが放され たときにのみ、新しいライディングモードが保存 され、メイン画面に戻ります。





 上記の両方に相当する場合は、「Close throttle and release brakes (スロットルを閉じて、ブレー キを放してください)」の文字が表示されます。両 方の条件が満たされたときにのみ、新しいライデ ィングモードが保存され、メイン画面に戻りま す。

上記のいずれかの条件が表示されてから5秒以内にラ イディングモードの変更を有効にする条件が満たされ なかった場合は、選択手順は中止されます。インスト ルメントパネルは設定を変更せずにメイン画面に戻り ます。

▲ 警告 ライディングモードの変更は車両停止時に行う ことをお勧めします。運転中に変更を行なう場合は十 分にご注意ください(低速での変更をお勧めします)。

エンジン回転数表示

エンジン回転数は次のように表示されます。

- 針式タコメーターと灰色の軌跡(A)で表示。
- 「Turn by turn」画面で数値タコメーター (B) があれば、それを使用して表示 (ページ 137 参照)。

オドメーターが最初の1,000 km (600 mi) に達するまで (慣らし運転期間中)、もしくは初回定期点検までは、 エンジン温度に関係なく6,000 rpm で仮想リミッター が設定されています。仮想リミッターでは、軌跡がオ レンジ色で表示されます。

慣らし運転期間終了後、または初回定期点検の実施 後、仮想リミッターはエンジンが十分温まっていない 状態でエンジン回転数を抑える指示として表示されま す。仮想リミッターのしきい値は、エンジン温度に応 じて変化します。

- エンジン温度が40°C(104°F)を下回っている場合、6,000 rpmを超えるとタコメーターの軌跡がオレンジ色に変わります。
- エンジン温度が 40°C (104°F)~60°C (140°F)の場合、8,000 rpm を超えるとタコメーターの 軌跡がオレンジ色に変わります。
- エンジン温度が60°C(140°F)を上回っている場合、タコメーターの軌跡はオレンジ色に変わりません。



エンジン回転数表示の軌跡がオレンジ色の点滅に変わ ると、シフトアップするタイミングであることを示し ます。

リミッターが作動すると(オーバーレブ)、軌跡が赤色 に点滅し、レブリミッター警告灯も点灯します (ランプ17、図94)。

回転数が1,000 rpmを下回っている場合は、軌跡は表示されません。

インタラクティブメニューと情報表示 インタラクティブメニュー (A)

このメニューには、ライダーが起動できる一連の機能 が含まれています。

この機能を有効にすると、インタラクティブ操作が可 能なウィンドウが表示されます。

利用できる機能が2行に表示され、選択している機能 はインタラクティブメニューの上側にハイライト表示 されます。

インタラクティブメニューの選択方法は、本章の「選 択とブラウズ」の項を参照してください。 選択可能な設定は、

- Setting menu (ページ 149 を参照)
- Lap、ライディングモード「SPORT」でのみ利用 できます (ページ 134 を参照)
- Turn by turn (装備している場合、ページ 137 を参照)
- Music (ページ 23 を参照)
- Phone (ページ 18 を参照)
- Heated grips (装備している場合、ページ146を参照)



Info display (B)

このメニューには、利用できるトリップ情報に関する メーター類がすべて入っています。

利用できる情報が2行に表示され、選択している情報 は Info display メニューの上側にハイライト表示され ます。

情報表示メニューの選択方法は、本章の「選択とブラ ウズ」の項を参照してください。

情報が表示される順番は、「Setting menu (設定メニュー)」内の「Info display (情報表示)」機能から変更することが可能です (ページ 182 参照)。

トリップ情報の表示単位の変更については、ページ 223 参照してください。



下表に「Info display (情報表示)」メニュー内にある情報を一覧で示します。

名称	説明	測定単位 / 形式
Total	総走行距離	km、miles
Range	航続可能距離 燃料レベル表示モードを「Level」に設定している場合に のみ表示 (ページ 185 参照)	km、miles
Trip 1	部分走行距離 1	km、miles
Ø cons.1	平均燃費 1	L/100、km/l、mpg UK、 mpg US
Ø speed 1	平均速度1	km/h、mph
Trip 1 time	走行時間 1	hhh:mm
Trip 2	部分走行距離 2	km、miles
Cons.	瞬間燃費	L/100、km/l、mpg UK、 mpg US
Front tyre	フロントタイヤ空気圧	bar、psi、kPa
Rear tyre	リアタイヤ空気圧	bar、psi、kPa

Trip1情報のリセット

「Trip 1」、「Ø cons.1」、「Ø speed 1」、「Trip 1 time」の トリップ情報は、それぞれの項目を選択してから 「ENTER」ボタン(3)を押してリセットすることができ ます。「Reset trip 1 info? (Trip 1 情報をリセットしま すか)」と「Yes」、「No」が表示されます (C)。 ボタン(1) とボタン(2)を使用して「Yes」または 「No」を選択し、「ENTER」(3)を押して決定します。 変更せずに終了するには、ボタン(1)を長押しします。 Trip 1 の情報をリセットすると、参照するすべてのカ ウンター類もリセットされます。

Trip 2 情報のリセット

「Trip 2」のトリップ情報は、項目を選択してから 「ENTER」ボタン (3) を押してリセットすることができ ます。「Reset trip 2 info? (Trip 2 情報をリセットしま すか)」と「Yes」、「No」が表示されます (D)。 ボタン (1) とボタン (2) を使用して「Yes」または 「No」を選択し、「ENTER」ボタン (3) を押して決定し ます。

変更せずに終了するには、ボタン(1)を長押しします。



選択とブラウズ

いずれかのメニューを選択すると、対応するウィンド ウ(E)または(F)が強調が表示され、ボタン(1)、(2)、 「ENTER」(3)でブラウズとメニュー操作が可能になり ます。

「Interactive menu」と「Info display」セクション間の移動は、

- 「Interactive Menu」(E)が選択されているときに、 ボタン(2)を長押しすると、「Info display」(F)に 選択が移動します。
- 「Info display」が選択されているときに(F)、ボタン(1)を長押しすると、「Interactive Menu」(E)に 選択が移動します。



クルーズコントロール

クルーズコントロール(CC)は、走行速度を一定速度に 維持してライダーを支援します。システムは、システ ムの限界範囲内で加速と減速を制御して、設定速度を 維持します。この機能により、高速道路の長時間走行 でも快適に運転することができます。



小 ラルーズコントロールは安全システムではなく、 ライダーが快適に運転できるようサポートするもので す。ライダーを支援するためのものであり、ライダー 自身の運転に取って代わるものではありません。車両 の操縦、安全な速度での走行、交通状況に応じた前走 車との適切な車間距離の維持、運転する国の交通法規 の遵守は、常にライダーの責任において実施されるべ きものであり、衝突を回避するために積極的にブレー キやアクセル操作を行うこともライダーの責任です。 運転中は常に両手をハンドルに添えて、運転に細心の 注意を払ってください。

クルーズコントロールは、高速道路や自動車専用道路 等での使用を想定して設計されています。市街地や山 道、オフロードでの使用は想定されていません。悪路 (砂利道やハイドロプレーニング現象が起こりやすい濡 れたアスファルト路面など)や悪天候下(凍結、雪、 霧、雨、あられ)では、クルーズコントロールを使用 しないでください。こうした状況下では、クルーズコ ントロールが機能を適切に発揮できず、正常に動作で きない可能性があります。

また、カーブの多い道路、高速道路の出入口、工事中 の道路など、複雑な道路環境ではクルーズコントロー ル機能を使用しないでください。

▲ 警告

クルーズコントロールは、トラクションコントロールが起動している場合にのみ利用できます。

∧ 警告

Δ クルーズコントロールは安全システムではありま
 せん。

加速して減速しますが、ブレーキには作用しません。 状況によっては、ドライバーの想定とは異なる加速ま たは減速で反応することがあります。そのため、ライ ダーはバイクを確実に制御できるように、常にハンド ルバーに両手を置いたまま運転する必要があります。

設定可能な機能

クルーズコントロールが起動しているときに、現在の 速度を走行速度に設定することができます(「起動と停 止」を参照してください)。走行中でも、設定速度の 変更や速度調整の中断が可能です(「速度の変更」と 「速度調整の中断」を参照してください)。

カーブでの挙動

クルーズコントロールがカーブ走行時などの車体の傾 きを検知すると、より快適に走行できるように減速し ます。ただし、この介入はシステムの限界範囲内で実 行されます。減速度はリーン角に依存します。



▲▲ カーブの進入と出口では、システムはドライバーの想定とは異なる減速や加速を行う場合があります。 半径が小さく狭いカーブや半径が変化するカーブの場 合は、こうした現象が起こりやすくなります。

記動と停止

設定可能な最高速度は 200 km/h (125 mph) です。 設定可能な最低速度は、以下のように走行ギアによっ て異なります。

ギア	最低速度
1速	20 km/h (15 mph)
2速	25 km/h (17 mph)
3速	30 km/h (21 mph)
4速	35 km/h (24 mph)
5速	40 km/h (27 mph)
6速	45 km/h (30 mph)

あっても、ライダーは常に、現地の交通法規で定めら れた法定速度を守り、バイクの運転規則を遵守する責 任があります。

インストルメントパネル上のアイコンは、現在の設定とシステムのステータスをユーザーに通知します。

CC の起動

CCを起動するには、ON/OFFボタン(C)を押します。 速度の保存と速度調整の作動

車両の現在の走行速度を設定速度として保存し、クル ーズコントロールを作動するには、「SET/-」 (E、図106)または「RES/+」(D、図106)を押します。 保存された速度がクルーズコントロールアイコン内に 表示されます (A、図105)。

CC の停止

クルーズコントロールを停止するには、ON/OFF ボタン(C、図 106)を押します。クルーズコントロールアイコン(A、図 105)が表示されなくなります。

アイコン (A、 図 105)

クルーズコントロールアイコンは以下のように変化し ます。

 緑色と灰色:システムは起動していますが、速度 調整は作動していません。速度が保存されていない場合は、点線が表示されます。そうでない場合は、最後に保存された設定速度が表示されます。





- 緑色:システムが起動し、速度調整も作動してい ABSやトラクションコントロールの介入が長引い ます。
- 黄色:システムがライダーによる介入を求めてい
 車体のリーン角度が 50°を超えた場合。 ます。
- 赤色:システムにエラーが発生しています。速度 調整は作動していません。

設定速度の変更

設定速度を1km/h ずつ増減するには、「RES/+」 (D、図 106) または「SET/-」(E、図 106) を長押しし て、希望する速度に合わせます。 設定速度を高速で増減するには、それぞれ「RES/+」 (D、図 106) または「SET/-」(E、図 106) を長押しし て、希望する速度に合わせます。

速度調整の中断

必要条件:クルーズコントロールが起動しているこ と。

運転中の速度調整の中断

速度調整は、手動ブレーキで中断することができま す。また、以下のような場合には、速度調整が中断さ れます。

- クラッチレバーが長い間引かれている場合。
- ギアがニュートラルに入れられた場合。

- た場合。

この状態では、クルーズコントロールアイコンの設定 速度が灰色になります。システムの動作条件が満たさ れると、「RES/+」(D)または「SET/-」(E) ボタンを 押して速度調整を再開することができます。「RES/+」 (D)を押した場合、設定速度は最後に保存された速度 になります。「SET/-」(E)を押した場合、設定速度は その時点の走行速度になります。

■警告

▲▲ 道路状況、交通状況、または天候が適切でない 場合には、保存されている設定速度でクルーズコント ロールを再開しないでください。それでも再開した場 合は、事故の危険が高まります。

Override $(\pi - \pi - \neg \pi - \neg \pi + \neg \pi)$

クルーズコントロールを使用しているときでも、手動 で加速することができます。アクセルが手動で操作さ れると、クルーズコントロールは速度調整を一時的に 中断します。アクセルを放した時点で、クルーズコン トロールは自動速度調整を再開します。



ライダーは常に現地の交通法規で定められた法定速度を守り、バイクの運転規則を遵守する責任があります。

ライダーによる介入の要請

状況によっては、クルーズコントロールがライダーに よる介入を求める場合があります。この要請が発せら れると、クルーズコントロールアイコン (A) が黄色に 変わります。

これは、以下のような場合に起こります。

- エンジン回転数が 9000 rpm に達した場合、シス テムは加速を中止します。このような状況では、 安全に走行できるのであれば、シフトアップする ようにしてください。
- 使用しているギアに対してエンジン回転数が低す ぎる場合、CCはライダーによる介入を要請しま す。このような状況では、安全に走行できるので あれば、シフトダウンするようにしてください。

● 参考 加速中でも、DQSを使用してギアチェンジが可 能です。

不具合

故障や不具合が発生し場合は、クルーズコントロール アイコン (B) が赤色に変わります。このようになった 場合は、以下のように対処してください。 1.インストルメントパネルをオフにしてから、再びオ ンにします。



この操作は、安全な場所に停車している状態でのみ実施してください。

2.上記の操作を実施した後も、アイコンが赤色のまま 変わらない場合は、Ducati正規サービスセンターへお 問い合わせください。



Lap

この機能はインタラクティブメニュー内にあり、ラッ プタイムを記録することができます。ライディングモ ード「SPORT」でのみ利用できます。

- ボタン (1) を長押しして、インタラクティブメニ ュー (A) を選択します。
- ボタン (1) とボタン (2) で「Lap」(B) を選択し、 「ENTER」ボタン (3) を押します。





関連するウィンドウ (C) が表示されます。

- 機能を無効にしている場合は、「Off」の文字、ストップウォッチ、記録可能なラップ数が表示されます(D)。「ENTER」ボタン(3)を押すと、機能が有効になります。
- 機能を有効にしている場合は、「On」の文字、ストップウォッチ、記録可能なラップ数が表示されます(E)。「ENTER」ボタン(3)を押すと、機能が停止します。

機能が起動しているときは、ギア表示の横に「Lap」の文字が表示されます。

ストップウォッチに加え、さらに現在のラップ数が表示されます。最大60 ラップまで記録することができます。機能を起動してからは、ストップウォッチのスタート/ストップにはフラッシュボタン(4、図109)を使用する必要があります。フラッシュボタンを1回押すと、ストップウォッチが1秒間点滅します。

その後フラッシュボタン(4)を押すたびに、ストップ ウォッチが1秒間点滅して直前の周回のタイムが表示 されてから、周回中のタイム表示に戻ります。 直前の周回のタイムがそれまでに記録されたタイムを 上回っていた場合は、記録されたベストタイムが1秒 間点滅表示され、さらに5秒間通常表示されます。そ の後、周回中のタイム表示に戻り、ラップ数が更新さ





れます。60 ラップ目に達すると「Full (満杯)」と表示 ● 最大リーン角 され、新たにラップタイムを記録することができなく なります。この場合に新たに記録を行うには、保存さ れているラップを削除する必要があります。 「Setting menu (設定メニュー)」内の「Lap」機能(ペ ージ 206) から、以下の操作が可能です。

- 機能の記動または停止
- 記録ラップのデータ閲覧
- 記録データの削除

ウィンドウを閉じるには、ボタン(1)を長押しします。 機能を作動させたままでウィンドウを閉じることがで きます。

以下のような場合には、インストルメントパネルがラ ップの記録を中止し、ストップウォッチがリセットさ れます。

- 一周目をスタートしてから5秒が経過しても、車 両速度がゼロである場合。
- ラップ記録中に走行速度 5 km/h (3 mph) を 5 秒 以上下回った場合。
- エンジンが止まった場合。

ラップごとに以下の情報が記録されます。

- Time (タイム) •
- Speed max (最高速度)
- RPM max (最高回転数)

- 最大ヨー角



mph)を超えると作動を開始します。



ラップ記録中に、フラッシュボタン(4)を押して ストップウォッチをスタート/ストップさせた場合、5 秒以内にボタンが押されてもインストルメントパネル はこの操作を無視します。

Turn by turn (装備している場合)

この機能は、Bluetooth コントロールユニットが搭載 され、Turn by turn ナビゲーションのライセンスが有 効になっている場合にのみ利用できます。

「Turn by turn」機能では、ナビゲーション情報が表示 され、次の運転操作が示されます。また、交通情報、 遅延などの追加のルート情報も表示されます。インス トールされているソフトウェアのバージョンによって は、さらに追加情報が存在する場合があります。

Ducatiモーターサイクルの品質基準と安全基準は日々 更新され、新しいソフトウェアソリューションも開発 されています。そのため、本書に記載されている情報 は、印刷時点において最新のものです。

「Turn by Turn」機能にアクセスするには、以下のもの が必要です。

- データ通信接続(データ通信料金はお客様負担)に 対応しているスマートフォン (別途ご用意くださ い)
- Ducatiが正常な動作を保証しているインフォテイ ンメントシステムに対応するヘッドセット(別途ご 用意ください)
- Ducati Linkのインストール (ストアから無料ダウ • ンロード)
- Turn by turn ナビゲーションのライセンス (別売) ٠

Turn by turn ナビゲーションのライセンスは、最大5 台の端末にインストールすることができ、最後に車両 に接続されたスマートフォンのライセンスが有効にな ります。Turn by turn ナビゲーションのライセンスは、 1台の車両の VIN に連動されています。

■重要

A 里安 EU圏内をはじめ、全世界(中国、韓国、日本を除 く)でサービスをご利用になれます。

ただし、地図の利用については、変更または制限され る可能性があります。

地図の利用可能な範囲について詳しくは、Ducati 正規 サービスセンターへお問い合わせください。

Ducatiは、特に人気のある最新スマートフォンの多く のモデルについてテストを行っていますが、スマート フォンメーカーが採用する OS や技術の選択は、

Ducatiの管理下にあるものではありません。そのた め、すべての市販のスマートフォンおよびそのソフト ウェア、ファームウェアでの動作を保証するものでは ありません。対応するスマートフォンやOSの確認は、 Ducati ウェブサイトをご覧ください。

この機能は、以下の条件が満たされている場合にの み、インタラクティブメニュー内に表示されます。

- Bluetooth を介してスマートフォンをインストル メントパネルと事前にペアリングしている必要が あります (ページ 11)。
- スマートフォンでBluetooth 接続を有効にします。
- ペアリングしたスマートフォンを接続します。
- スマートフォンで Ducati Link 機能を有効にします。接続が確立されると、Ducati Link アイコン (A) が表示されます。

機能の起動:

- ボタン(1)を長押しして、インタラクティブメニ ュー(B)を選択します。
- ボタン(1)とボタン(2)で「Turn by turn」(C)を選択し、「ENTER」(3)を押します。

の参考

▲ スマートフォンが Bluetooth 接続されていない、 または Ducati Link アプリとの接続が開始されていない場合、「Turn by turn」の項目はグレーで表示されます。





以下の項目がサブメニューとして表示されます。

- 「Directions (進行方向案内)」 (D):進行方向の案 内方法を設定できます。
- 「Delete route (ルート削除)」(E):現在のルート案内を中止します。
- 「Back (戻る)」(F): サブメニューを終了します。

ボタン(1)とボタン(2)を使用して、希望する項目を選 択することができます。「ENTER」ボタン(3)を押して 決定します。



➤お気に入りの住所、新しい目的地の入力、ルート設定などは、DucatiLinkアプリから直接操作することができます。

Ducati Link アプリ内の表示を参照してください。



Directions (進行方向案内)

この機能では、進行方向の案内方法を設定できます。

- ボタン (1) を長押しして、インタラクティブメニュー (B、図 112) を選択します。
- ボタン (1) とボタン (2) で「Turn by turn」 (C、図 112)を選択し、「ENTER」(3)を押します。
- 「Directions (進行方向案内)」 (D、図 114) を選択し、「ENTER」(3) を押します。

以下のモードがサブメニューとして表示されます。

- 「Voice + visual (音声と映像)」(G):進行方向をインストルメントパネルの映像と音声の両方で案内します (「Turn by turn 画面」を参照してください)。
- 「Visual only (映像のみ)」(H):進行方向をインストルメントパネルの映像のみで案内します(「Turn by turn 画面」を参照してください)。
- 「Voice only (音声のみ)」(I):進行方向を音声のみ で案内します。
- 「Back (戻る)」: サブメニューを終了します。

ボタン(1)とボタン(2)を使用して、希望する項目を選 択することができます。「ENTER」ボタン(3)を押して 決定します。



Delete route (ルート削除)

この機能では、現在のルート案内を中止します。

- ボタン (1) を長押しして、インタラクティブメニ ュー (B、図 112) を選択します。
- ボタン (1) とボタン (2) で「Turn by turn」 (C、図 112)を選択し、「ENTER」(3)を押します。
- 「Delete route (ルート削除)」(E、図 114)を選択し、「ENTER」(3)を押します。

「Delete route? (ルートを削除しますか)」の文字と、 「Yes」(J)と「No」(K)の選択肢が表示されます。 ボタン(1)とボタン(2)を使用して、希望する項目を選 択することができます。「ENTER」ボタン(3)を押して 決定します。

「Yes」(J)を選択して決定するとルート案内が中止され、ルート案内開始時に設定されていたメイン画面に 戻ります。



Turn by turn 画面

「Voice+visual (音声と映像)」または「Visual only (映 像のみ)」のモードに設定されている場合 (「Directions (進行方向案内)」を参照、図115) は、ル ート案内を開始すると、インストルメントパネルには 「Turn by turn」のメイン画面が表示されます。これ は、使用中のライディングモードで設定されているメ イン画面(「Info Mode」を参照) に代わるモードです。 ルート案内が中止されると、インストルメントパネル は使用中のライディングモードで設定されているメイ ン画面に戻ります。

「Voice only (音声のみ)」のモード

(「Directions (進行方向案内)」を参照、図115) に設定 されいてる場合に限り、Turn by turn 画面なしでルー ト案内を開始することが可能です。

設定モードは、ルート案内中でも変更することができ ます。

「Turn by turn」メイン画面には、運転とルート案内に 必要なすべての情報と項目が表示されます。 下表には、利用できる項目を一覧で示します。



番号	説明	
4	 進行方向案内の内容: 次の操作と、次の操作までの残りの距離、道路の名称 その後に続く操作 目的地までの距離 到着予想時刻 交通情報、気象情報、ルート状況に関する情報、予想される遅延 	
5	インタラクティブメニュー (ページ 122 参照)	
6	情報表示 (ページ 122 参照)	
7	速度 速度は 5% 増加した速度値と設定単位 (km/h または mph) で表示されます。	
番号	説明	
--	---	--
- 8 燃料レベル 棒グラフまたは航続可能距離 (キロメートルまたはマイル) の 2 通りの表示が可能です。 「Setting menu (設定メニュー)」内の「Fuel indicator (燃料計)」機能から設定することが ージ 185 参照)。		
	● 参考 車両がリザーブ状態のときに、燃料インジケーターが「Level」に設定されていると、インジケ ーターは残りの航続距離(キロまたはマイル)を自動的に表示します。リザーブ状態でなくなると、燃料 インジケーターは、以前に設定された表示に戻ります。	
	● 参考 サイドスタンドが下がっているときは、燃料レベルインジケーターは更新されません。 サイドスタンドが戻った状態(水平位置)にあるときは、燃料レベルインジケーターの初回更新は数秒後 になります。	
9	使用中のライディングモード (ページ 117 参照)	
10	時計 12 時間制と 24 時間制を選択できます。「Setting menu (設定メニュー)」内の「Date and Time (日付と 時間)」機能から設定することができます (ページ 199 参照)。	
11	ギア	

番号	説明
12	エンジンクーラント温度 (°C または °F) エンジン温度の表示範囲は +40 °C~+150 °C (+104 °F~+302 °F) です。 エンジン温度が +40 °C (+104 °F) を下回っている場合は、「Low」と表示され、エンジン温度が +150 °C (+302 °F) を超える「High」が赤色で点滅表示されます。
	A 警告 過熱状態の時は、冷却システムがエンジン温度を下げることができるように、できるだけ低速で 走行してください。低速で走行できない交通状況の時は、停車してエンジンを切ってください。
	エンジンが過熱した状態で車両を使用し続けると、深刻な損傷を引き起こすおそれがあります。 エンジンが通常の温度に戻ってから、インストルメントパネルの警告灯を確認しながら走行してくだ さい。
13	エンジン回転計 (ページ 120 参照)
14	外気温 (°Cまたは°F)
	◆考 エンジンの熱が停車中の車両の温度表示に影響を与える場合があります。
15	Bluetooth 接続端末 (ページ 11 参照)
16	App Ducati Link アプリ接続済み (ページ 232 参照)
17	クルーズコントロール警告灯 (作動している場合) 「クルーズコントロール」の章を参照してください (ページ 127)。

ヒーテッドグリップ(装備している場合) この機能でヒーテッドグリップの起動と設定を行いま す。ヒーテッドグリップを装備している場合にのみ利 用できます。

- ボタン (1) を長押しして、インタラクティブメニ ュー (A) を選択します。
- ボタン (1) とボタン (2) で「Heating Grips (ヒーティンググリップ)」(B)を選択し、「ENTER」ボタン (3) を押します。





ノブの加熱を調整するためのウィンドウ (D) が表示され、4つの使用可能なレベル(「High (高)」、「Medium (中)」、「Low (低)」、「Off (オフ)」)と「Back (戻る)」項目が一覧表示されます (図 121)。

ボタン (1) とボタン (2) を使用して、使用するレベル をスクロールすることができます。レベルにはそれぞ れ対応するアイコンがあり、レベルの選択中には大き く表示されます (E)。

「ENTER」ボタン (3) を押して、選択したレベルを決定 します。ヒーテッドグリップアイコンが小さく表示さ れます (C、図 118)。

ウィンドウを閉じるには、「Back (戻る)」項目を選択 して「ENTER」ボタン (3)を押すか、ボタン (1)を長押 しします。

の参考

レベルが「OFF」に設定されいてる場合は、ヒー テッドグリップアイコンは小さいモードでは表示され ません。



ヒーテッドグリップが実際に作動する(加熱される)のは、エンジン稼働中に一定の回転数が維持されている場合のみです。エンジン回転数が2,000 rpm以下では、ヒーター出力は50%に制限されます。



40Þ	High Medium	
40Þ	Medium Low	
400	Low Off	
		図 121

ヒーテッドグリップが実際に作動(加熱)していることは、アイコン(C、図 118)の色で以下のように示されます。

- 黒色:ディスプレイのテーマが「Light」(ページ 189参照)に設定されている場合。
- 白色:ディスプレイのテーマが「Dark」(ページ 189参照)に設定されている場合。

グリップのヒーターが作動していないときは、アイコン (C、図 118) は灰色で表示されます。

Setting menu

このメニューではいくつかの車両機能のON/OFFと設定を行います。

安全上の理由により、走行速度が5km/h(3mph)以下 の場合に限り、このメニューに入ることができます。 設定メニューが表示されている時に走行速度が5km/ h(3mph)を超えると、インストルメントパネルは自 動的に設定メニューを終了します。このメニューは車 両を停止した状態で使用してください。

- ボタン (1) を長押しして、インタラクティブメニ ュー (A) を選択します。
- ボタン (1) とボタン (2) で「Setting menu (設定メニュー)」を選択し (B)、「ENTER」 (3)を押します。





インストルメントパネルに専用画面が表示され、以下 の設定項目が表示されます。 Service (定期点検) • Ridina Mode • Info display (情報表示) • Fuel indicator (燃料計) • DRI • Display setup (ディスプレイの設定) • PIN Code • Date and time (日付と時間) ٠ Lap Tyre calibration (タイヤキャリブレーション) Tyre pressure (タイヤ空気圧) (装備している場合) Bluetooth (ページ 11 を参照) • • Turn signals (ターンインジケーター) • Language (言語) Units (単位) Info • 、参考 「Setting Menu (設定メニュー)」に入ると、最初 に「Riding Mode」の項目が選択されています。 「Setting menu (設定メニュー)」の表示中は、ボタン

 (1)、(2)、(3)を次のように使用します。
ボタン(1)とボタン(2):使用可能な項目をスクロ ールして選択する。

<exit< td=""><td></td></exit<>	
Service	
۵) Riding Mode	
/ Info display	
Fuel indicator	N _{Gear}
	図 124

• ENTER ボタン (3):項目の選択を決定する。

「Setting menu (設定メニュー)」内のサブメニューを 終了するには、「Back」を選択して「ENTER」ボタン (3) を押します。

「Setting menu (設定メニュー)」を終了してメイン画 面に戻るには、「Exit」を選択して「ENTER」ボタン (3)を押します。

Setting menu – Service

この機能で今後の定期点検を表示します。



✓「Setting Menu (設定メニュー)」に入ると、最初 に「Riding Mode」の項目が選択されています。

- インタラクティブメニューからボタン (1) とボタン (2) を使用して、「Setting menu (設定メニュー)」を選択し、「ENTER」 (3) を押します。
- 「Service (定期点検)」を選択し、「ENTER」(3)を 押します。



以下の情報が表示されます。

- Total (km)
- VIN (車両識別番号)
- Oil Service (オイル点検:残りの走行距離 (キロメ ートルまたはマイル))
- Annual Service (12 力月点検:日付)
- Valve Clearance Check Service (バルブクリアラン ス点検:残りの走行距離 (キロメートルまたはマ イル))

定期点検期限を過ぎると、黄色に変わります。 この機能については変更は一切できません。ENTER(3) ボタンを押して終了します。

Oil Service 1000 は、慣らし運転 1,000 km/600 mi 終 了後、または 6 カ月以内に実施します。

オイル点検(Oil Service) ひは 15,000 km/9,000 mi 走行ごと、または 24 カ月ごとに実施します。

年次点検 (Annual Service) 曲 は 12 カ月ごとに実施 します。

バルブクリアランス点検 (Valve Check) 🛩 は、 60,000 km/36,000 mi ごとに実施します。

オフロードで車両を使用する場合は、規定の点検間隔 よりも短い間隔で点検を実施してください。



メンテナンス表示のリセットは、メンテナンスを行う Ducati 正規サービスセンターでのみ行うことができま す。

定期点検の種類は、「オイル点検」、「Annual Service」 と「バルブクリアランス点検」です。

定期点検プログラムには、それぞれ「Oil Service」、

「Annual Service」、「Valve Check」と記載されています。

サービス通知

この表示は、Ducati正規サービスセンターで車両のメ ンテナンス (定期点検)を実施する必要があることをユ ーザーに通知します。

定期点検ごとに設定されているしきい値に近づくと、 警告灯(A)が点灯し、車両の電源をオンにするたびに、 インストルメントパネルに灰色の表示(B)が5秒間表 示され、残りの走行距離または日数を知らせます。 「オイル点検」と「バルブクリアランス点検」は残り 1,000 km (621 miles)を切ると表示され、「Annual Service」は残り 30 日を切ると表示されます。 定期点検のしきい値を超えると、インストルメントパ ネルを起動する度に、表示(B)が5秒間黄色で表示され、該当する定期点検の規定しきい値から超過した走 行距離または日数を知らせます。



定期点検に関する表示には以下のものがあります。

- (C) 灰色の「オイル点検」と「バルブクリアランス 点検」:該当する定期点検まで残り1,000 km (621 miles) になると点灯します。
- (D) 灰色の「Annual Service」: 定期点検まで残り 30 日になると点灯します。
- (E) 黄色: 定期点検のしきい値に到達した時点で点 灯します。
- 4) (F) 黄色:定期点検のしきい値を超えた時点で 点灯し、超過した距離を示します。
- 5) (G) 黄色: 定期点検のしきい値に超えた時点で点灯 し、超過した日数を示します。

デジタルメンテナンス

設定された期限に正規ディーラーに連絡し、ダッシュ ボードに表示された期限に予定されているメンテナン スを実施する必要があります。

専用の診断テスターを使用して、ディーラーはサービ スが実行されたことを確認し、次回の点検まで期限を 延期します。

通常のメンテナンスに関連する履歴は、それが実行されたことを証明するために Ducati サーバーに保存されます (これはデジタルメンテナンスブックレットです)。



実行された定期点検の表示は、MyGarage 予約エリア (Ducati.com Web サイト) と MyDucati アプリの両方 で、バイクのオーナーが利用することができます。



Setting menu – Riding Mode

この機能でそれぞれのライディングモードの設定が可能になります。

- インタラクティブメニューからボタン (1) とボタン (2) を使用して、「Setting menu (設定メニュー)」を選択し、「ENTER」 (3) を押します。
- 「Riding Mode」を選択し、「ENTER」(3)を押しま す。

ライディングモード「Sport」、「Touring」、「Urban」、「Wet」および「Default」(ライディングモードのひとつ以上のパラメーターが変更されている場合のみ)が 表示されます。

ボタン(1)とボタン(2)を使用してカスタマイズするラ イディングモードを選択し、「ENTER」(3)を押します。

▲ 警告

 パラメーター変更は、車両のセットアップに充 分慣れている方のみにお勧めします。パラメーターが 誤って変更された場合は、「Default (デフォルト)」機 能を使用してパラメーターを回復してください。





カスタマイズできるパラメーターは以下の通りです。

- Power
- DTC
- ABS
- DWC
- DQS
- Default (デフォルト) (ライディングモードのひと つ以上のパラメーターが変更されている場合のみ 表示)

画面中央にはバイクが表示され、選択した項目に関する部位がハイライト表示されます。パラメーターを変更するには、「ENTER」(3)を押します。



Setting menu – Riding Mode – Power

この機能でエンジン出力を設定します。

- インタラクティブメニューからボタン (1) とボタン (2) を使用して、「Setting menu (設定メニュー)」を選択し、「ENTER」 (3) を押します。
- 「Riding Mode」を選択し、「ENTER」(3)を押しま す。
- パーソナライズするライディングモードを選択し、 「ENTER」(3)を押します。
- 「Power(パワー)」を選択し、「ENTER」(3)を押し ます。

「Full」、「High」、「Medium」、「Low」のレベルが表示されます。また、設定の影響を受ける車両の部分が 強調表示され、参考が表示されます。 右側には現在の設定レベルが表示されています。

ボタン(1)とボタン(2)を使用してスクロールし、希望 するレベルを選択することができます。「ENTER」(3) を押して確定すると、「Back (戻る)」が選択され、も う一度「ENTER」(3)を押して終了します。



Setting menu – Riding Mode – DTC



「Off」に設定され、ウィリーコントロールと車両のダ イナミクスを安定させるアシストが解除されます。

ドゥカティトラクションコントロール(DTC)はリアホ イールのスリップ制御を行い、4つのレベルを基に機 能します。各レベルでリアホイールのスリップに対し て異なる許容値が設定されています。それぞれのライ ディングモードにはあらかじめ設定された介入レベル が割り当てられています。

この機能ではDTC(トラクションコントロール)システ ムの介入レベルを設定します。

- インタラクティブメニューからボタン (1) とボタン (2) を使用して、「Setting menu (設定メニュー)」を選択し、「ENTER」 (3) を押します。
- 「Riding Mode」を選択し、「ENTER」(3)を押しま す。
- パーソナライズするライディングモードを選択し、 「ENTER」(3)を押します。
- 「DTC」を選択し、「ENTER」(3)を押します。

「Off」レベルと1~4のレベルが表示されます。また、 車両の設定の影響を受ける部分が強調表示され、参考 が表示されます。

右側には現在の設定レベルが表示されています。

ボタン(1)とボタン(2)を使用してスクロールし、希望 するレベルを選択することができます。「ENTER」(3) を押して確定すると、「Back(戻る)」が選択され、も う一度「ENTER」(3)を押して終了します。







Y 警告 DTCはライダーをアシストするシステムです。一 般道走行時、サーキット走行時、オフロード走行時の すべてにおいて使用できます。アシストシステムとは、 より確実で安心な運転を可能にすることを目指したメ カニズムであり、ライダーが運転に際し正しく払うべ き注意義務に取って代わるものではありません。自身 の過失だけでなく他者の過失も防止するため、道路交 通法が定める緊急時の回避を可能にする恒重な運転を 心がけてください。

この安全システムは事故予防のためのシステムです。 これらの機能は車両の運転を助け、その制御を簡単で 確実なものにします。車両が走行している路面状況や 道路交通法など各種規制範囲を超えたり、合理的に許 容されるスピードを超えたりするような運転に寄与す るシステムではありません。

下表は、各ライディングタイプに適したDTC介入レベルと、ユーザーが選択可能なライディングモードのどれにデフォルト設定されているかを示します。

DTC レベ ル	ライディングタイプ	機能の特徴	DEFAULT
OFF			
1	SPORT	非常に熟練したライダー向けスポーツ走 行。スキッドします。	
2	SPORT	熟練したライダー向けスポーツ走行。ス キッドします。	ライディングモード「SPORT」 のデフォルトレベル
3	URBAN/TOURING	あらゆる種類の行程での "セーフティド ライブ" 用。	ライディングモード 「TOURING」と「URBAN」の デフォルトレベル
4	RAIN	濡れた路面または湿った路面でのドライ ブ用。ENGINE LOW の使用を推奨。	ライディングモード「WET」の デフォルトレベル

レベルの選択に際しての注意事項

▲ 警告

▲▲ 車両に搭載されている DTC システムの全レベル の調整は、車両の標準装備タイヤを使用して決定され ています。特に、車両の標準装備タイヤは、本書の 「テクニカル仕様」セクションに記載されています。 標準装備のタイヤとサイズや特徴の異なるタイヤを使 用すると、システムの機能特性に影響を及ぼす可能性 があります。

標準装備のタイヤとモデルやメーカーは異なるもの の、サイズクラスが同じなど違いが僅かなタイヤを使 用する場合、システムの機能を最適化するには選択可 能なレベルから適切なレベルを選択することでカバー できるでしょう。サイズクラスの異なるタイヤやサイ ズが大きく異なるタイヤを使用する場合、システムの 機能が影響を受けるため、設定可能な4レベルのどれ も納得のいくものでなくなる可能性があります。この 場合、システムを解除することをお勧めします。

レベル4を選択すると、DTCシステムはリアタイヤの わずかなスピンにも介入します。レベル4とレベル1 の間には、その他に中間の介入レベルが存在します。 DTCの介入度はレベル4から1に向かい減少します。 レベル1および2ではリアタイヤをスピンやスキッド させることができます。これらのレベルは熟練ライダ ーにのみ推奨されます。

主に以下のパラメーターを考慮して正しいレベルを選択します。

- タイヤ/アスファルトのグリップ (タイヤタイプ、 磨耗状態、アスファルトの種類、気候など)。
- レイアウト/行程(類似カーブのみ、またはカーブ が全く異なる)
- ライディングスタイル(より"スムーズ"に、また はより"シャープ"に)

グリップ状態からのレベル選択

正しいレベルの選択はレイアウト/行程中のグリップ 状況と密接に関係しています(後述の一般道での使用 時のアドバイスを参照)。

レイアウトタイプからのレベル選択

レイアウト/行程に同じスピードで走行できるカーブ がいくつもある場合、それぞれのカーブで満足できる 介入レベルを簡単に見つけることができるでしょう。 一方様々なカーブがレイアウト/行程にある場合は、 妥当な DTC 介入レベルが必要になります。

ライディングスタイルからのレベル選択

カーブ出口で早めに車体を起こし「シャープ」に操縦 する場合よりも、バイクを深く倒して「スムーズ」に 操縦する場合に DTC はより介入を行う傾向がありま す。

乾いた一般道での使用時のアドバイス

DTCを起動した後、レベル3を選択し、好みのスタイ ルで運転します。DTC が介入しすぎると感じる場合 は、レベルを2、1と順番に落とし、快適なレベルに 達するまで調整してください。グリップ状況や行程の 種類、ライディングスタイルを変更した時に、設定レ ベルでは満足できない場合は次のレベルに変更しま す。この方法で最も快適なレベルに調整します(例: レベル3ではDTC が介入しすぎると感じる場合はレ ベル2に、レベル2ではDTCの介入が全くないと感じ る場合はレベル3に変更します)。

濡れた一般道での使用時のアドバイス

濡れた路面または湿った路面では、レベル4を使用することが推奨されます。同時にENGINELOWレベルを 選択してください。

Setting menu – Riding Mode – ABS

さらに、Diavel V4が搭載する ABS は、設定レベルに よっては「コーナリング」機能を備えており、バイク を倒している時に、車両と路面状況により決定される 物理的限界の範囲内で車輪のロックおよびスリップを 防止します。

Diavel V4の ABS 設定レベルに応じて、リアホイール のリフトアップ制御も含まれ、制動距離を短くするだ けでなく、制動時の高い安定性を確保します。

この機能では ABS システムの介入レベルを設定します。

- インタラクティブメニューからボタン (1) とボタン (2) を使用して、「Setting menu (設定メニュー)」を選択し、「ENTER」(3) を押します。
- 「Riding Mode」を選択し、「ENTER」(3)を押しま す。
- パーソナライズするライディングモードを選択し、 「ENTER」(3)を押します。
- 「ABS」を選択し、「ENTER」(3)を押します。

1~3のレベルが表示されます。また、設定の影響を受ける車両の部分が強調表示され、参考が表示されます。

右側には現在の設定レベルが表示されています。





ボタン(1)とボタン(2)を使用してスクロールし、希望 するレベルを選択することができます。「ENTER」(3) を押して確定すると、「Back(戻る)」が選択され、も う一度「ENTER」(3)を押して終了します。

困難な条件下でのブレーキ操作は、非常に慎重に行わ なければなりません。ブレーキ操作は二輪車の運転で 最も難しく危険な瞬間です。ブレーキ操作中に転んだ り事故を起こす可能性が統計的に最も高くなっていま す。片方または両方のホイールがロックされると、グ リップによるバランス力が失われ車両のコントロール を失います。

アンチロックブレーキシステム (ABS) は、緊急時や悪路、悪天候下での走行時にブレーキ性能を最も効果的 に発揮させるために開発されたものです。ABS は電子 制御油圧システムです。ホイール上のセンサーから送 られた信号をコントロールユニットが分析し、いずれ かのホイールがロックしそうであることを検知する と、ブレーキ回路内の油圧を制御します。一時的に油 圧が下がることで、を維持したまま回転を続けることが できます。続いて、コントロールユニットは回路内の 油圧を戻してブレーキをかけます。問題が完全に解消 されるまで、このサイクルを繰り返します。ブレーキ ング時 ABS が作動状態に入ると、ブレーキレバーと ブレーキペダルに「軽く振動する」抵抗が感じられま す。

フロントブレーキシステムとリアブレーキシステムの 制御は別々に行われます。

ストラテジーのアクティブな存在と介入レベルは、選択するレベルによって異なります。ABSには3つの介入レベルが用意されており、それぞれライディングモードと連動しています。



▲ 警告 2つあるブレーキコマンドの片方だけを使用する と、車両のブレーキ性能が低下します。過度の力をか ける急激なブレーキ操作は、ホイールのブロックや後 輪の浮き上がり(リフトアップ)の原因となり、車両の コントロールを失うおそれがあります。雨天時や滑り やすい路面の走行時はブレーキカが著しく低下しま す。このようなコンディションでは慎重に工寧なブレ ーキ操作をしてください。急ブレーキを掛けると車両 のコントロールを失う危険があります。長く急な下り 坂を走行する際にはシフトダウンしてエンジンブレー キを使用し、ブレーキは短く断続的に使用するように してください。ブレーキを長時間連続して使用する と、ブレーキパッドの過熱を招き、ブレーキ性能の著 しい低下の原因となります。規定空気圧に満たないタ イヤ、もしくは規定空気圧を超えるタイヤでの走行は ブレーキ性能を低下させるだけでなく、正確な運転と カーブでの安定性を指ないます。

下表は、各ライディングタイプに適した ABS 介入レベルと、ユーザーが選択可能なライディングモードのどれにデフォルト設定されているかを示します。

ABS レベ ル	ライディングタイプ	特徴	DEFAULT
1	EXPERT	このレベルは特に熟練したライダー向け に設計されています。このレベルでは、 ABS はフロントホイールにのみ作用し、 リアホイールのロックは許容されます。 このレベルでは、システムはリフトアッ プ制御は行わず、コーナリング機能は作 動しません。	
2	SPORT	このレベルはグリップの良い路面での走 行用に設計されています。このレベルで は、ABSは両方のホイールに作用し、コ ーナリング機能が作動し、リフトアップ を制御しますが、低速域に限定されま す。このキャリブレーションにおいては ブレーキカが優先されます。	ライディングモード「SPORT」 のデフォルトレベル

ABSレベ	ライディングタイプ	特徴	DEFAULT
3	SAFE & STABLE	このレベルはあらゆる状況下での使用に 適し、安全かつ安定したブレーキングを 可能にするよう設定されています。この レベルでは、ABSは両方のホイールに作 用し、コーナリング機能およびリフトア ップ制御機能が作動します。このキャリ ブレーションにおいては車両の安定性が 優先されます。	ライディングモード 「TOURING」と「URBAN」の デフォルトレベル

レベルの選択に際しての注意事項

▲ 警告

▲ 選択可能な全レベルにおいて、標準装備のブレ ーキシステムおよび標準装備タイヤまたはドゥカティ 社が推奨するタイヤを装着している場合においての み、ABSシステムの最適な動作が保証されるものです。 特に、標準装備タイヤは本書の「テクニカル仕様」セ クションに記載されています。標準装備のタイヤやド ゥカティ社推奨タイヤとサイズや特徴の異なるタイヤ を使用すると、システムの機能特性に影響を与え、機 能の安全性が低くなることがあります。基準適合サイ ズと異なるサイズのタイヤの装着は推奨されません。

レベル3を選択すると、ABSシステムは安定性を優先 するブレーキングとリフトアップ制御(リアホイール の浮き上がり防止)を行い、全てのブレーキングにお いて高い車体安定性を維持します。レベル3において、 ABSシステムのコーナリング機能が作動します。この 機能により、バイクを倒している時に、車両と路面状 況により決定される物理的限界の範囲内で車輪のロッ クおよびスリップを防止します。

レベル2を選択すると、ABSシステムは安定性より制動力を優先させます。レベル2でもABSコーナリング機能が作動します。このレベルでは、さらにリフトアップ制御もありますが、これは低速時に限られます。

ABSシステムのレベル1の使用は極めて熟練したライ ダー向けになります。パフォーマンスを重視してABS はフロントホイールにのみ作用します。このレベルで はリフトアップ制御およびコーナリング機能は作動し ません。

主に以下のパラメーターを考慮して正しいレベルを選択します。

- タイヤ/路面のグリップ(タイヤタイプ、タイヤの 磨耗状態、アスファルトの種類、気候など)。
- ライダーの経験と感覚。

Setting menu – Riding Mode – DWC

▲ 警告

▲ DTCを「Off」に設定するとDWC も自動的に 「Off」に設定され、ウィリーコントロールと車両のダ イナミクスを安定させるアシストが解除されます。

ドゥカティウィリーコントロール(DWC)はウィリー制 御を行い、4つの介入レベルを基に機能します。各レ ベルでウィリーの制御に対して異なる値が設定されて います。それぞれのライディングモードにはあらかじ め設定された介入レベルが割り当てられています。レ ベル4ではウィリーの発生を防止し、ウィリーが発生 するとそれを制御するために最大限の介入を行いま す。熟練ライダー専用のレベル1ではウィリー防止を 最小限にとどめ、ウィリーが発生した場合の制御も最 小限に抑えられます。 この機能ではDWCシステムの介入レベルを設定、またはシステムの解除を行うことができます。

- インタラクティブメニューからボタン (1) とボタン (2) を使用して、「Setting menu (設定メニュー)」を選択し、「ENTER」 (3) を押します。
- 「Riding Mode」を選択し、「ENTER」(3)を押しま す。
- パーソナライズするライディングモードを選択し、 「ENTER」(3)を押します。
- 「DWC」を選択し、「ENTER」(3)を押します。

「Off」レベルと1~4のレベルが表示されます。また、 車両の設定の影響を受ける部分が強調表示され、参考 が表示されます。

右側には現在の設定レベルが表示されています。

ボタン(1)とボタン(2)を使用してスクロールし、希望 するレベルを選択することができます。「ENTER」(3) を押して確定すると、「Back (戻る)」が選択され、も う一度「ENTER」(3)を押して終了します。







▲▲ DWC はライダーをアシストするシステムです。 一般道走行時でもサーキット走行時でも使用できま す。アシストシステムとは、より確実で安心な運転を 可能にすることを目指したメカニズムであり、ライダ ーが運転に際し正しく払うべき注意義務に取って代わ るものではありません。自身の過失だけでなく他者の 過失も防止するため、道路交通法が定める緊急時の回 避を可能にする慎重な運転を心がけてください。

この安全システムは事故予防のためのシステムです。 これらの機能は車両の運転を助け、その制御を簡単で 確実なものにします。車両が走行している路面状況や 道路交通法など各種規制範囲を超えたり、合理的に許 容されるスピードを超えたりするような運転に寄与す るシステムではありません。 下表は、各ライディングタイプに適した DWC 介入レベルと、ユーザーが選択可能なライディングモードの どれにデフォルト設定されているかを示します。

DWC レベ ル	ライディングタイプ	機能の特徴	DEFAULT
OFF		DWC システム解除	
1	PERFORMANCE	熟練ライダー向けレベル。ウィリーは可 能ですが、システムはウィリーの速度を 低減します。	
2	SPORT	熟練ライダー向けレベル。システムはウ ィリーが発生する傾向を抑え、ウィリー 発生時には介入を行います。	ライディングモード「SPORT」 のデフォルトレベル
3	SAFE & STABLE	すべてのライダー向けレベルシステムは ウィリーが発生する傾向を大幅に抑え、 ウィリー発生時には迅速な介入を行いま す。	ライディングモード「URBAN」 と「TOURING」のデフォルト レベル
4	HIGH SAFE & STABLE	すべてのライダー向けレベルシステムは ウィリーが発生する傾向を最小限に抑 え、ウィリー発生時には大幅な介入を行 い、完全に打ち消すことを試みます。	ライディングモード「WET」の デフォルトレベル

レベルの選択に際しての注意事項

▲ 警告

▲▲ 選択可能な全レベルにおいて、標準装備の最終 減速比を装備し、標準装備タイヤまたはドゥカティ社 が推奨するタイヤを装着している場合においてのみ、 DWCシステムの最適な動作が保証されるものです。特 に、標準装備タイヤは、本書の「テクニカル仕様」セ クションに記載されています。標準装備のタイヤとサ イズや特徴の異なるタイヤを使用すると、システムの 機能特性に影響を与え、機能の安全性が低くなること があります。基準適合サイズと異なるサイズのタイヤ の装着は推奨されません。

DWCのレベル4を選択すると、システムはウィリーが 発生する傾向を最小限に抑え、ウィリー発生時には大 幅な介入を行います。レベル4からレベル1の順に DWCシステムの介入レベルが徐々に小さくなります。 レベル1、2ではウィリーをしやすくなっていますが、 同時にウィリー時の減速を行います。これらのレベル の使用は、自らウィリーを制御することができる熟練 ライダーがサーキットで使用する場合にのみ推奨され ます。その場合システムはウィリーの発生を助けると いうよりも、ウィリーが発生する速度を抑えることで ライダーを補助します。 主に以下のパラメーターを考慮して正しいレベルを選択します。

- ライダーの経験
- レイアウト/行程(低速ギアでの立ち上がり、もしくは高速ギアでの立ち上がり)

ライダーの経験

使用するレベルはウィリーを自ら制御するライダーの 経験度と密接に関連しています。レベル1、2を適切 に利用するためには熟練した技術が求められます。

レイアウトタイプからのレベル選択

レイアウト/行程に低速ギアで立ち上がる速度の低い カーブが存在する場合、より低いレベルを選択する必 要があります。逆に高速の行程などではより高いレベ ルを選択することが可能です。

一般道での使用時のアドバイス

DWCを起動した後、レベル4を選択し、好みのスタ イルで運転します。DWC が介入しすぎると感じる場 合は、レベルを3、2と順番に落とし、快適なレベル に達するまで調整してください。行程タイプが変化し たため設定レベルでは満足できない場合は次のレベル に変更します。この方法で最も快適なレベルに調整し ます(例:レベル3ではDWCが介入しすぎると感じる 場合はレベル2に、レベル2ではDWCの介入が全くないと感じる場合はレベル3に変更します)。

Setting menu – Riding Mode – DQS

この機能は DQS システムを起動または解除します。

- インタラクティブメニューからボタン (1) とボタン (2) を使用して、「Setting menu (設定メニュー)」を選択し、「ENTER」 (3) を押します。
- 「Riding Mode」を選択し、「ENTER」(3)を押しま す。
- パーソナライズするライディングモードを選択し、 「ENTER」(3)を押します。
- 「DQS」を選択し、「ENTER」(3)を押します。

「On」、「Off」のレベルが表示されます。また、設定の 影響を受ける車両の部分が強調表示され、参考が表示 されます。

右側には現在の設定レベルが表示されています。

ボタン(1)とボタン(2)を使用してスクロールし、希望 するレベルを選択することができます。「ENTER」(3) を押して確定すると、「Back(戻る)」が選択され、も う一度「ENTER」(3)を押して終了します。

UP/DOWN 機能を備える DQS システムでは、クラッ チを操作せずにシフトアップおよびシフトダウンが可 能です。ペダルの作動機構に内蔵された双方向マイク ロスイッチからな成り、このマイクロスイッチがエン ジンコントロールユニットにシフト操作に対応する信 号を送信します。システムはシフトアップとシフトダ





ウンで動作が異なります。シフトアップシステムでは 点火進角と燃料噴射に作用し、シフトダウン時にはス ロットルバルブオープニングを制御します。

この機能を最大限に活用するためのいくつかのヒント を以下に示します。

- ドゥカティクイックシフトでは、このシステムを 搭載ない車両と同様にギアチェンジペダルの操作 を必要とします。
- ドゥカティクイックシフトはギアチェンジを自動 で行うためのシステムではありません。
- ギアをチェンジする時(シフトアップまたはシフトダウン)は、ギアチェンジペダルを停止している位置からシフトしたい方向に動かしてください。その際、スプリングの反発力に抵抗してペダルを一定距離動かし、ギアが完全に締結されるまでその位置を維持してください。ギアチェンジが完了したら、ドゥカティクイックシフトで次のギアチェンジができるようにペダルを完全に放してください。ドゥカティクイックシフトのリクエスト時にギアチェンジペダルをストロークエンドまで確実に動かさないと、ギアが完全に入らない場合があります。
- クラッチレバーを操作する場合には、ドゥカティ クイックシフトのアシストは作動しません。

- クラッチレバーを引いているときは、ドゥカティ クイックシフトは作動しません。
- スロットルが完全に閉じている場合にのみ、ドゥ カティクイックシフトはシフトダウンを実行しま す。
- 万一ドゥカティクイックシフトのストラテジーが 正常に作動しない場合でも、クラッチレバーを操 作してギアチェンジを完了することができます。
- ギアチェンジペダルを上下いずれかの方向に30 秒以上押し続けると(誤って操作した場合でも)、 不正なエラーとしてコントロールユニットに記録 され、ドゥカティクイックシフトの機能が停止す ることがあります。こうした場合にシステムを再 起動するには、ペダルを放してインストルメント パネルを一旦切り、5秒待ってからもう一度起動 してください。
- ドゥカティクイックシフトは、エンジン回転数 2,500 rpm 以上で作動するように設計されています。
- ドゥカティクイックシフトを使ったシフトダウン 機能は、すべてのギアにおいて定義された回転数 の限界値以下でのみ作動します。これは、シフト ダウンした時にエンジンの最高回転数を超えてし まうのを防ぐためです。

 クルーズコントロールシステムの作動中は、DQS システムによるシフトダウンはできません。

Setting menu – Riding Mode – Default

この機能では、ライディングモード関連パラメーターをDucati設定値に回復することができます。前もってパラメーターが変更されている場合にのみ表示されます。

すべてのライディングモードのパラメーター値 を回復する場合:

- インタラクティブメニューからボタン (1) とボタン (2) を使用して、「Setting menu (設定メニュー)」を選択し、「ENTER」 (3) を押します。
- 「Riding Mode」を選択し、「ENTER」(3)を押しま す。
- 「Default (デフォルト)」を選択し、「ENTER」(3) を押します。「Wait… (お待ちください)」の文字 が数秒間表示されてから、「Restored (回復されま した)」と表示されます。続いて、「Default (デフ ォルト)」の項目がメニュー一覧に表示されなくな ります。


ひとつのライディングモードのパラメーター値 を回復する場合:

- インタラクティブメニューからボタン (1) とボタン (2) を使用して、「Setting menu (設定メニュー)」を選択し、「ENTER」 (3) を押します。
- 「Riding Mode」を選択し、「ENTER」(3)を押しま す。
- パーソナライズするライディングモードを選択し、 「ENTER」(3)を押します。
- 「Default (デフォルト)」を選択し、「ENTER」(3) を押します。「Wait… (お待ちください)」の文字 が数秒間表示されてから、「Restored (回復されま した)」と表示されます。続いて、「Default (デフ ォルト)」の項目がメニュー一覧から消えます。



すべてのライディングモードに連動する全パラメーターについて、Ducati が設定するデフォルト値を下表に 記載しています。

	SPORT	TOURING	URBAN	WET
用途	一般道	一般道	一般道	一般道
パワーモード	High	Medium	Low	Low
最高出力	168 ps (123.6 kW)	168 ps (123.6 kW)	114 ps (84 kW)	114 ps (84 kW)
スロットルレスポ ンス	ダイナミック	ソフト	ソフト	ソフト
ABS	2	3	3	3
DTC	2	3	3	4
DWC	2	3	4	4
DQS	ON	ON	ON	ON

Setting menu – Info display

この機能では、「Info display (情報表示)」内に表示される情報の順番を変更します。

- インタラクティブメニューからボタン (1) とボタン (2) を使用して、「Setting menu (設定メニュー)」を選択し、「ENTER」(3) を押します。
- 「Info display (情報表示)」を選択し、「ENTER」(3) を押します。

選択可能な項目が、現在の順番を示す番号と一緒に表示されます(A)。右側には、トリップ情報の現在の順番が表示されています(B)。

以前に情報表示の順番を変更している場合は、

「Default (デフォルト)」の項目も表示され、初期設定の順番に戻すことができます。

ボタン(1)とボタン(2)を使用して、リスト内の項目を スクロールできます。選択した項目の順番を示す番号 を変更するには、「ENTER」(3)を押します。



以下の例では、「Total (総走行距離)」の順番を1 番から3番に変更します。

- ボタン (1) とボタン (2) で「Total」を選択し、 「ENTER」(3) を押します。
- 順番を示す番号の上下に2つの矢印が表示されます(C)。これは、ボタン(1)とボタン(2)を使用して、順番を示す番号を変更できることを示しています(この例では「3」)。
- 「ENTER」(3)を押して決定します。すると、トリップ情報の順番が新しい順番に更新されます(E)。

● 参考 燃料レベル表示が「Range」に設定されている 場合は、「Range」の項目はリストの中に灰色で表示 されます。



情報の位置が元の順番から変更されている場合は、選 択可能な項目一覧の中に「Default (デフォルト)」も表 示されます。

元の順番を回復するには、ボタン (1) と (2) で 「Default (デフォルト)」を選択して「ENTER」(3)を押 します。「Wait… (お待ちください)」が数秒間表示さ れてから、「Restored (回復されました)」と表示され ます。続いて、「Default (デフォルト)」の項目がメニ ュー一覧に表示されなくなります。項目の位置とトリ ップ情報の現在の順番が初期状態に戻ります。



Setting menu – Fuel indicator (燃料計)

この機能では、燃料レベルの表示モードを変更しま す。目盛りバー表示、または航続可能距離(キロメー トルまたはマイル)のいずれかを設定できます。

- インタラクティブメニューからボタン (1) とボタン (2) を使用して、「Setting menu (設定メニュー)」を選択し、「ENTER」(3) を押します。
- 「Fuelindicator(燃料計)」を選択し、「ENTER」(3) を押します。



「Level」と「Range (航続可能距離)」が表示されます。 画面右側には、現在設定されているモードが表示され ています。

ボタン(1)とボタン(2)を使用してスクロールし、希望 するモードを選択することができます。「ENTER」(3) を押して確定すると、「Back(戻る)」が選択され、も う一度「ENTER」(3)を押して終了します。

の参考

▶ 燃料レベル表示が航続可能距離モードに設定されている場合は、トリップ情報の一覧に「Range (航続可能距離)」は表示されません。

● 参考 車両がリザーブ状態のときに、メイン画面が 「Full」モードに設定され、燃料インジケーターが 「Level」に設定されていると、インジケーターは残り の航続距離(キロまたはマイル)を自動的に表示します。 リザーブ状態でなくなると、燃料インジケーターは、 以前に設定された表示に戻ります。



▶ 参考 サイドスタンドが下がっているときは、燃料レ

ベルインジケーターは更新されません。 サイドスタンドが戻った状態(水平位置)にあるときは、 燃料レベルインジケーターの初回更新は数秒後になり

ます。

Setting menu – DRL

この機能では、DRLの状態をオートモードかマニュア ルモードに設定します。DRLを装備している場合にの み表示されます。

- インタラクティブメニューからボタン (1) とボタン (2) を使用して、「Setting menu (設定メニュー)」を選択し、「ENTER」 (3) を押します。
- 「DRL」を選択し、「ENTER」(3)を押します。



「Auto」と「Manual」が表示されます。 画面右側には、現在設定されているモードが表示され ています。

ボタン(1)とボタン(2)を使用してスクロールし、希望 するモードを選択することができます。「ENTER」(3) を押して確定すると、「Back(戻る)」が選択され、も う一度「ENTER」(3)を押して終了します。



Yマテリーの接続を切り離した場合には、自動的に "Auto" モードに設定されます。



Setting menu – Display setup

この機能では、ディスプレイの明暗のテーマを設定 し、明るさを調整します。

- インタラクティブメニューからボタン (1) とボタン (2) を使用して、「Setting menu (設定メニュー)」を選択し、「ENTER」 (3) を押します。
- 「Display setup (ディスプレイ設定)」を選択し、 「ENTER」(3) を押します。



「Themes (テーマ)」と「Brightmess (明るさ)」が表示 されます。

画面右側には、現在設定されているモードが表示されています。

ボタン(1)とボタン(2)を使用してスクロールし、希望 する項目を選択することができます。「ENTER」(3)を 押して決定します。



テーマ

この機能から明暗のテーマを設定できます。

- インタラクティブメニューからボタン (1) とボタン (2) を使用して、「Setting menu (設定メニュー)」を選択し、「ENTER」 (3) を押します。
- 「Display setup (ディスプレイ設定)」を選択し、 「ENTER」(3)を押します。
- 「Themes (テーマ)」を選択し、「ENTER」(3)を押 します。

「Auto」、「Light」、「Dark」が表示されます。 画面右側には、現在設定されているモードが表示され ています。

「Auto」モードでは、ディスプレイのテーマが外光の 強さ (インストルメントパネルが検出) に応じて自動的 に変更されます。

ボタン(1)とボタン(2)を使用してスクロールし、希望 するテーマを選択することができます。「ENTER」(3) を押して確定すると、「Back(戻る)」が選択され、も う一度「ENTER」(3)を押して終了します。



➤ バッテリーの接続を切り離した場合には、自動的に "Auto" モードに設定されます。



Backlight (バックライト)

この機能ではバックライトの明るさを調整することが できます。

- インタラクティブメニューからボタン (1) とボタン (2) を使用して、「Setting menu (設定メニュー)」を選択し、「ENTER」 (3) を押します。
- 「Display setup (ディスプレイ設定)」を選択し、 「ENTER」(3)を押します。
- 「Brightmess (明るさ)」を選択し、「ENTER」(3) を押します。
- バーグラフが現在設定されている強度で表示されま す。

明るさは、インストルメントパネルが検出した周囲の 明るさに応じて自動調整されます。バックライトの明 るさ調整は、インストルメントパネルによる検出をも とに算出されます。

ボタン(1)とボタン(2)を使用して、バックライトの明 るさを調整することができます。「ENTER」(3)を押し て確定すると、「Back(戻る)」が選択され、もう一度 「ENTER」(3)を押して終了します。



インストルメントパネルの明るさは、フォトダイオー ドで検出された周囲の明るさに応じて自動調整されま す(A)。バックライトの明るさ調整は、フォトダイオ ードによる検出をもとに算出されます。



Setting menu – PIN Code

この機能でPIN Codeの有効化または変更を行います。

- インタラクティブメニューからボタン(1)とボタ ン (2) を使用して、「Setting menu (設定メニュ ー)」を選択し、「ENTER」(3)を押します。
- 「PIN code」を選択し、「ENTER」(3)を押します。 .

PIN Code は最初車両に登録されていないので、ユー ザーが4桁のPINをインストルパネルに入力して有効 にします。これを行わないと、不具合が生じた場合に 車両を一時記動することができません。 不具合が生じた際に車両を一時的に起動するには、 「PIN Code による車両の解除」の手順に従います。

これまでに PIN Code が登録されたことがない場合は、 メニュー内に「New PIN」と表示され、PIN Codeの登 録を行えます。PIN Codeがすでに登録されている場合 は、メニュー内に「Modify PIN (PIN の変更)」と表示 され、保存されている PIN Code を変更することがで きます。



警告

 PIN Code の登録および保存は、車両の所有者が 行います。自分のものではない PIN Code がすでに登 録されている場合は、Ducati 正規ディーラーに PIN Code のリセットをご依頼ください。その際 Ducati 正 規ディーラーは、車両の所有者確認をさせていただく ことがあります。

新しい PIN

- インタラクティブメニューからボタン (1) とボタン (2) を使用して、「Setting menu (設定メニュー)」を選択し、「ENTER」(3) を押します。
- 「PIN code」を選択し、「ENTER」(3)を押します。
- 「New PIN」を選択し(図 159)、「ENTER」(3)を押 します。

PIN 入力用の4桁の1桁目が表示されます(図 160)。

コードの入力:

- 数字の上下にある数字は、ボタン(1)、(2)を使用して数字を0~9の間で変更できることを示しています。
- 「ENTER」(3)を押して決定し、次の桁に移動します。
- 同じ方法で4桁すべてを入力します。



最後の桁を決定すると(図161)、「Save?(保存します か)」の文字が表示されます。(図162)。 「ENTER」(3)を押して決定すると、「Saved(保存され ました)」の文字が数秒間表示されます。 インストルメントパネルは前の画面に戻り、「New PIN」の代わりに「Modify PIN(PINの変更)」が表示さ れます。



PIN の変更

- インタラクティブメニューからボタン (1) とボタン (2) を使用して、「Setting menu (設定メニュー)」を選択し、「ENTER」 (3) を押します。
- 「PIN code」を選択し、「ENTER」(3)を押します。
- 「Modify PIN (PIN の変更)」を選択し (図 163)、 「ENTER」(3) を押します。
- 「Current PIN (現在の PIN)」が表示され、「ENTER」 (3) を押して入力に進みます (図 164)。
- コードの入力:
- 数字の上下にある数字は、ボタン(1)、(2)を使用して数字を0~9の間で変更できることを示しています。
- 「ENTER」(3)を押して決定し、次の桁に移動します。
- 同じ方法で4桁すべてを入力します。
- 4 桁目を入力してから「ENTER」ボタン (3) を押すと、 以下のようになります。
- PIN が正しく入力された場合は、「Correct」と表示されます。
- PIN が正しく入力されなかった場合は「Wrong」 と表示され、現在の PIN をもう一度入力できるようになります。

PIN が正しい場合は、新しい PIN の入力に進みます。



PIN 入力用の4桁の1桁目が表示されます(図 159)。

コードの入力:

- 数字の上下にある数字は、ボタン(1)、(2)を使用して数字を0~9の間で変更できることを示しています。
- 「ENTER」(3)を押して決定し、次の桁に移動します。
- 同じ方法で4桁すべてを入力します。

最後の桁を決定すると、「Save? (保存しますか)」の文字が表示されます。

「ENTER」(3)を押して決定すると、「Saved (保存されました)」の文字が数秒間表示されてから、インストルメントパネルが前の画面に戻ります。

Setting menu – Date and time (日付と時間)

この機能で日時と形式を設定します。

- インタラクティブメニューからボタン (1) とボタン (2) を使用して、「Setting menu (設定メニュー)」を選択し、「ENTER」(3) を押します。
- 「Date and time (日付と時間)」を選択し、 「ENTER」(3)を押します。

「Set date (日付の設定)」、「Date format (日付形式)」、 「Set time (時間の設定)」、「Time format (時間形式)」 が表示されます。右側には、現在の設定が表示されて います。

ボタン (1) と (2) を使用してスクロールし、設定する パラメーターを選択できます。「ENTER」(3)を押して 決定します。



日付と時間がまだ設定されていない場合は、それぞれの値の代わりに点線「-」が表示されます。



日付の設定

この機能で日付を設定します。図中例の日付形式は 「年/月/日」です。

- インタラクティブメニューからボタン (1) とボタン (2) を使用して、「Setting menu (設定メニュー)」を選択し、「ENTER」(3) を押します。
- 「Date and time (日付と時間)」を選択し、 「ENTER」(3)を押します。
- 「Set date (日付の設定)」を選択し、「ENTER」(3) を押します。

日付の最初のパラメーター(図例では「年」)が変更で きるようになり、上下に2つの矢印が表示されます。 また、選択されたパラメーターの上下に設定できる数 値も表示されます(図167)。ボタン(1)とボタン(2)を 使用してスクロールし、希望する値を選択することが できます。「ENTER」(3)を押して決定し、次のパラメ ーターに移動します。

矢印と設定できる数値の表示が、2番目のパラメータ ー (図例では「月」)に移動します(図 168)。ボタン(1) とボタン(2)を使用してスクロールし、希望する値を 選択することができます。「ENTER」(3)を押して決定 し、次のパラメーターに移動します。



矢印と設定できる数値の表示が、3番目のパラメータ ー (図例では「日」)に移動します(図 169)。ボタン(1) とボタン(2)を使用してスクロールし、希望する値を 選択することができます。「ENTER」(3)を押して決定 します。

日付の最後のパラメーターを決定した時点で、入力された日付が無効な場合は「Wrong」が数秒間表示されます(図170)。その後、正しい日付の入力に進みます。



日付形式

この機能で日付形式を設定します。

- インタラクティブメニューからボタン (1) とボタン (2) を使用して、「Setting menu (設定メニュー)」を選択し、「ENTER」(3) を押します。
- 「Date and time (日付と時間)」を選択し、 「ENTER」(3)を押します。
- 「Date format (日付形式)」を選択し、「ENTER」
 (3)を押します。

設定できる形式「dd.mm.yyyy」、「mm.dd.yyyy」、 「yyyy.dd.mm」、「yyyy.mm.dd」が表示されます。ボ タン (1) とボタン (2) を使用してスクロールし、希望す る形式を選択することができます。「ENTER」(3) を押 して決定します。



時間の設定

この機能で時間を設定します。図中例の時間形式は12時間制 (AM/PM) です。

- インタラクティブメニューからボタン (1) とボタン (2) を使用して、「Setting menu (設定メニュー)」を選択し、「ENTER」 (3) を押します。
- 「Date and time (日付と時間)」を選択し、 「ENTER」(3)を押します。
- 「Set time (時間の設定)」を選択し、「ENTER」(3) を押します。

「時」の数字が選択できるようになり、上下に2つの 矢印が表示されます。また、選択されたパラメーター の上下に設定できる数値も表示されます(図174)。ボ タン(1)とボタン(2)を使用してスクロールし、希望す る値を選択することができます。「ENTER」(3)を押し て決定し、「分」の数字に移動します。



矢印と設定できる数値の表示が分数に移動します (図 175)。ボタン (1) とボタン (2) を使用してスクロー ルし、希望する値を選択することができます。 「ENTER」(3)を押して決定し、「AM/PM」の選択に移 動します。

「am」または「pm」を選択可能になります(図176)。 ボタン(1)とボタン(2)を使用して、目的の値を選択す ることができます。「ENTER」(3)を押して決定します。

参考 現在の時間形式に24時間制を設定している場合は、パラメーター「AM/PM」は表示されません。



時間形式

この機能で時間形式を設定します。

- インタラクティブメニューからボタン (1) とボタン (2) を使用して、「Setting menu (設定メニュー)」を選択し、「ENTER」(3) を押します。
- 「Date and time (日付と時間)」を選択し、 「ENTER」(3)を押します。
- 「Time format (時間形式)」を選択し、「ENTER」 (3)を押します。

形式「12 hours (12時間)」と「24 hours (24時間)」が 表示されます(図 178)。ボタン(1)とボタン(2)を使用 してスクロールし、希望する形式を選択することがで きます。「ENTER」(3)を押して決定します。



Setting menu – Lap

この機能でラップ機能の起動と解除、記録されている ラップタイムの閲覧と消去が可能です。

- ボタン(1)とボタン(2)を使用して、インタラクティブメニューから「Setting menu (設定メニュー)」を選択し、「ENTER」(3)を押します。
- 「Lap」を選択し、「ENTER」(3)を押します。

「Off」、「On」、「Lap data (ラップデータ)」、「Erase data (データ消去)」が表示されます (事前にラップが 記録されている場合にのみ表示されます)。右側には 現在の機能ステータスが表示されています (図 180)。

「Off」と「On」はそれぞれラップ機能を停止・起動し ます。「Lap data」では保存されているラップを確認 することができ、「Erase data」では記録ラップを消去 することができます。

ボタン(1)とボタン(2)を使用してスクロールし、希望 する項目を選択することができます。「ENTER」(3)を 押して決定します。

車両の起動時、Lap 機能は常に「Off」に設定されま す。





この機能では記録されているラップデータを個別に確認することができます。

- ボタン(1)とボタン(2)を使用して、インタラクティブメニューから「Setting menu (設定メニュー)」を選択し、「ENTER」(3)を押します。
- 「Lap」を選択し、「ENTER」(3)を押します。
- 「Lap data (ラップデータ)」を選択し、「ENTER」 (3) を押します。

画面左側に「Best lap (ベストラップ)」および保存されているラップ一覧(最大60ラップ)が表示され、中央に個別ラップの記録データが表示されます。

- Time (タイム)
- Speed max (最高速度)
- RPM max (最高回転数)
- Lean angle (最大リーン角)
- YAW angle (最大ヨー角)

ボタン (1) とボタン (2) を使用して一覧内のラップを スクロールし、それぞれの記録データを表示すること ができます。



➤ ラップ記録が存在しない場合は、メニューに入ると「No lap」と表示されます。



Erase data

この項目は、事前にラップが記録されている場合にの み表示されます。

- ボタン(1)とボタン(2)を使用して、インタラクティブメニューから「Setting menu (設定メニュー)」を選択し、「ENTER」(3)を押します。
- 「Lap」を選択し、「ENTER」(3)を押します。
- 「Erase data (データ消去)」を選択し、「ENTER」 を押してデータの消去に進みます。

数秒間「Wait… (お待ちください)」と表示され (図 184)、その後「Erased (消去されました)」と数秒 間表示されます。続いて前の画面に戻りますが、 「Erase data (データ消去)」の項目は表示されなくなり ます。



Setting menu – Tyre calibration (タイヤキ ャリブレーション)

この機能では、タイヤの円周長のキャリブレーション と自己学習、または初期設定値への回復の手順を行い ます。また、基準適合構成に変更があった場合にも、 最終減速比(フロントスプロケット/リアスプロケッ ト)を正しく学習することが可能です。このモデルで 許容されるフロントスプロケット/リアスプロケット の組み合わせの表がある場合は、それを参照してくだ さい。

したがって、タイヤキャリブレーション機能は、次の 場合に使用する必要があります.

- タイヤを交換する場合
- 最終減速比を変更する場合

この機能にアクセスするには以下のように操作してく ださい。

- インタラクティブメニューからボタン (1) とボタン (2) を使用して、「Setting menu (設定メニュー)」を選択し、「ENTER」(3) を押します。
- 「Tyre calibration (タイヤキャリブレーション)」を 選択し、「ENTER」(3)を押します。

まだタイヤのキャリブレーションを実行したことがない場合は、「Start」と表示されます。



N Gaar

図 186

すでに実行したことがある場合は、「Start」の代わり に「Default」と表示されています。



この機能に入り、「Start」と表示されているときに 「ENTER」(3)を押すと、インストルメントパネルにキ ャリブレーションを進める画面が表示されます。 この画面内には「Ready (開始可能)」の文字と、2速 ギアを入れた状態で維持する速度(49 km/h (30 mph) ~51 km/h (32 mph))が表示されています。画面右側 には、速度と現在のギアが表示されます。 速度とギアが指定の状態になると、システムのキャリ ブレーションが開始されます。上記すべての情報が表 示され、「Ready (開始可能)」の代わりに「In progress (実行中)」が表示されます。

速度とギアが指定のパラメーターに5秒間維持された 時にキャリブレーションが実行されます。





キャリブレーション実行中に速度とギアの指定条件か ら外れた場合や、エラーや不具合が検出された場合 は、インストルメントパネルに「Failed (失敗しまし た)」と表示され、数秒後に前のメニューに戻ります。

フにすると、キャリブレーションは中断されます。



②参考

Tyre calibration - Default

この機能に入り、「Default (デフォルト)」を選択した 状態で「ENTER」(3)を押すと、インストルメントパネ ルに「Wait… (お待ちください)」と2秒間表示され、 その後「Default restored (デフォルトに回復されまし た)」と2秒間表示されてから、前のメニュー画面に戻 ります。




最終減速比の変更は、クローズドサーキットで 車両を使用する場合に限り許可されるものです。公道 走行には使用できません。

∧ 警告

▲ フロントスプロケットやリアスプロケットを交換した場合、「タイヤキャリブレーション」を実施した後、Ducati正規ディーラーで診断ツールを用いて「トランスミッション調整リセット」を行う必要があります。これにより、最終減速比に関連した誤った妥当性診断を回避することができます。

▲ 警告

▲ 最終減速比の変更は保証を受ける権利の即時失 効を伴い、保安基準適合バージョンに相当しなくなる ことから公道走行には使用できません。

最終減速比		リアスプロケット
		43
フロントスプロケッ ト	16	2.69

Setting menu – Tyre pressure (タイヤ空気 圧) (装備している場合)

この機能では、フロントとリアのタイヤ空気圧センサ ーの基準空気圧を設定します。タイヤセンサーを装備 している場合にのみ表示されます。

- インタラクティブメニューからボタン (1) とボタン (2) を使用して、「Setting menu (設定メニュー)」を選択し、「ENTER」(3) を押します。
- 「Tyre pressure (タイヤ空気圧)」を選択し、 「ENTER」(3)を押します。

「Front tyre (フロントタイヤ)」と「Rear tyre (リアタイヤ)」が表示されます。画面の右側に現在の設定空気圧が表示されています。

ボタン(1)とボタン(2)を使用してスクロールし、希望 する項目を選択することができます。「ENTER」(3)を 押して決定します。



「Front tyre (フロントタイヤ)」(図 196) または「Rear tyre (リアタイヤ)」(図 197) を選択すると、現在の空 気圧値と上下に 2つの矢印が表示されます。これらの 矢印は、ボタン (1) とボタン (2) を使用して、数値を増 減できることを示しています。画面の右側に現在の設 定空気圧が表示されています。「ENTER」(3) を押して 決定します。

の参考

空気圧値は、1.5 bar~3.0 barの間で設定できます。



Setting menu – Turn indicators (ターンイン ジケーター)

この機能では、ターンインジケーター操作を自動モー ドまたは手動モードに設定することができます。 ターンインジケーター自動解除ストラテジーは、リー ン角度、走行速度、走行距離から算出されたデータを 基にしています。

- インタラクティブメニューからボタン (1) とボタン (2) を使用して、「Setting menu (設定メニュー)」を選択し、「ENTER」 (3) を押します。
- 「Turn indicators (ターンインジケーター)」を選択し、「ENTER」(3)を押します。



「Auto-off(自動消灯)」と「Manual-off(手動消灯)」が 表示されます。

画面右側には、現在設定されているモードが表示されています。

ボタン(1)とボタン(2)を使用してスクロールし、希望 するモードを選択することができます。「ENTER」(3) を押して確定すると、「Back(戻る)」が選択され、も う一度「ENTER」(3)を押して終了します。

参考 バッテリーの接続が切れた場合は、自動モード に設定されます。

自動解除:

車両速度、リーンアングル、車両の動的制御の分析から右左折の動作の終了を感知して、ターンインジケーターが自動的に消灯します。

自動解除機能は、インジケーターボタンを操作することにより、車両速度が20km/h(12.4mph)を超えると作動します。

ターンインジケーターは、車両がかなりの長距離を走 行している間作動したままになっている場合にも、自 動的に消灯します。ターンインジケーターボタンが操 作された時の車両速度に応じて、200~2,000 メート ル(656~6,562 フィート)までの範囲で変化します。



ターンインジケーターの作動中、ターンインジケータ ーを作動させようとしてターンインジケーターボタン を再び押すと、自動解除機能は再度初期化されます。

Setting menu – Language この機能でインストルメントパネルの言語を設定しま す。

- インタラクティブメニューからボタン(1)とボタ • ン (2) を使用して、「Setting menu (設定メニュ ー)」を選択し、「ENTER」 (3) を押します。
- 「Language (言語)」を選択し、「ENTER」(3)を押 • します。



「English、Italiano、Deutsch、Francais、 Nederlands、Espanol」が表示されます。 画面右側には、現在設定されている言語が表示されて います。

ボタン(1)とボタン(2)を使用してスクロールし、希望 する言語を選択することができます。「ENTER」(3)を 押して確定すると、「Back (戻る)」が選択され、もう 一度「ENTER」(3)を押して終了します。



Setting menu – Unità

この機能はインストルメントパネルの表示単位を設定 します。

- インタラクティブメニューからボタン (1) とボタン (2) を使用して、「Setting menu (設定メニュー)」を選択し、「ENTER」 (3) を押します。
- 「Units (単位)」を選択し、「ENTER」(3)を押します。

「Speed (速度)」、「Temperature (温度)」、 「Consumption (燃費)」、「Pressure (圧力)」、「Default (デフォルト)」(ひとつ以上の測定単位が変更されてい る場合のみ)が表示されます。

右側には、選択している項目の現在の設定単位が表示されています。

ボタン(1)とボタン(2)を使用してスクロールし、希望 する項目を選択することができます。「ENTER」(3)を 押して決定します。



速度

速度の単位を設定する場合:

- インタラクティブメニューからボタン (1) とボタン (2) を使用して、「Setting menu (設定メニュー)」を選択し、「ENTER」 (3) を押します。
- 「Units (単位)」を選択し、「ENTER」(3)を押します。
- 「Speed (速度)」を選択し、「ENTER」(3)を押します。

「km/h」、「mph」、「Default」(事前に単位が変更されている場合のみ)が表示されます。

ボタン(1)とボタン(2)を使用してスクロールし、希望 する項目を選択することができます。「ENTER」(3)を 押して決定し、前の画面に戻ります。



Temperature

温度の単位を設定する場合:

- インタラクティブメニューからボタン (1) とボタン (2) を使用して、「Setting menu (設定メニュー)」を選択し、「ENTER」 (3) を押します。
- 「Units (単位)」を選択し、「ENTER」(3)を押します。
- 「Temperature (温度)」を選択し、「ENTER」(3)を 押します。

「°C」、「°F」、「Default」(事前に単位が変更されている場合のみ)が表示されます。

ボタン(1)とボタン(2)を使用してスクロールし、希望 する項目を選択することができます。「ENTER」(3)を 押して決定し、前の画面に戻ります。



Consumption

燃費の単位を設定する場合:

- インタラクティブメニューからボタン (1) とボタン (2) を使用して、「Setting menu (設定メニュー)」を選択し、「ENTER」(3) を押します。
- 「Units (単位)」を選択し、「ENTER」(3)を押します。
- 「Consumption (燃費)」を選択し、「ENTER」(3) を押します。

「l/100」、「km/l」、「mpg UK」、「mpg US」、 「Default」(事前に単位が変更されている場合のみ)が 表示されます。

ボタン(1)とボタン(2)を使用してスクロールし、希望 する項目を選択することができます。「ENTER」(3)を 押して決定し、前の画面に戻ります。



Pressure

圧力の単位を設定する場合:

- インタラクティブメニューからボタン (1) とボタン (2) を使用して、「Setting menu (設定メニュー)」を選択し、「ENTER」 (3) を押します。
- 「Units (単位)」を選択し、「ENTER」(3)を押します。
- 「Pressure (圧力)」を選択し、「ENTER」(3)を押し ます。

「bar」、「psi」、「kPa」、「Default」(事前に単位が変更 されている場合のみ)が表示されます。 ボタン(1)とボタン(2)を使用してスクロールし、希望 する項目を選択することができます。「ENTER」(3)を 押して決定し、前の画面に戻ります。



測定単位の初期設定回復

すべての測定単位、または個別の測定単位を初期設定 に戻します。

すべての測定単位を初期設定に回復する場合:

- インタラクティブメニューからボタン (1) とボタン (2) を使用して、「Setting menu (設定メニュー)」を選択し、「ENTER」(3) を押します。
- 「Units (単位)」を選択し、「ENTER」(3)を押します。
- 表示されていれば「Default (デフォルト)」を選択 し、「ENTER」(3)を押します。「Wait…(お待ちく ださい)」が数秒間表示されてから「Restored (回 復されました)」と表示され、その後「Default (デ フォルト)」の項目がメニュー一覧に表示されなく なります。



個別の測定単位を初期設定に回復する場合:

- インタラクティブメニューからボタン (1) とボタン (2) を使用して、「Setting menu (設定メニュー)」を選択し、「ENTER」 (3) を押します。
- 「Units (単位)」を選択し、「ENTER」(3)を押します。
- 初期設定に戻す項目(例: Consumption)を選択し、「ENTER」(3)を押します。
- 表示されていれば「Default (デフォルト)」を選択 し、「ENTER」(3)を押します。「Wait…(お待ちく ださい)」が数秒間表示されてから「Restored (回 復されました)」と表示され、その後「Default (デ フォルト)」の項目がメニュー一覧に表示されなく なります。



Setting menu – Info

この機能では車両のバッテリー電圧とデジタル表示の エンジン回転数を表示します。

- インタラクティブメニューからボタン (1) とボタン (2) を使用して、「Setting menu (設定メニュー)」を選択し、「ENTER」(3) を押します。
- 「Info」を選択し、「ENTER」(3)を押します。



バッテリーに関する情報とエンジン回転数がデジタル 形式で表示されます。

バッテリー電圧が11.0~11.7Vの場合、もしくは15.0 ~16.0Vの場合は、バッテリーのデータが赤色で点滅 表示されます。

バッテリー電圧が11.0V未満の場合、データの代わり に「LOW」の文字が赤色で点滅します。

バッテリー電圧が16.0Vを超えている場合は、データの代わりに「HIGH」の文字が赤色で点滅します。



この機能については変更はできません。



Ducati Link アプリの接続

Bluetooth コントロールユニットが搭載され、スマー トフォンが有効な Ducati Link アプリと接続されている 場合、インストルメントパネルには該当するアイコン (A) が表示されます。

アイコン(A)の点滅は、Ducati Link アプリがルートを 記録中であることを示しています。

∧ 警告

▲ Ducati は、特に人気のある最新スマートフォン の多くのモデルについてテストを行っていますが、ス マートフォンメーカーが採用する OS や技術の選択は、 Ducati の管理下にあるものではありません。そのた め、すべての市販のスマートフォンおよびそのソフト ウェア、ファームウェアでの動作を保証するものでは ありません。対応するスマートフォンやOSの確認は、 Ducati ウェブサイトをご覧ください。



Ducati Link の設定の保存

この機能では、スマートフォンにある Ducati Link ア プリで行ったバイクの設定を保存することができま す。

以下が必要です。

- Bluetooth を介してスマートフォンをインストル メントパネルと事前にペアリングしている必要が あります (ページ 11)。
- スマートフォンでBluetooth 接続を有効にします。
- ペアリングしたスマートフォンを接続します。
- スマートフォンで Ducati Link 機能を有効にします。

Ducati Link アプリでバイクの設定に変更が加えられた 場合は、アプリの指示に従って、接続されたインスト ルメントパネルに設定を送信します。

次に、インストルメントパネルに Ducati Link アプリ で行った設定を保存するかどうかを尋ねる画面が表示 されます。

ボタン (1) と (2) を使用して、「No」を選択し、ENTER (3) を押して操作を中断するか、または項目「Yes」を 選択し、ENTER (3) を押して続行します。





次に待機画面が表示され、その間に設定が保存されま す(B)。 正常に終了すると、「Successful update(正常に更新さ れました)」のメッセージが数秒間表示され(C)、続い てインストルメントパネルは機能の起動時の前の表示 に戻ります。 設定の保存中にエラーが発生した場合は、「Error」の 文字が数秒間表示され、続いてインストルメントパネ ルは機能の起動時の前の表示に戻ります。	Save configuration from Ducati Link? Wait
	N _{Gear}
	図 218
	Save configuration from Ducati Link?
	Successful update
	N _{Gear}
	図 219

ドゥカティパワーローンチ (DPL)

この機能は、DPI (ドゥカティパワーローンチ)機能を 記動します。

ボタン(4)を押してローンチコントロールメニューに 入ります。この操作は走行速度が5km/h(3mph)以下 の場合にのみ有効です。

ローンチコントロールメニュー内では、ボタン(1)お よび(2)を使用して好みのDPLレベル(1、2、3)を選択 することができます。一方、「ENTER」ボタン(3)を2 秒問押して、選択したレベルを設定します。

● 参考 このメニュー内で10秒間変更が行われなけれ ば、インストルメントパネルは DPL を OFF に設定し、 前の画面に戻ります。

、 参考

OPLメニューに入った時にインストルメントパ ネルがコントロールユニットのエラーを検出した場 合、その時点で起動している表示に関係なく 「Launch Control Error (ローンチコントロールエラー)」 の文字が3秒間点滅し、その後メイン画面に戻ります。





利用可能なローンチがない場合、「No launches available (ローンチ利用不可)」が画面に表示されま す。



● **参考** DTC が「Off」に設定されている場合に DPL ボ タンを押すと、インストルメントパネルには「DTC off DPL not available (DTC Off のため DPL 利用不可)」が5 秒間表示され、その後メイン画面に戻ります。

DPL レベルが設定されると、待機画面が2秒間表示されます(図221)。待機画面の表示中に「ENTER」ボタン(3)を押すと待機フェーズが中断され、インストルメントパネルはメイン画面に戻ります。この場合、 DPL は OFF に設定されます。

続いて "ローンチコントロール" 画面が表示されます (図 222)。

ローンチコントロールが終了するとインストルメント パネルは DPL を OFF に設定し、メイン画面に戻りま す。

ドゥカティ社の DPL 初期設定は OFF に設定されてい ます。



ドゥカティパワーローンチ (DPL) システムは、車両の出力を制御することを目的として、停止状態からの急 発進時にライダーの微妙な操縦を可能にしてくれます。

DPLシステムは3つの介入レベルを基に機能します。各レベルでスタート時のアシストに対して異なる値が設定されています。

下表は、発進時の運転タイプに適したDPL介入レベルを示します。すべてのレベルは標準装備のOEMタイヤに 合わせて最適化されています。

DPL レベル	パフォーマンス	用途
1	High	非常に熟練したライダー向けに最大のパフォーマンスを発揮。シス テムはウィリーおよびリアホイールのスリップを可能にしますが、 これらの現象発生時の速度を抑えます。
2	Medium	熟練ライダー向け。システムはウィリーおよびリアホイールのスリ ップ傾向を軽減するだけでなく、これらの現象が発生した場合には 大幅な介入を行います。
3	Low	すべてのライダー向け。システムはウィリーおよびリアホイールの スリップ傾向を最小限に抑えるだけでなく、これらの現象が発生し た場合には継続的に介入を行います。

A 警告

発進方法

▲ DPLシステムは、路面のグリップが良好な状態の 直線および平坦なルートでのみ使用してください。 DPLシステムは整備された環境またはクローズドサー キット内での使用を考慮しています。このため、安全 上の理由から不適切な場所での使用はしないでください。

発進操作は、主に次の二段階に分けられます。

第一段階は、クラッチを完全に放していない状 態。この状態におて地面に伝達されるトルクは、 クラッチの位置および滑りに依存します。 第二段階は、クラッチを完全に放した状態。この 状態において地面に伝達されるトルクは、エンジンが出力するトルクに依存します。

DPLシステムは停止状態からの発進時の第一段階にエ ンジンから出力されるトルクを自動的に調整してライ ダーをサポートする補助システムです。発進時の理想 のエンジン回転数を維持することで、ライダーは急激 なクラッチ操作ではなく、均一でソフトなクラッチ操 作が可能になります。

エンジントルクは第二段階においても調整されます。 これにより、最大の出力を確保しながらウィリーおよ びリアホイールのスリップを制限します。

クラッチの損傷を避けるため、DPLシステムは連続し て実行可能な発進回数をリアルタイムで算定し、イン ストルメントパネルの専用メニューに表示します。発 進完了ごとにカウントが1減少します。DPLシステム では、車両の走行距離およびエンジン稼動/停止状態 で経過した時間に応じてカウントが1増加します。 発進可能回数がゼロでない限り、ローンチコントロー ルの使用が可能です。



L DPL システムの使用により、エンジンおよびト ランスミッションの機械部品の寿命が短くなる場合が あります。

DPLシステムは、エンジンが動作温度に達した時にの み使用してください。

DPLのローンチコントロールを実行するには、車両が 以下の条件を満たしていなければなりません。

- 走行速度 0 km/h
- 垂直姿勢
- エンジン作動
- DTC ステータス ON

ローンチコントロールのカウントがゼロでない限り、 ライダーはボタン (12) で DPL レベルメニューにアク セスし、インストルメントパネルで希望の DPL レベ ルを選択することが可能です。

レベルを選択したら、ライダーはまずクラッチを引き ます。1速ギアに入れ、スロットルグリップを最大位 置まで完全に開きます。

上記の一連の操作が実行されると、DPLシステムはシ ステムのスタート準備が整ったことを知らせる確認画 面をインストルメントパネルに表示します。

その後、スロットルグリップを完全に開いた状態でク ラッチを徐々に離します。 走行速度が 20 km/h (12.4 mph) を超えた時、インス トルメントパネルの表示は通常機能の画面に戻りま す。ただし、発進の間は選択されている DPL レベルが 常に表示されます。

クラッチが完全に解放された後で以下の条件のいずれ かが検知されると、DPLシステムは OFF になります。

- 走行速度が 120 km/h (74.6 mph) を超えた
- 3速ギアが入れられた

クラッチが完全に解放された後、ライダーが発進操作の中止した場合、すなわちスロットルを閉じて走行速度を5km/h (3.1 mph)未満に減速した場合にも、DPLシステムは OFF になります。

∧ 警告

システムはエンジンからの出力を管理しますが、 クラッチを放す操作は管理しません。クラッチ操作は ユーザーが制御します。

発進段階でクラッチを急激に放すと、車両の最適な動 作を維持できません。また、クラッチ操作に長時間か けすぎると、クラッチが過熱し、クラッチの損傷につ ながるおそれがあります。

∧ 警告

ユーザーの車両上でのポジションがシステムの動作に影響を与える場合があります。

レベルの選択に際しての注意事項

レベル3を選択すると、DPLシステムは発進時のウィ リーおよびリアホイールのスリップ傾向を最小限に抑 えるように加入します。レベル2および1ではシステ ムの介入は少なくなります。

各自の運転に最も適した DPL レベルを見つけるには、 システムを起動してまずレベル3を選択し、システム の特性を理解するために実際に発進します。その後、 最善の介入レベルになるまでレベル2、1の順に試し てください。

標準装備の OEM タイヤ以外のもので、標準装備のタ イヤとはサイズクラスの異なるタイヤやサイズが大き く異なるタイヤを使用する場合は、システムの機能が 影響を受ける可能性があります。



シストシステムとは、より確実で安心な運転を可能に することを目指したメカニズムであり、ライダーが運 転に際し正しく払うべき注意義務に取って代わるもの ではありません。自身の過失だけでなく他者の過失も 防止するため、道路交通法が定める緊急時の回避を可 能にする恒重な運転を心がけてください。

この安全システムは事故予防のためのシステムです。 これらの機能は車両の運転を助け、その制御を簡単で 確実なものにします。車両が走行している路面状況や 道路交通法など各種規制範囲を超えたり、合理的に許 容されるスピードを超えたりするような運転に寄与す るシステムではありません。

警告表示

車両の使用中にユーザーに有用な情報を提供できるように、インストルメントパネルは一連の注意と警告を 管理します。

起動時に通知が存在する場合は、インストルメントパ ネルに警告またはアラームの表示が現れます。最初の 3秒間は大きく表示(A)され、その後小さく表示(B)さ れます。

複数の警告またはアラームが存在する場合は、3秒ご とに一つずつ順番に表示されます。

次の図には、左側にそれぞれの警告の大きい表示、右 側に小さい表示を示しています。



Ice (凍結) C

黄色で表示され、外気温が低いため路面凍結の危険が あることを示します。気温が4°C(39°F)以下になる と作動します。気温が6°C(43°F)まで上がると警告 は解除されます。

∧ 警告

▲▲ この警告は、気温が4°C(39°F)を超えている 場合でも、凍結の可能性がないことを保証するもので はありません。気温が低い時に日陰や橋の上を走行す る際は、特に安全運転を心がけてください。

Low (バッテリー残量低下) (D)

赤色で表示され、バッテリー充電レベルが11.0V以下 に低下していることを示します。

車両を始動できなるおそれがありますので、専用のバ ッテリー充電器で速やかにバッテリーを充電してくだ さい。

Set data (日付の設定)(E)

黄色で表示され、「Setting menu (設定メニュー)」内 の「Date and Time (日付と時間)」機能から日付を入 力する必要があることを示します (ページ 199)。



Rear ABS Off (F)

黄色で表示され、ABSに設定されたレベルがフロント ホイールのみで作用することを示しています。 ABS レベルの変更については、ページ164を参照して ください。 DTC race (G)

黄色で表示され、サーキット用の DTC 設定を使用し ていることを示します。

運転には細心の注意を払ってください。このタイプの 設定はサーキットでのみ使用してください。 DTC レベルの変更については、ページ158を参照して ください。

Low fuel (燃料低下) (H)

黄色で表示され、燃料レベルが低下していることを示 します。この警告には小さい表示はありません。



▶ 車両がリザーブ状態のときに、燃料インジケー ターが「Level」に設定されていると、インジケータ ーは残りの航続距離(キロまたはマイル)を自動的に表 示します。リザーブ状態でなくなると、燃料インジケ ーターは、以前に設定された表示に戻ります。

No key (キー無し) (I)

黄色で表示され、Hands Free システムが車両付近にア クティブキーを感知できないことを示します。

G	DTC race	DTC G
H	Low fuel	
	↓ Î key	
	Key low	
		図 225

Key low (キー電池残量低下) (J)

黄色で表示され、Hands Free アクティブキーの電池が 切れかけていることを示します。できるだけ早く電池 を交換してください。 Front pressure (フロントタイヤ空気圧 高) (K)、 Rear pressure (リアタイヤ空気圧 高) (L) – アクセ サリー

黄色で表示され、該当するタイヤの空気圧が高いこと を示しています。タイヤ空気圧センサーを装備してい る場合にのみ表示されます。

Front pressure (フロントタイヤ空気圧 低) (M)、 Rear pressure (リアタイヤ空気圧 低) (N) – アク セサリー

黄色で表示され、該当するタイヤの空気圧が低下して いることを示します。タイヤ空気圧センサーを装備し ている場合にのみ表示されます。



Front TPMS (O)、Rear TPMS (P) – アクセサリー

黄色で表示され、該当するタイヤ空気圧センサーの電 池が切れかけているため、まもなくタイヤ空気圧デー タが利用できなくなることを示します。 センサーの交換を実施する必要がありますので、でき るだけ早くセンサーの点検を受けてください。 タイヤ空気圧センサーを装備している場合にのみ表示 されます。

Set pressure (Q) – アクセサリー

黄色で表示され、「Setting menu (設定メニュー)」内の「Tyre pressure (タイヤ空気圧)」機能からタイヤの基準空気圧値を入力する必要があることを示します(ページ217)。タイヤ空気圧センサーを装備している場合にのみ表示されます。

Steering lock error (ステアリングロックエラー) (R)

黄色で表示され、Hands Free システムがステアリング ロックを解除できなかったことを示します。



エラー表示

インストルメントパネルは、車両の不具合をリアルタ イムに特定できるように、エラーの警告を管理しま す。

エラーが発生すると、メイン画面に大きい通知 (A) が 赤色で10秒間表示されてから、小さい表示 (B) に変わ ります。

エラーが解決されるまで、通知が表示され続けます。 複数のエラーが存在する場合は、5秒ごとに一つずつ 順番に表示されます。

Traction control error!

このエラーが表示された場合は、トラクションコント ロールにエラーが発生しているため、Ducati正規サー ビスセンターにご連絡いただく必要があることを示し ています。メイン画面 (図 228) および「Turn by turn」 画面 (利用できる場合、ページ 137 参照) (図 229)。



ABS error!

このエラーが表示された場合は、トラクションコント ロールにエラーが発生しているため、Ducati 正規サー ビスセンターにご連絡いただく必要があることを示し ています。メイン画面(図 230)および「Turn by turn」 画面(利用できる場合、ページ 137 参照)(図 231)。



主な整備作業とメンテナンス

クーラントレベルの点検および補充

「メンテナンスプログラム」表で指定される間隔に従って、レベルを点検します。

水平な場所に車両を垂直に停車させます。

クーラントレベルが車両右側のリザーバータンク横に記載されている MIN および MAX の目盛り間にあることを確認します。

クーラントレベルが MIN より下の場合は補充します。

補充が必要な場合は、不凍液 ENI Agip Permanent Spezial を薄めずに使用し、MAX レベルになるまで補 充します。

上記の混合液を使用することで最良のコンディション を保つ事ができます (-20°C/-4°Fから凍結し始めま す)。

冷却回路の容量: 2,065 リットル (0.45 UK ガロン)

A 警告 クーラントレベルの調整は、Ducati 正規ディー ラーまたはサービスセンターで実施してください。



警告 この作業はエンジンが冷えた状態で実施します。 エンジンが熱い状態で作業をおこなうと、クーラント や蒸気が吹き出して深刻なやけどを負うおそれがあり ます。

クラッチ/ブレーキフルードレベルの点検 フルードのレベルは、絶対に各リザーバータンクの MIN 目盛以下になってはいけません。 フロントブレーキフルードタンクおよびクラッチフル ードタンクを (図 233)に示します。


リアブレーキフルードタンクを(図 234)に示します。 フルードレベルが下がりすぎると、回路内にエアが混 入し、システムの作動に悪影響を及ぼします。 また、「メンテナンスプログラム」表に指定されてい るブレーキ / クラッチフルード補充および交換は、 Ducati正規ディーラーまたはサービスセンターにご依 頼ください。

ブレーキシステム

ブレーキパッドが磨耗していないのにブレーキレバ ー、ブレーキペダルに過度の遊びがある場合は、 Ducati正規ディーラーまたはサービスセンターにご連 絡いただき、システムの点検とエア抜きを行ってくだ さい。

▲ 警告

ブレーキ/クラッチフルードはプラスチック製部品や塗装部分に損傷を与えますので、これらの部分にフルードが触れないよう注意してください。これらの液体は腐食性ですの損傷やケガを引き起こすおそれがあります。異なる品質のオイルを混ぜないでください。ガスケットの状態を点検してください。

クラッチシステム

クラッチレバーに過度の遊びがあり、ギアチェンジの際にエンジンがノッキングしたり止まったりする時



は、システム内にエアが混入している事があります。 システムの点検とエア抜きを行う必要があるため、 Ducati正規ディーラーまたはサービスセンターにご連 絡ください。

磨耗材が消耗すると上昇する傾向があります。規定レ ベルを超えないようにしてください (最低レベルの3 mm (0.12 in) 上)。

ブレーキパッドの摩耗点検

キャリパー間の開口部からパッドの摩耗を点検しま す。

どちらか片方でもパッドの厚さが約1mm(0.04in)に なっている場合は、両方のパッドを交換します。

■警告

▶ パッドが消耗しすぎると、ブレーキディスクと 金属製サポートが接触することでブレーキ性能、ディ スクの正常な状態、またライダーの安全を損なうおそ れがあります。

重要

ブレーキパッドの交換は、Ducati 正規ディーラ ーまたはサービスセンターで実施してください。



バッテリーの充電

バッテリーを充電する際は、バッテリーを車両から取 り外してください。

重要 バッテリーの取り外しは、必ずDucati正規ディ ーラーまたはサービスセンターで実施してください。

バッテリーの取り外し

バッテリーで作業を行うには、スクリュー(1)を取り 外し、タンクカバーの後部を慎重に持ち上げます。





バッテリー (2) はフューエルタンク下に設置されてい ます。

バッテリー(2)の接続を外して取り外すには、タンク を少し持ち上げます。タンクの接続は外しません。 伸縮性ベルト(3)を取り外します。

所定の収納位置からバッテリー(2)を抜き取り、2本の 電極のスクリューを緩めて外します。スクリューは必 ずマイナス端子(-)を先に外してください。

陽極ケーブル (4) をプラス極 (+) から、陰極ケーブル (5) をマイナス極 (-) から外します。

▲ 警告

▲▲】バッテリーは爆発性のガスを発生させます。熱 源の近くに保管しないで下さい。

▲ 警告

▲ バッテリーはお子様の手の届かないところに置いてください。

端子に充電器のコンダクターを接続します。赤い端子 がプラス (+)、黒い端子がマイナス (-) です。

▲ 重要

バッテリーを充電器に接続する前に充電器の電源を入れないでください。接続する際に火花が発生し、セル内の可燃性ガスに引火する恐れがあります。 接続は常に赤のプラス (+) 端子から行ってください。



バッテリーの取り付け

陽極ケーブル(4)をバッテリーのプラス極(+)に、陰極 ケーブル(5)をバッテリーのマイナス極(-)に接続し、 電極のスクリューを差し込みます。

電極の2本のスクリューを締め付け、伸縮性ベルト(3) でバッテリーを固定します。

タンクカバーを取り付けるには、まずピン(6)を慎重 に挿入し、カバーの後部を押し下げて閉じます。 先ほど取り外したスクリュー(1、図237)でカバーを 締め付けます。

▲ 警告

▲▲ 車両のバッテリーが完全に放電しているために 始動が不可能な場合、外部エンジンスターターや外部 バッテリーを並列に接続してバイクを始動することは 許可されていません。

実際、充電システムは、完全に放電したバッテリーで エンジン電子機器(点火/噴射システムを含む)への正し い供給電圧を保証するようには設計されていません。 これは、機能的に重大な問題を引き起こす可能性があ ります。

バイクを使用する前に、バッテリーの交換または充電 を行い、点検してください。







トランスミッションチェーン張力の点検

▲ 重要 チェーン張力の調整は、Ducati 正規ディーラー またはサービスセンターで実施してください。

リアホイールを回転させ、チェーンが最も張る位置を 探します。

サイドスタンドで車両を支えて駐車します。

チェーンの測定位置を指で下に押して放します。チェ ーンピンの中心と、ヒートガードに隣接するスイング アームのアルミニウムとの間の距離(A)を測定します。 測定値は、A = 32~34 mm (1.25~1.33 in)。

重要

この手順は、納車時と同じ標準設定の車両に対 してのみ有効です。





▲ 重要 チェーンの張りが不適切だとトランスミッショ ン部品の磨耗を早めます。

∧ 重要

チェーンが常に最高レベルの性能を維持し、か つ長持ちするようにするため、チェーンの洗浄、チェ ック、張りに関する情報に従うことを推奨します。



安全な走行状態を維持するには、スイングアー ムのスクリュー(1)の正しい締め付けが重要です。



チェーンの潤滑

▲ 重要

LA ドライブチェーンの清掃は、Ducati 正規ディー ラーまたはサービスセンターで実施してください。

∧ 警告

この作業は、車両のスイッチを切り、乾いた平 坦な場所にスタンドで駐車した状態で実施してください。

清掃

チェーンの潤滑を行う前に、チェーンを正しく洗浄 し、清掃することが重要です。

チェーンの清掃は、その寿命を伸ばすために非常に重要なことです。チェーン上に泥や土、砂、その他一般的な汚れが見られる場合は、頑固な汚れをまず湿らせた柔らかい布(1)でやわらかくしてからウォータージェットで取り除き、その後すぐに30cm(11.81インチ)以上離れたところから圧縮空気で乾燥させてください。

チェーンの点検

本車両には、泥などの侵入を防ぎ、潤滑状態を長く保 つ0リングガスケット付きチェーンが装着されていま す。



指定箇所 (2) のリンクを点検して、チェーンの摩耗状 チェーンスライダーの点検 能を確認します。

■警告

■ 蒸気やガソリン、溶剤、硬いブラシやその他、0 リングを傷つけるものは使用しないでください。さら にバッテリー雷解液との接触を避けてください。図の ように、リンクに小さなひび割れができるおそれがあ ります。

警告

◆●特にバイクをオフロードで使用する場合は、チ ェーンガイドスライダーとの接触により、リンクが過 度に摩耗することがあります。摩擦によりチェーンが 過熱し、チェーンの熱処理が損なわれ、その結果特に リンクがもろくなるおそれがあります。

チェーンスライダー(3)の摩耗状態を確認し、必要な 場合には、Ducati正規ディーラーまたはサービスセン ターにご連絡ください。

チェーン張力の点検

「ドライブチェーン張力の点検」の記載に従って、チ ェーン張力(4)を確認してください。

チェーン張力の調整は、Ducati正規ディーラーまたは サービスセンターで実施してください。

潤滑システム

査要 ドライブチェーンの清掃は、Ducati 正規ディー ラーまたはサービスセンターで実施してください。

警告

潤滑には SHELL Advance Chain を使用してくだ さい。規定以外の潤滑剤を使用するとOリングや、そ れに伴ってトランスミッションシステム内部を損傷す ることがあります。

チェーンの潤滑(5)は、新しい潤滑剤がリンク間の内 外に染み込み、保護作用がより効果的に発揮されるよ う、バイクの使用後、車両が冷えるのを待たずに行っ てください。

リアパドックスタンドに車両を駐車します。リアホイ ールを進行方向とは逆の方向に速く回転させてくださ い。



チェーン内部のリンクの内側と外側に、スプロケット とのかみ合わせの直前の箇所 (2) で、潤滑剤 (1) のジ ェットを噴射します。

遠心力によりスプレーの中身が液状になり、潤滑剤が ピンとブッシュの間の作動部分に行き渡り、完璧な潤 滑を保証します。

潤滑剤のジェットをチェーンの中央部(5)に配置して 作業を繰り返し、図のようにニードルベアリング(4) および外側のプレート(6)を潤滑します。





潤滑の終了後10~15分待ち、チェーンの内側と外側 表面に潤滑剤を行き渡らせ、その後余分な潤滑剤を布 でふき取ります。

▲ 重要

▲ チェーンの潤滑後、すぐにバイクを使用しない でください。潤滑の直後は潤滑剤がまだ流れやすく、 外側に向かって飛び散り、後輪やライダーフットペグ を汚す可能性があります。

重要 チェーンのチェックを頻繁に行い、プログラム された表に従って、少なくとも1000 km (621 マイル) 毎に行ってください。外気温度が高い (40°C) 土地で の使用時、または長距離におよぶ高速道路での走行の 後は、より頻繁 (約 400 km (248 マイル) 毎) に潤滑を行 ってください。



ヘッドライトの光軸調整

正しいタイヤ空気圧に調整し、乗員1名がシートに乗 った状態で、壁面またはスクリーンの前10メートル (32.8 ft)の場所で車両を縦軸に対して垂直に立て、へ ッドライトが正しい向きになっていることを確認しま す。壁にヘッドランプの中心と同じ高さで水平に線を 引き、また車体の縦軸に一致する垂直線も引きます。 この点検は薄暗い場所で行ってください。

ロービームを点灯します。

光の照射領域の高さ(暗い部分と照射部分との境界の 上限)が、地上からヘッドランプの中心までの高さの 9/10以下でなければなりません。



この方法は、光軸の高さに関するイタリアの規 則に準拠したものです。車両を使用する国、地域の法 律に従い光軸調整を行ってください。



垂直方向のヘッドライト光軸調整はスクリュー(1)を 操作して行います。

▲ **警告** 雨天時または洗車後に車両を使用する際は、ラ ンプレンズが曇っている場合があります。レンズ内の 結露はランプを点灯すると短時間で消えます。



リアビューミラーの調整

ポイント(A)を押しながらミラーを手動で調整します。



タイヤ

タイヤの種類とタイヤ空気圧については、「テクニカ ル仕様」セクションの「タイヤ」を参照してください。

タイヤの空気圧は外気温度や高度によっても変化しま す。

高度の高い場所や気温差のある場所を走行する場合 は、毎回点検と調整を行ってください。

▲ 警告

▲▲ タイヤの空気圧はタイヤ冷間時に測定してください。フロントリムがダメージを受けないように、悪路を走行する時はタイヤの空気圧を 0.2~0.3 bar (2.9~4.35 PSI) 上げてください。

タイヤの修理、交換(チューブレス)

タイヤに穴が開いた場合、チューブレスタイヤは空気 の減り方が遅いため、気付くまでに時間がかかること があります。タイヤの空気圧が下がってきた場合は、 パンクの可能性をチェックします。



▲ パンクしたタイヤは交換してください。交換す る際は、標準装備タイヤと同じメーカー、タイプを指 定してください。走行中のエア漏れを防ぐため、タイ ヤのバルブキャップがしっかり締まっていることを確 認してください。チューブタイプのタイヤは絶対に装 着しないでください。突然タイヤが破裂し、ライダ ー、パッセンジャーに重大な危険を及ぼすおそれがあ ります。

タイヤ交換の後には、必ずホイールバランスの点検を 行ってください。

 警告 ホイールのバランスウェイトを外したり、移動 させたりしないでください。

参考 タイヤの交換ではホイールを正しく着脱することが重要です。タイヤ交換は、Ducati正規ディーラーまたはサービスセンターで実施してください。ホイールにはセンサー、フォニックホイールなどのABSシステム部品が装着されており、特別の調整が必要になります。

タイヤの摩耗限度

タイヤのトレッド面が一番摩耗している箇所 (S、図 252)の溝の深さを測定します。溝の深さは 2 mm (0.08 in)以上でなければならず、また現地法で定 めれた規定値以下であってはなりません。

▲ 重要

▲▲ タイヤは定期的に点検し、特に側面に傷やヒビ がないか、突起、広範囲のシミ、内部の損傷を表すよ うな箇所がないかチェックしてください。損傷が著し い場合はタイヤを交換してください。

トレッドに入り込んだ石や異物は取り除いてください。



エンジンオイルレベルの点検

エンジンオイルの量は、クラッチカバーにある点検窓 (1)から見ることができます。

オイル液面は、点検窓の横に指示された目盛の間にな ければなりません。オイル量が不足している場合は、 エンジンオイルを補充してください。

ドゥカティ社規定オイルは SAE 15W-50/JASO MA2の みで、推奨オイルは Shell Advance 4T Ultra 15W-50 (JASO: MA2、API: SN) です。

フィラーキャップ(2)を外し、指定オイルを規定のレベルまで補充してください。プラグを取り付けます。

∧ 警告

▲▲ エンジンオイルとオイルフィルターの交換は、 本冊子の「メンテナンスプログラム」に記載されてい る定期点検表に従い、Ducati正規ディーラーまたはサ ービスセンターで実施してください。

オイルレベルの正確な点検を実施するには、以下に記載する作業をよく読んで指示に従ってください。 1)オイルレベルの点検はエンジンを切ってから約15分後、エンジンが熱い状態で実施してください。 2)エンジンを停止し、オイルが完全にオイルパンに戻るまで10~15分待ちます。

3) 平坦な場所に両方の車輪を地面に着け、直立に駐車 します。



4) この時点で、エンジンオイル点検窓からオイルレベルを点検します。

5)オイルレベルが MIN と MAX 目盛りの中央より下で あれば、MAX 目盛りまでオイルを補充してください。

MAX 目盛りは絶対に超えないようにしてください。

▲ 警告

可変バルブ機構を備える車両では、エンジンを 停止した時に一定量のエンジンオイルがヘッドに滞留 することがあり、完全にオイルパンに流れるまでにあ る程度の時間がかかります。これによりオイルレベル を正しく測定できないことがあります。

オイルに関する推奨事項

以下を満たすオイルの仕様が推奨されます。

- 粘度分類 SAE 15W-50
- API 規格:SN
- JASO 規格:MA2。

SAE 15W-50 は英数字のコード番号で、粘度を基にオ イルの分類を特定し、Wで分けられた2つの数字であ らわされます。最初の数字は低温でのオイルの粘度を 表し、二番目の数字は高温での粘度を表します。API (米国での分類) および JASO (日本標準) は、オイルが有 する特徴を表します。

車両の清掃

の参考

塗装部分と金属部分の本来の艶を長期間保つため、使用状態や走行する道路の状態に合わせて、定期的に車両の清掃、洗車を行ってください。強力な洗剤や溶剤の使用は避け、可能であれば生分解性の専用洗剤を使用してください。

プレキシガラス部分やシートのお手入れには、水と中 性洗剤を使用してください。

アルミニウム製部品は定期的に手作業で清掃してくだ さい。研磨剤や水酸化ナトリウムが含まれていないア ルミニウム専用洗剤を使用してください。

◎参考

研磨材付きスポンジやスチールウールは使用せず、柔らかい布のみを使用してください。

+分なメンテナンスが行われていない車両は保証の対 象になりません。



▲▲ 走行直後のボディがまだ熱い状態にあるときは、 水染み等を防ぐため洗車は行わないでください。 洗車には温水ジェットや高圧洗浄機を使用しないでく ださい。

洗浄機の使用は、フォーク、ホイールハブ、電装シス テム、フォークガスケット、エアインテーク、エキゾ ーストサイレンサーの故障や不具合、ランプ内部の結 露(くもり)を引き起こし、結果として車両の安全性を 損ねるおそれがあります。

エンジンに著しい汚れや油脂汚れが見られる場合は、 脱脂剤を使用して洗浄してください。その際、トラン スミッション系統(チェーン、フロント/リアスプロケ ット等)に脱脂剤が付着しないように注意してください。

車両をぬるま湯で良くすすぎ、表面全体をセーム革で 拭いて乾かします。

▲ 洗車後は、ブレーキ性能が低下することがあり ます。ブレーキディスクには絶対にグリースや潤滑剤 を塗布しないでください。ブレーキ性能が失われるお それがあります。ディスクは非油性の溶剤で清掃して ください。



【上】洗浄、雨、湿気などにより、ヘッドランプレンズにくもりが生じることがあります。レンズ内の結露はランプを点灯すると短時間で消えます。

ABSシステムが効率よく作動するように、フォニック ホイールを入念に清掃してください。ホイールやセン サーを傷めますので、強力な洗剤や溶剤の使用は避け てください。

▲ 警告

インストルメントパネルのクリアカバーにオイルや燃料が直接付着しないようにしてください。シミや損傷の原因となり情報を読み取りにくくなるおそれがあります。この部分の清掃にはアルコール系洗剤、溶剤や研磨剤入りの洗剤を使用しないでください。表面の硬いザラついたスポンジや布はキズが付くおそれがありますので使用しないでください。

ホイールリムにはアルミニウム加工が施されています ので、清掃には十分に注意してください。車両を使用 するたびに、ホイールリムを清掃し、乾燥させてくだ さい。



▲ サイドバッグのお手入れは、中性洗剤と柔らか い布を使用し、温水で清掃してください。ファスナー などの留め金類は石鹸と柔らかいブラシを用いて清掃 し、きれいな水ですすいでください。刺激の強い洗剤 や非常に硬い道具などは使用しないでください。ファ スナーが開きにくい場合は、少量のタルクをはたい て、滑らせることもできます。

重要 ドライブチェーンの清掃や潤滑は、「ドライブチ ェーンの潤滑」を参照してください。

▲ 重要

▲▲ 複合コンポーネント、特に高温用途に設計され た構造部品(例:スイングアーム)は、その性質上、経 年変化や、天候、熱源への曝露によりマトリックスの 色が変化します。したがって、これらのコンポーネン トは時間の経過とともに色や外観が変化することがあ り、これらの変更は、材料や製品、コンポーネントの 不適合や劣化を示すものではありません。また、そ のような変化は、外観上の欠陥(マテリアルの固有の 特性)と見なされず、構造的な欠陥(構成要素の機能を 絶対に損なうことなく)とは見なされません。

長期間の保管

車両を長期間使用しない場合は、保管する前に以下の 作業を行うようお薦めします。

- 車両を清掃します。
- 車両をスタンドに立てかけて停車します。

1ヶ月以上車両を使用しなかった場合には、バッテリ ーの点検を実施し、必要であればバッテリーの充電ま たは交換を行ってください。

結露を防止し塗装を保護するため、車体をカバーで覆 います。

車体カバーは Ducati Performance にて取り扱ってお ります。

重要注意事項

国によっては (フランス、ドイツ、イギリス、スイス 等) 排気ガス、騒音規制の基準を設けている場合があ ります。

法律で義務付けられている定期点検を実施し、交換が 必要な部品については各国の規制に適合する Ducati 純正パーツと交換してください。

車載されている様々な電子コンポーネントには、車両の状態、イベント、故障に関する技術情報を一時的または永続的に保存するデータメモリがあります。

通常、これらの情報は、ひとつのコンポーネント、モ ジュール、システム、または環境の状態を記録してい ます。

- システムコンポーネントの動作状態(例:排出ガス 制御システム)
- 車両と個別コンポーネントの状態のメッセージ (例:車輪回転速度、エンジン回転数、挿入ギアな ど)
- システムの重要コンポーネントの不具合と故障 (例:ライト、ブレーキなど)
- 特定の運転状況での車両レスポンス(例:トラクションコントロールシステムなど)
- 環境条件(例:気温など)

これらのデータは技術的な性質のものであり、故障を 特定・修正して、車両の機能を最適化するために使用 されます。

修理、メンテナンス作業、保証対象作業、品質保証な どのサービスを実施する際、アシスタンスネットワー ク(製造メーカーを含む)のスタッフは、特別な診断ツ ールを使用して、イベントや故障データメモリからこ れらの技術情報を読み取ることができます。故障が解 消されれば、故障メモリの情報を徐々に消去または上 書きすることができます。

車両データは、お客様から要請されたサービスや契約 に基づいて車両に実施されるサービスの際に収集され ます。

これらのサービス環境において、お客様の個人情報 は、サポートの効率を高めるという Ducatiの正当な 利益に基づき、また最終的な法的義務(例:修理・メ ンテナンスに関する情報義務)を果たすために、現行の 個人データ保護規則に従って取り扱われます。必要に 応じて、個人データの読み取りが行われ、車両識別番 号と併せて使用されます。

当社のコントロールユニットが位置情報データを収集 することはありません。

車両の運搬

別の車でモーターサイクルを運搬する前に、安全に関する以下の指示に従ってください。

- 確実に固定されていない物やアクセサリーを車両 から取り外してください。
- 2) 運搬に使用する車に対して真っすぐになるように 前輪を進行方向に向けて配置し、前輪が動かない ように適切に固定してください。
- 3) ギアを1速に入れてください。
- 4) 固定用ベルトを使用してください。固定用ベルト は硬い部品(フレームなど)の位置で固定するよう にし、ハンドルバー(またはハーフハンドルバー、 装備に応じる)や破損する危険のある部品(グリッ プ、リアビューミラーなど)には取り付けないで ください。
- ベルトやロープが車両の塗装部品をこすらないように取り付けてください。
- 6) 運搬中に路面からの振動に対する車両の動きが少なくなるように、可能であれば、サスペンションを部分的に圧縮された位置に設定してください。

ロープをハンドルバーに固定しないでください。



メンテナンスプログラム

メンテナンスプログラム: ディーラーでおこなうメンテナンス



ション、ブレーキシステム、エアフィルター等の部品の摩耗を早める可能性があります。エアフィルターが汚 れていると、エンジンが損傷するおそれがあります。そのため規定されている定期点検の間隔より早く、定 期点検や摩耗しやすい部品の交換が必要な場合があります。

Annual Service 🖽				
Valve Check 🛩]	
Oil Service 🏷				
Oil Service 1000				
DDS 3.0 による不具合メモリーの読み取り、DSC から技術アップデートとリコールキャン ペーンの有無の確認	•	•	•	•
エンジンオイルおよびフィルターの交換	•	•		24
エアフィルターの点検と清掃		•		
エアフィルターの交換	30,000km / 18,000mi ごと			

Annual Service 🖽				
Valve Ch	eck	بر]
Oil Service	ġ			
Oil Service 1000				
バルブクリアランスの点検と調整			•	
スパークプラグの交換			•	
クーラントの交換			•	48
フロントフォークオイルの交換 45,(27,00		45,00 7,000	100km / 0mi ごと	
フロントフォーク、リアショックアブソーバーのシーリング部品の目視点検	•	•		•
ブレーキ / クラッチフルードレベルの点検	•	•		•
ブレーキ/クラッチフルードの交換				24
フロント / リアブレーキパッドおよびディスクの摩耗点検必要な場合は交換		•		•
ブレーキキャリパーのスクリュー、フロント/リアブレーキディスクのスクリュー締め付け 点検		•		•
フロント、リアホイールナットの締め付け、リアスプロケットナットの締め付け点検		•		•
エンジン、スイングアーム、リアショックアブソーバーへのフレーム固定の締め付け点検			•	
フロント / リアホイールハブベアリングの点検、ステアリングチューブベアリングの遊び 点検		•		•

Annual Service 🖽				
Valve Check 🛩				
Oil Service	Ċ			
Oil Service 1000				
リアスプロケットのクッシュドライブダンパー点検、リアホイールシャフトの潤滑	<u>:</u> 18	30,00 3,000)0km)mi ご	/ と
チェーン、リアスプロケット、フロントスプロケットの摩耗点検、チェーン張力点検、フ アイナルドライブチェーンの潤滑と伸び点検伸び測定値:(cm)				
● 参考 ファイナルドライブチェーンキットは、走行距離 20,000km/12,000mi を超える前に 交換してください。	•	•		•
サイドスタンドの作動、締め付け点検	•	•		•
目視できるすべてのカバーやフレキシブルホース (燃料供給、ブレーキ、クラッチ、冷却シ ステムのフレキシブルホース、ブリーザーホース、ドレンホースなど) に亀裂や漏れなど がなく、正しく取り回されていることを点検する	•	•		•
リアブレーキレバーの遊び点検	•	•		•
ハンドルレバー、ペダルコマンドの潤滑		•		•
 タイヤ空気圧、磨耗点検	•	•		•
電気安全装置の作動点検(サンドスタンドとクラッチセンサー、フロント/リアブレーキス イッチ、エンジン停止スイッチ、ギア/ニュートラルセンサー)	•	•		•

Annual Service 🖽				
Valve Check 🛩]	
Oil Service 🗠				
Oil Service 1000				
ランプ類、ターンインジケーター、警告ホーン、コマンド類の動作点検	•	•		•
安全装置(ABS、DTC、ACC、BSD、VHCなど)、エレクトリックファン、アイドリングの機 能点検を兼ねた路上での走行テスト	•	•	•	•
クーラントレベルの目視点検、回路の密閉状態の点検	•	•	•	•
車両のソフトクリーニング、DDS 3.0 による定期点検の登録とインストルメントパネルの サービス警告灯のリセット、定期点検実施の車載書類 (サービスブック) への記入 (該当する 場合)	•	•	٠	•

Oil Service 1000 の点検は、納車後 1,000 km/600 mi 走行時点、または 6 カ月後に実施されます。 Oil Service ☆ 点検は 15,000 km/9,000 mi 走行ごと、または 24 カ月ごとに実施します。 Valve Check ← の点検は、60,000 km/36,000 mi ごとに実施します。 Annual Service 曲 は 12 カ月ごとに実施します。

メンテナンスプログラム:お客様がおこなうメンテナンス

▲ 重要

▲ ぬかるみや乾燥したほこりっぽい環境など過酷な状況でモーターサイクルを使用すると、トランスミッション、ブレーキシステム、エアフィルター等の部品の摩耗を早める可能性があります。エアフィルターが汚れていると、エンジンが損傷するおそれがあります。そのため規定されている定期点検の間隔より早く、定期点検や摩耗しやすい部品の交換が必要な場合があります。

	Km x1000	1
メンテナンス項目/作業内容 (km/mile 毎、または経過時間 *)	マイル x1000	0.6
	月	6
エンジンオイルレベルの点検		٠
ブレーキ / クラッチフルードレベルの点検		٠
タイヤ空気圧、磨耗点検		٠
チェーン張力の点検と潤滑		٠
ブレーキパッドの点検必要であれば、ディーラーにて交換してください。		٠

* 走行距離 (km、mi) または経過時間 (月) のうち、どちらか先に到達した時点で点検を実施してください。

テクニカル仕様

重量

車両重量 (燃料 90% を含むすべての液体類を装備 -93/93/CE ガイドラインに準拠): 235 kg (518 lb) 車両重量 (燃料を除く): 223 kg (491 lb) 車両重量 (液体類、バッテリーを含まない): 210 kg (462 lb) 車両総重量 (最大負荷重量): 455 kg (1003 lb)

▲ 警告

▲▲ 重量制限を遵守しない場合、操縦性と性能の低 下を招き、車両のコントロールを失う原因となりま す。 サイズ



试验

ואישו		
補給	タイプ	
燃料タンク、リザーブ 4 リットル (0.88 UK ガロン) を含む	オクタン価が 95 以上の無鉛ガソリン SHELL V-Power を使用してください。	. 20 リットル (4.39 UK ガ ロン)
エンジンクランクケースおよびフィルタ ー	Ducati は SAE 15W-50/JASO MA2 のオイル のみの使用を規定しています。推奨オイル は化学合成油 Shell Advance 4T Ultra 15W-50 です (JA - SO: MA2、API: SN) で す。	4.9 リットル (1.07 UK ガ ロン) (エンジン乾燥状 態) - 4.4 リットル (0.96 UK ガロン) (フィルター 交換を伴う定期点検時)
フロント/リアブレーキシステム、クラッ チ	DOT 4	-
電極保護液	配線用スプレ	-
フロントフォーク	SHELL Donax TA	755 cc (46.07 in) (各レッ グ)
冷却システム 	不凍液 ENI Agip Permanent Spezial (薄めず に使用)	「2.065 リットル (0.45 UK ガロン)

▲ 重要 燃料、潤滑液等には絶対に添加剤を加えないでください。このような燃料を使用すると、エンジンや車両 の部品に重大な損傷をきたすおそれがあります。



A 警告 この車両にはエタノール含量が 10% 以下の燃料 (E10) のみ使用することができます。

エタノール含量が10%以上のガソリンを使用することは禁じられています。こうした燃料を使用するとエン ジンや車両の部品に重大な損傷をきたす恐れがあります。エタノール含量が10%以上のガソリンを使用した 場合は保証の対象外になります。

エンジン

V4Granturismo:90°V型4気筒、逆回転クランクシャフト、シリンダーごとに4バルブ、水冷式

ボア:83 mm (3.26 in)

ストローク: 53.5 mm (2.10 in)

総排気量:1158 cm3 (70.66 in3)

圧縮比:14.0±0.5:1

クランクシャフト最高出力、規制 (EU) No. 134/2014 添付 X、kW /HP:

123.6 kW / 168 HP / 10750 rpm

クランクシャフト最高出力、規制 (EU) No. 134/2014 添付 X、kW /HP:

84 kW / 114.2 HP / 8750 rpm (ベルギーバージョン)

クランクシャフト最大トルク、規制(EU) No. 134/2014 添付 X:

125.7 Nm / 12.8 Kgm / 7500 rpm

クランクシャフト最大トルク、規制(EU) No. 134/2014 添付 X:

114 Nm / 11.6 Kgm / 5750 rpm (ベルギーバージョン)

最大回転数:11500 rpm



▲▲ 走行中いかなる状況においても、決して最高回 転数を超えてはいけません。



記載されている出力/トルクデータは、基準適合 規則に従って静的テストベンチを使用して測定された もので、認証時に測定され車両登録証に記載されてい るデータと同じになります。

燃費:6.4 l/100 km 排出量:CO2:154 g/km 適合規格:Euro 5
性能データ

各ギアにおける最高速度は、決められた慣らし期間を 正しく守り、適切な定期点検整備を受けた場合にのみ 出すことができるようになります。

▲ 重要

▲▲ これらの条件が守られなかった結果としてのエ ンジンの損傷や寿命の短縮について、Ducatiモーター ホールディング社は一切責任を負うものではありません。

スパークプラグ

メーカー:NGK タイプ:SILMDR9A-8GS

燃料供給

BOSCH 製エレクトロニックインジェクションシステム。 電子制御式間接噴射タイプ:誘導放電型 スロットルボディタイプ:フルライドバイワイヤシス テムを備えた楕円タイプ スロットルボディ直径:46 mm (1.81 in) シリンダーごとのインジェクター数:1 ガソリン燃料:95-98 RON



この車両にはエタノール含量が10%以下の燃料 (E10)のみ使用することができます。エタノール含量 が10%以上のガソリンを使用することは禁止されています。このような燃料を使用するとエンジンや車両の部品に重大な損傷をきたすおそれがあります。エタノール含量が10%以上のガソリンを使用すると保証の対象外になります。

ブレーキ フロントブレーキ 穴付きセミフローティングダブルディスク ブレーキキャリパー: Stylema M4.30 モノブロックラ ジアルマウントキャリパー、4ピストン、Bosch コー ナリング ABS ブレーキキャリパーメーカー: BRFMBO キャリパーピストン径:30 mm (1.18 in) キャリパーのピストン数:4 ディスク径:330mm (12.99 in) ディスク厚:5mm (0.19 in) ディスク厚の摩耗限界:4.5 mm (0.17 in) ディスクブレーキング面積: 303.6 cm³ (18.52 in³) ディスクのブレーキ面材質:ステンレススチール ディスクハウジング材質:里塗装アルミニウム 右側ハンドルレバーによる油圧コントロール ブレーキレバー調整:スクリュー式 ブレーキレバータイプ:アジャスタブル、ラジアル ブレーキパッドメーカー:TOSHIBA ブレーキパッド材質:BRM 10A HH。 ブレーキポンプ: PR16/19 ブレーキレバーポンプシリンダー径:16 mm (0.62 in)

リアブレーキ

穴あき固定ディスク、スチール製 ブレーキキャリパー:フローティングキャリパー、2 ピストン、[コーナリング ABS] ブレーキキャリパーメーカー:BREMBO キャリパーピストン径:30 mm/32 mm (1.18/1.25 in) ディスク径:265 mm (10.43 in) ディスク厚:6 mm (0.23 in) ディスク厚の摩耗限界:5.5 mm (0.21 in) ディスクブレーキング面積:240.4 cm³ (14.67 in³) 車体右側ペダルによる油圧コントロール ブレーキパッドメーカー:TOSHIBA ブレーキパッド材質:TT 2182 FF ブレーキポンプ:PS13 ブレーキレバーポンプシリンダー径:13 mm (0.51 in)

A 警告 ブレーキフルードは腐食性があります。

万一目に入ったり肌に触れたりした場合は、流水でし っかりと洗い流してください。

トランスミッション

湿式多板クラッチ、セルフサーボ機構およびスリッパ ークラッチ機構付き

エンジンとギアボックスメインシャフト間の駆動伝 達、減速比 1.80:1 エンジンスプロケット/クラッチスプロケット比: 30/54

ドゥカティクイックシフト (DQS) UP/DOWN EVOを備 えた 6 速ギア

ギアスプロケット/リアスプロケット比:16/43 変速比:

1速13/40

2速16/36

3 速 19/34

4 速 21/31

5 速 23/29

c \to z = 20, 27

6速25/27

チェーンによるギアボックスとリアホイール間の駆動 伝達

メーカー:DID

リンク^数:126

▲ 重要

▲▲ 上記のギア比は認可時の値ですので、いかなる ことがあっても変更してはいけません。

本車両の競技用仕様への変更をご希望のお客様には、 Ducatiモーターホールディング社から特別なギア比に 関する情報をご提供することが可能です。Ducati正規

ディーラーまたはサービスセンターにお問い合わせく ださい。

∧ 警告

▲ リアスプロケットの交換は、Ducati 正規ディー ラーまたはサービスセンターにお問い合わせくださ い。

この部品の誤った交換は、ライダーおよびパッセンジ ャーの安全に深刻な危険をもたらし、車両に修復不能 な損傷を与える恐れがあります。

フレーム

アルミニウム合金製モノコック キャスター角:26° ステアリングアングル:左側 34.5° / 右側 34.5° トレール:112 mm (4.40 in)

ホイール フロント

軽合金鋳造リム 寸法:3.50"x17"

リア

軽合金鋳造リム 寸法:8.00"x17"

タイヤ

フロントタイヤ空気圧

2.50 bar (250 kPa - 36.26 PSI) (ライダーのみ)。 2.6 bar (260 kPa - 37.71 PSI) (タンデムおよびバッグ、 またはいずれか一方)

リアタイヤ空気圧

2.50 bar (250 kPa - 36.26 PSI) (ライダーのみ)。 2.9 bar (290 kPa - 42 PSI) (タンデムおよびバッグ、ま たはいずれか一方)

フロント

チューブレスラジアルタイヤ 寸法:120/70-ZR17 メーカーおよびタイプ:Pirelli Diablo Rosso III

リア

チューブレスラジアルタイヤ 寸法:240/45-ZR17 メーカーおよびタイプ:Pirelli Diablo Rosso III

サスペンション フロントフォーク

メーカー:MARZOCCHI フル式倒立フォーク インナーチューブ径:50 mm (1.96 in) フロントホイールトラベル:120 mm (4.72)

リアショックアブソーバー

メーカー:SACHS リアショックアブソーバー、スプリングプリロードと コンプレッション / リバウンドダウンピング調整可 ショックアブソーバーストローク:60 mm (2.36 in) リアホイールトラベル:145 mm (5.70 in)

エキゾーストシステム

ラムダセンサー:4 触媒コンバーター:2 ストレート多重構造。 スチール製サイレンサー、楕円型4エンド。

カラーバリエーション ドゥカティレッド

リム (グロッシーブラック):

- ベース、供給元 Peter Lacke、コード:P098009-C
- エナメル、供給元 Peter Lacke、コード: VPCH03250

フューエルタンクセンターカバー:

- ベース、供給元 Lechler、コード:LDS20067
- ベース、供給元 PPG、コード:473101
- クリア、供給元 Lechler、コード:96230

左右エアコンベヤーカバー:

アルマイト加工

左右アンダーフェアリングカバー:

- ベース、供給元 Lechler、コード:LDS20067
- ベース、供給元 PPG、コード:473101
- クリア、供給元 Lechler、コード:96230

ラジエーターカバー:

- ベース、供給元 Lechler、コード:LDS20067
- ベース、供給元 PPG、コード:473101
- クリア、供給元 Lechler、コード:96230

パッセンジャーシートカバー:

- ベース、供給元 Lechler、コード:LDS20067
- ベース、供給元 PPG、コード:473101
- クリア、供給元 Lechler、コード:96230
 左右サイドパネル:
- ベース、供給元 Lechler、コード:LDS20067

- ベース、供給元 PPG、コード:473101
- クリア、供給元 Lechler、コード:96230

ヘッドライトバイザー:

- ベース、供給元 Lechler、コード:LDS20067
- ベース、供給元 PPG、コード:473101
- クリア、供給元 Lechler、コード:96230

フロントマッドガード:

- ベース、供給元 Lechler、コード:LDS20067
- ベース、供給元 PPG、コード:473101
- クリア、供給元 Lechler、コード:96230

フューエルタンク:

- ED コーディング、供給元 PPG
- ベース、供給元 Lechler、コード:LDS20067
- ベース、供給元 PPG、コード:473101
- クリア、供給元 Lechler、コード:96230

リアサブフレーム(マットブラック):

パウダーエナメル、供給元 Azko Nobel、コード: CN201V

フレーム (グレーモノコック):

 パウダーエナメル、供給元 Inver SPA、コード: 86176

スリリングブラック:

リム(グロッシーブラック):

- ベース、供給元 Peter Lacke、コード: P098009-C
- エナメル、供給元 Peter Lacke、コード: VPCH03250

フューエルタンクセンターカバー:

- ベース、供給元 Palinal、コード: 873.A002
- ベース、供給元 Palinal、コード: 929.R223
- クリア、供給元 Palinal、コード:923M1598
 左右エアコンベヤーカバー:
- アルマイト加工

左右アンダーフェアリングカバー:

- ベース、供給元 Palinal、コード: 873.A002
- ベース、供給元 Palinal、コード: 929.R223
- クリア、供給元 Palinal、コード:923M1598
 ラジエーターカバー:
- ベース、供給元 Palinal、コード: 873.A002
- ベース、供給元 Palinal、コード:929.R223
- クリア、供給元 Palinal、コード:923M1598

パッセンジャーシートカバー:

- ベース、供給元 Palinal、コード: 873.A002
- ベース、供給元 Palinal、コード: 929.R223
- クリア、供給元 Palinal、コード:923M1598
 左右サイドパネル:
- ベース、供給元 Palinal、コード: 873.A002
- ベース、供給元 Palinal、コード:929.R223
- クリア、供給元 Palinal、コード:923M1598
 ヘッドライトバイザー:
- ベース、供給元 Palinal、コード: 873.A002
- ベース、供給元 Palinal、コード:929.R223
- クリア、供給元 Palinal、コード:923M1598
 フロントマッドガード:

ベース、供給元 Palinal、コード: 873.A002

- ベース、供給元 Palinal、コード:929.R223
- クリア、供給元 Palinal、コード:923M1598

フューエルタンク:

- ED コーディング、供給元 PPG
- ベース、供給元 Palinal、コード: 873.A002
- ベース、供給元 Palinal、コード: 929.R223
- クリア、供給元 Palinal、コード:923M1598

リアサブフレーム (マットブラック):

パウダーエナメル、供給元 Azko Nobel、コード: CN201V

フレーム(グレーモノコック):

 パウダーエナメル、供給元 Inver SPA、コード: 86176

電子レギュレーター、30A ヒューズ1個で保護。 エレクトリカルシステム スターターモーター: 12V-0.6 kW 主要構成部品は以下の通りです。 インストルメントパネル 5インチカラー TFT ディスプレイ ヘッドライト LED ロービーム電球タイプ:LED 2+2 個 LED ハイビーム電球タイプ:LED 7+2 個 IFD パーキングランプタイプ:IFD 6個 ターンインジケーター フロントターンインジケーター:IFD 6個 リアターンインジケーター:LED 7個 ハンドルバースイッチ テールランプ パーキングランプ:IFD 66個 ストップランプ:IFD 122個 ナンバープレートランプ:LED 3個 ハンドルトスイッチ 警告ホーン ストップランプスイッチ バッテリー:YUASA YT12B-BS-DRY VR.3 バルブ ジェネレーター: Mitsuba 14V - 435W

ヒューズ

電装品の保護ヒューズはアッパーヒューズボックスと ロアヒューズボックス内に13個、スターターコンタ クター上に1個あります。各ヒューズボックス内には 予備ヒューズ (S) があります。

ヒューズが保護する装置、アンペア値については表を 参照してください。

アッパーヒューズボックス (A) およびロアヒューズボ ックス (B) はエレクトリック部品ボックスの右側、バ ッテリー横に設けられています。

ヒューズボックスで作業を行うには、「バッテリーの 充電」(ページ255)の記載に従いタンクカバーを取り 外します。

ヒューズを交換するには、各ヒューズの配置と定格が 表記された保護カバーを外します。





アッパーヒューズボックス凡 例 (A)		
配置	保護装置	容量
1	KEY1 EMS / ABS / IMU	5 A
2	KEY2 DASH / BBS / SMEC	7.5 A
3	KEY3 ランプ	-
4	KEY4 SBS	-
5	KEY5 アクセサリー	5A
6	+30イグニッションリ レー	20 A
7	+30 診断 / 充電	7.5 A

	ロアヒューズボックス凡 例 (B)		
量	5	+30 Black Box システ	20 A
A		ム (BBS)	
5 A	6	+30 ABS UBMR	25 A
	7	+30 ABS UBVR	10 A

ロアヒューズボックス凡 例 (B)		
配置	保護装置	容量
1	+30EMSLOADリレー	25 A
2	+30フューエルポンプ リレー	10 A
3	+30スターターリレー	-
4	+30インストルメント パネル	15 A

メインヒューズ (8) で作業を行うには、保護キャップ (C) とカバー (D) を取り外してください。 スターターコンタクターヒューズ (9) とスペアヒュー ズ(10) で作業を行うには、カバー (E) を取り外してく ださい。

メインヒューズボックス凡例		
配置	保護装置	容量
8	メインヒューズ	30 A

スターターコンタクターヒューズ凡例		
配置	保護装置	容量
9	スターターコンタクタ	30 A
	ーヒューズ	
10	スペア	30 A



切れたヒューズは、インナーフィラメント (F) が溶断 しているかどうかで確認することができます。

▲ 重要

▲ 回路のショートを防止するために、ヒューズ交換の前にイグニッションキーを OFF にしてください。

▲ 警告

▲ 表示されている規定以外のヒューズは決して使 用しないでください。上記事項を守らなかった場合、 エレクトリカルシステムの損傷や火災を引き起こすお それがあります。





オープンソースソフトウェアに関する情報 車両のいくつかのコンポーネントは、オープンソース ソフトウェアを使用しています。使用されているソー スコードとオープンソースに関連する情報は、次のリ ンクからオンラインで入手できます。 https://www.ducati.com/ww/en/home/open-

300

source-software

EU 適合宣言書

EU 適合宣言書

EU 指令 2014/53/EU

CE

無線部品製造業者の住所

すべての無線部品には、欧州指令2014/53/EUの規定に基づき、製造業者の住所が記載されていなければなりません。その性質または寸法の問題上シールを貼付できない部品については、法律に規定される通り製造業者の住所を表示2に記載します。



本機器の取扱い、設置は経験のある人のみが行ってください。

車両に装備さ れている無線 機器	周波数帯域	最大送信電力
Hands Free ユ ニット	133.8 KHz ÷ 134.6 KHz	< 73dB µ V/m (10m)
Hands Free キ ー	433.91 MHz ÷ 433.93 MHz	-20 dB μ V/m (3m)
ドゥカティマ ルチメディア システム (Bluetooth)	2402 ÷ 2480 MHz	4.4mW
盗難防止装置	433.92MHz (±75KHz)	<0.6mA

車両に装備されている無 線機器	製造業者の住所
Hands Free ユニット	ASAHI DENSO CO.,LTD. 6-2-1 Somejidai, Hamakita-ku, Hamamatsu, Shizuoka, 434-0046 Japan
Hands Free +—	ASAHI DENSO CO.,LTD. 6-2-1 Somejidai, Hamakita-ku, Hamamatsu, Shizuoka, 434-0046 Japan
ドゥカティマルチメディ アシステム (Bluetooth)	COBO S.p.a. Via Tito Speri, 10 25024 Leno (BS), Italy
盗難防止装置	PATROLLINE Via Cesare Cantù, 15/C 22031 Albavilla (CO), Italy

簡易 EU 適合宣言書

[Austria]

Ihr Fahrzeug ist mit einer Reihe von Funkgeräten ausgestattet. Die Hersteller dieser Funkgeräte erklären, dass diese, wo gesetzlich vorgeschrieben, mit der Richtlinie 2014/53/EU übereinstimmen. Der vollständige Text der EU-Konformitätserklärung ist unter folgender Adresse verfügbar: certifications.ducati.com

[Belgium]

Votre véhicule est équipé d'une série d'appareillages radio. Les constructeurs de ces appareillages radio déclarent que ces derniers sont conformes à la directive 2014/53/UE lorsque la loi le requiert. Le texte complet de la déclaration de conformité UE est disponible à l'adresse suivante : certifications.ducati.com

[Bulgaria]

Твоят мотоциклет е оборудван с различна по вид радиоапаратура. Производителите на тази радиоапаратура декларират, че тя съответства на Директива 2014/53/ЕС, съгласно изискванията по закон. Пълният текст на декларацията за съответствие ЕС, ще намерите на следния адрес: certifications.ducati.com

[Croatia]

Vaše vozilo je opremljeno nizom radio uređaja. Proizvođači ovih radio uređaja tvrde da su uređaji u skladu s Direktivom 2014/53/UE ako je propisano zakonom. Cjelokupan tekst deklaracije o sukladnosti dostupan je na: certifications.ducati.com

[Cyprus]

Το όχημά σας εξοπλίζεται με μια σειρά από ραδιοσυσκευές.Οι κατασκευαστές των συσκευών αυτών δηλώνουν ότι οι συσκευές συμμορφώνονται με την οδηγία 2014/53/ΕΕ, όπου απαιτείται από το νόμο.Το πλήρες κείμενο της δήλωσης συμμόρφωσης ΕΕ είναι διαθέσιμο στη διεύθυνση: certifications.ducati.com

[Czech Republic]

Vaše vozidlo je vybaveno řadou rádiových zařízení. Výrobci těchto radio zařízení, prohlašují, že zařízení jsou v souladu se směrnicí 2014/53/EU, pokud to vyžaduje zákon. Úplné znění prohlášení o shodě EU je k dispozici na internetových stránkách: certifications.ducati.com

[Denmark]

Dit køretøj er udstyret med et udvalg af radioudstyr. Producenterne af dette radioudstyr erklærer, at dette udstyr overholder direktiv 2014/53/EU, hvis det kræves i henhold til loven. Den komplette tekst af EUoverensstemmelseserklæringen findes på følgende webadresse: certifications.ducati.com

[Estonia]

Teie sõiduk on varustatud raadioseadmete seeriaga. Selle raadioseadme tootjad kinnitavad, et see seade vastab direktiivile 2014/53/EÜ, kui seadus seda nõuab. EÜ vastavusdeklaratsiooni terviktekst on saadaval järgmisel veebisaidil: certifications.ducati.com

[Finland]

Ajoneuvossasi on radiolaitteita. Näiden radiolaitteiden valmistajat vakuuttavat, että laitteet vastaavat direktiiviä 2014/53/EU lain edellyttämällä tavalla. EU-vaatimustenmukaisuusvakuutuksen täydellinen teksti on saatavilla seuraavasta osoitteesta: certifications.ducati.com

[France]

Votre véhicule est équipé d'une série d'appareillages radio. Les constructeurs de ces appareillages radio déclarent que ces derniers sont conformes à la directive 2014/53/UE lorsque la loi le requiert. Le texte complet de la déclaration de conformité UE est disponible à l'adresse suivante : certifications.ducati.com

[Germany]

Ihr Fahrzeug ist mit einer Reihe von Funkgeräten ausgestattet. Die Hersteller dieser Funkgeräte erklären, dass diese, wo gesetzlich vorgeschrieben, mit der Richtlinie 2014/53/EU übereinstimmen. Der vollständige Text der EU-Konformitätserklärung ist unter folgender Adresse verfügbar: certifications.ducati.com

[Greece]

Το όχημά σας εξοπλίζεται με μια σειρά από ραδιοσυσκευές.Οι κατασκευαστές των συσκευών αυτών δηλώνουν ότι οι συσκευές συμμορφώνονται με την οδηγία 2014/53/ΕΕ, όπου απαιτείται από το νόμο.Το πλήρες κείμενο της δήλωσης συμμόρφωσης ΕΕ είναι διαθέσιμο στη διεύθυνση: certifications.ducati.com

[Hungary]

Járműved egy sor rádió készülékkel van felszerelve. Ezeknek a rádióberendezéseknek a gyártói kijelentik, hogy a készülékek megfelelnek a 2014/53/EU irányelvnek, ahol ezt a törvény megköveteli. Az EU megfelelőségi nyilatkozat teljes szövege az alábbi címen érhető el: certifications.ducati.com

[Ireland]

Your vehicle is equipped with a range of radio equipment. The manufacturers of this radio equipment declare that these equipment complies with Directive 2014/53/EU where required by law. The complete text of the EU declaration of conformity is available at the following web address: certifications.ducati.com

[ltaly]

Il tuo veicolo è dotato di una serie di apparecchiature radio. I costruttori di queste apparecchiature radio dichiarano che esse sono conformi alla direttiva 2014/53/UE laddove richiesto per legge. Il testo completo della dichiarazione di conformità UE è disponibile al seguente indirizzo: certifications.ducati.com

[Latvia]

Jūsu transportlīdzeklis ir aprīkots ar dažādām radioierīcēm. Šo radioierīču ražotājs apliecina, ka ierīces atbilst Direktīvas 2014/53/ES prasībām, ja to paredz attiecīgie tiesību akti. Pilnīgo ES atbilstības deklarāciju skatiet šajā tīmekļa vietnē: certifications.ducati.com

[Lithuania]

Jūsų transporto priemonėje įdiegta daug įvairios radijo įrangos. Šios radijo įrangos gamintojai patvirtina, kad ji atitinka 2014/53/ES direktyvos reikalavimus, kaip tai numato galiojantys įstatymai. Visas ES atitikties deklaracijos tekstas pateikiamas svetainėje adresu certifications.ducati.com

[Luxembourg]

Votre véhicule est équipé d'une série d'appareillages radio. Les constructeurs de ces appareillages radio déclarent que ces derniers sont conformes à la directive 2014/53/UE lorsque la loi le requiert. Le texte complet de la déclaration de conformité UE est disponible à l'adresse suivante : certifications.ducati.com

[Malta]

ll-vettura tiegnek hija mghammra b'firxa ta' taghmir tar-radju. ll-manufatturi ta' dan it-taghmir tar-radju jiddikjaraw li dan it-taghmir jikkonforma mad-Direttiva 2014/53/UE fejn mentieg mil-ligi. lt-test kollu taddikjarazzjoni ta' konformità tal-UE huwa disponibbli fuq l-indirizz tal-web: certifications.ducati.com

[Netherlands]

Uw voertuig is voorzien van diverse draadloze apparatuur. De fabrikanten van deze draadloze apparatuur verklaren dat deze, daar waar dit door de wet voorschreven wordt, overeenstemmen met de richtlijn 2014/53/EU. De volledige tekst van de EU-verklaring van overeenstemming is beschikbaar op het volgende webadres: certifications.ducati.com

[Poland]

Państwa pojazd został wyposażony w szereg urządzeń radiowych. Producenci tych urządzeń radiowych oświadczają, że są one zgodne z dyrektywą 2014/53/UE, tam, gdzie wymaga tego prawo. Pełny tekst deklaracji zgodności UE jest dostępny pod następującym adresem internetowym: certifications.ducati.com

[Portugal]

O seu veículo é dotado de uma série de equipamentos de rádio. Os construtores desses equipamentos de rádio declaram que os mesmos estão em conformidade com a diretiva 2014/53/UE sempre que a lei o

determinar. O texto completo da declaração de conformidade UE está disponível no seguinte endereço: certifications.ducati.com

[Romania]

Vehiculul dvs. este dotat cu o serie de aparate radio. Producătorii acestor aparate radio declară că acestea sunt conforme cu directiva 2014/53/UE, dacă legea impune acest lucru. Textul complet al declarației de conformitate UE este disponibil la următoarea adresă: certifications.ducati.com

[Slovakia]

Vaše vozidlo je vybavené rádiofónnymi zariadeniami. Výrobcovia týchto rádiofónnych zariadení prehlasujú, že tieto zariadenia sú v zhode so smernicou 2014/53/EÚ v rozsahu predpísanom zákonom. Úplný text ES prehlásenia o zhode je k dispozícii na nasledujúcej adrese: certifications.ducati.com

[Slovenia]

Vaše vozilo ima tudi vrsto radijske opreme. Proizvajalci eteh radijskih naprav izjavljajo, da so ti v skladu z uredbo 2014/53/UE, kjer zakon to predvideva. Celotno besedilo izjave o skladnosti EU je na voljo na spodnjem naslovu: certifications.ducati.com

[Spain]

Su vehículo está equipado con una serie de equipos de radio. Los fabricantes de dichos equipos de radio declaran su conformidad con la directiva 2014/53/UE, como requiere la ley. El texto completo de la declaración de conformidad UE está disponible en el siguiente sitio: certifications.ducati.com

[Sweden]

Ditt fordon är utrustat med radioutrustning. Radioutrustningens tillverkare förklarar att denna utrustning uppfyller direktiv 2014/53/EU där så lagen kräver det. Fullständig text om EU-försäkran om överensstämmelse finns på följande adress: certifications.ducati.com

[Turkey]

Aracınız bir dizi radyo ekipmanı ile donatılmıştır. Bu telsiz ekipmanının üreticileri, yasaların gerektirdiği durumlarda bu ekipmanın 2014/53/EU Direktifine uygun olduğunu beyan eder. AB uygunluk beyanının tam metnine aşağıdaki web adresinden ulaşılabilir: Certificates.ducati.com

[United Kingdom]

Your vehicle is equipped with a range of radio equipment. The manufacturers of this radio equipment declare that these equipment complies with Directive 2014/53/EU where required by law. The complete text of the EU declaration of conformity is available at the following web address: certifications.ducati.com

HANDS FREE KEY

Avvertenze sulle batterie



Questo prodotto contiene una batteria a bottone che può essere ingerita.

Tenere sempre la batteria fuori dalla portata dei bambini!

L'ingestione della batteria può provocare lesioni gravi in appena 2 ore o la morte a causa di ustioni chimiche e della potenziale perforazione dell'esofago.

Se si pensa che le batterie possano essere state ingerite o collocate all'interno di qualsiasi parte del corpo, consultare immediatamente un medico.

Installare nel prodotto solamente batterie nuove dello stesso tipo.

Tenere le batterie lontano da fonti di calore o umidità.

Tenere le batterie lontano da ambienti con bassa o alta pressione, e a bassa o alta temperatura.

Non comprimere, far cadere, danneggiare o perforare la batteria con corpi estranei.

Smaltire le batterie usate immediatamente e in modo sicuro secondo le direttive statali e locali. Le batterie scariche possono ancora essere pericolose.

United States (USA)

"This device complies with Part 15 of the FCC Rules.

Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation."

"Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment." "NOTE: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment gene rates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interfere nee to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help."

- RF exposure Information according 2.1091/2.1093 / OET bulletin 65:

Radiofrequency radiation exposure Information: This equipment complies with FCC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. This equipment should be installed and operated with minimum distance of 20 cm between the radiator and your body. This transmitter must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter.

The manufacturers of these radio equipment declare that devices comply with the FCC

DUCATI MULTIMEDIA SYSTEM (Bluetooth)	FCC ID: Z64-2564N
Hands Free Unit	FCC ID: T8VCL6
Hands Free Key	FCC ID: T8VCL6-904

Canada

This device contains licence-exempt transmitter(s)/ receiver(s) that comply with Innovation, Science and Economic Development Canada's licence-exempt RSS(s). Operation is subject to the following two conditions:

(1) This device may not cause interference.

(2) This device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

L'émetteur/récepteur exempt de licence contenu dans le présent appareil est conforme aux CNR d'Innovation, Sciences et Développement économique Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes:

(1) L'appareil ne doit pas produire de brouillage;

(2) L'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

RF Exposure Information:

This equipment complies with Canada radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. This equipment should be installed and operated with minimum distance of 20 cm between the radiator and your body.

Déclaration d'exposition aux radiations: Cet équipement est conforme aux limites d'exposition aux rayonnements IC établies pour un environnement non contrôlé. Cet équipement doit être installé et utilisé avec un minimum de 20 cm de distance entre la source de rayonnement et votre corps.

DUCATI MULTIMEDIA SYSTEM (Bluetooth)	IC: 4511-2564N
Hands Free Unit	IC: 6505A-CL6
Hands Free Key	IC: 6505A-CL6904

DUCATI MULTIMEDIA SYSTEM (Bluetooth)

Brasil

Este equipamento opera em caráter secundário, isto é, não tem direito a proteção contra interferência prejudicial, mesmo de estações do mesmo tipo, e não pode causar interferência a sistemas operando em caráter primário. Para consultas, visite: www.anatel.gov.br.



Japan

当該機器には電波法に基づく、技術基準適合証明等を受けた特定無線設備を装着している。 This equipment contains specified radio equipment that has been certified to the technical regulation conformity certification under the Radio Law.

本無線機器の改造を禁ずる(これに反した場合は当該認証登録番号は無効となる) This radio device should not be modified (otherwise the granted designation number will become invalid) South Korea

해당 무선설비는 전파혼신 가능성이 있으므로 인명안전과 관련된 서비스는 할 수 없습니다



R-R-Cbo-IN2ROUTERX

HANDS FREE UNIT

Brasil

Este equipamento opera em caráter secundário, isto é, não tem direito a proteção contra interferência prejudicial, mesmo de estações do mesmo tipo, e não pode causar interferência a sistemas operando em caráter primário. Para consultas, visite: www.anatel.gov.br.



05428-17-05543

South Korea

해당 무선설비는 전파혼신 가능성이 있으므로 인명안전과 관련된 서비스는 할 수 없습니다



R-R-AD1-CL8

HANDS FREE KEY

Brasil

Este equipamento opera em caráter secundário, isto é, não tem direito a proteção contra interferência prejudicial, mesmo de estações do mesmo tipo, e não pode causar interferência a sistemas operando em caráter primário. Para consultas, visite: www.anatel.gov.br.



05429-17-05543

Japan

当該機器には電波法に基づく、技術基準適合証明等を受けた特定無線設備を装着している。 This equipment contains specified radio equipment that has been certified to the technical regulation conformity certification under the Radio Law.

本無線機器の改造を禁ずる(これに反した場合は当該認証登録番号は無効となる) This radio device should not be modified (otherwise the granted designation number will become invalid) ID: 007-AF0150 South Korea

해당 무선설비는 전파혼신 가능성이 있으므로 인명안전과 관련된 서비스는 할 수 없습니다



R-R-AD1-CL6-904

12/2022 ED.01 に更新されました。





Ducati Motor Holding spa

ducati.com

Via Cavalieri Ducati, 3 40132 Bologna, Italy Ph. +39 051 6413111 Fax +39 051 406580 A Sole Shareholder Company A Company subject to the Management and Coordination activities of AUDI AG